

茨木市次世代育成支援に関するニーズ調査
結果報告書
(就学前児童・小学生の保護者)

令和6（2024）年3月
茨 木 市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査概要	1
3.	配布・回収結果	1
4.	報告書の見方	2
II	調査結果	3
1.	家族構成や保護者の就労状況について	3
2.	平日に定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて	19
3.	学童保育の利用について	30
4.	こどもの病気等の際の対応について	37
5.	土曜等や長期休暇中の幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用希望について	41
6.	育児休業など、仕事と子育ての両立について	44
7.	就学前児童（5歳以上）の就学後の放課後等の過ごし方や入学に関することについて	53
8.	こどもを預かるサービスの不定期的な利用について	56
9.	地域の子育て支援サービスの利用状況について	61
10.	市役所などへの要望について	66
11.	こどもの生活習慣について	79
12.	こどものふだんの過ごし方について	82
13.	地域での自然体験などへの参加について	83
14.	子育てを支援する生活環境の整備やこどもの安全の確保について	87
15.	子育てに関する意識について	90
16.	自由意見	102
III	調査結果からみえてきた今後の課題	106
1.	仕事と子育ての両立支援	106
2.	理想とすることどもの数が持てるための対策の充実	107
3.	地域での子育て支援サービスの充実	107
4.	相談・情報提供体制の充実	108
5.	子育て家庭の孤立を防ぐ支援策の充実	108
IV	資料（調査票）	109
1.	就学前児童保護者	109
2.	小学生児童保護者	123

I 調査の概要

1. 調査の目的

現行の「茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）」が令和6（2024）年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、本市の次世代育成支援に関する施策を総合的・計画的に推進するための新たな計画となる「茨木市次世代育成支援行動計画（第5期）」（令和7（2025）～令和11（2029）年度）を策定することとしている。

本調査は、新たな計画策定にあたって、市民のこども・子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望、また子育て世帯の生活実態、意見・要望などを把握することを目的に実施した。

2. 調査概要

- （1）調査地域 茨木市全域
- （2）調査対象 市内在住の就学前児童の保護者
市内在住の小学生の保護者
- （3）対象者数 住民基本台帳から、就学前児童の保護者 2,500 人、
小学生の保護者 2,500 人の合計 5,000 人を無作為抽出
- （4）調査方法 郵送配布－郵送・WEB（併用）回収
- （5）調査期間 令和5（2023）年12月4日（月）～令和5（2023）年12月25日（月）
（調査期間内にお礼状兼督促状を1回送付）

3. 配布・回収結果

単位：件

単位：人

	配布数	不達数	有 効 配布数	有効回収数		有 効 回収率	
				郵送回答	WEB 回答		
就学前児童 保護者	2,500	2	2,498	1,258	702	556	50.4%
小学生児童 保護者	2,500	0	2,500	1,334	721	613	53.4%

4. 報告書の見方

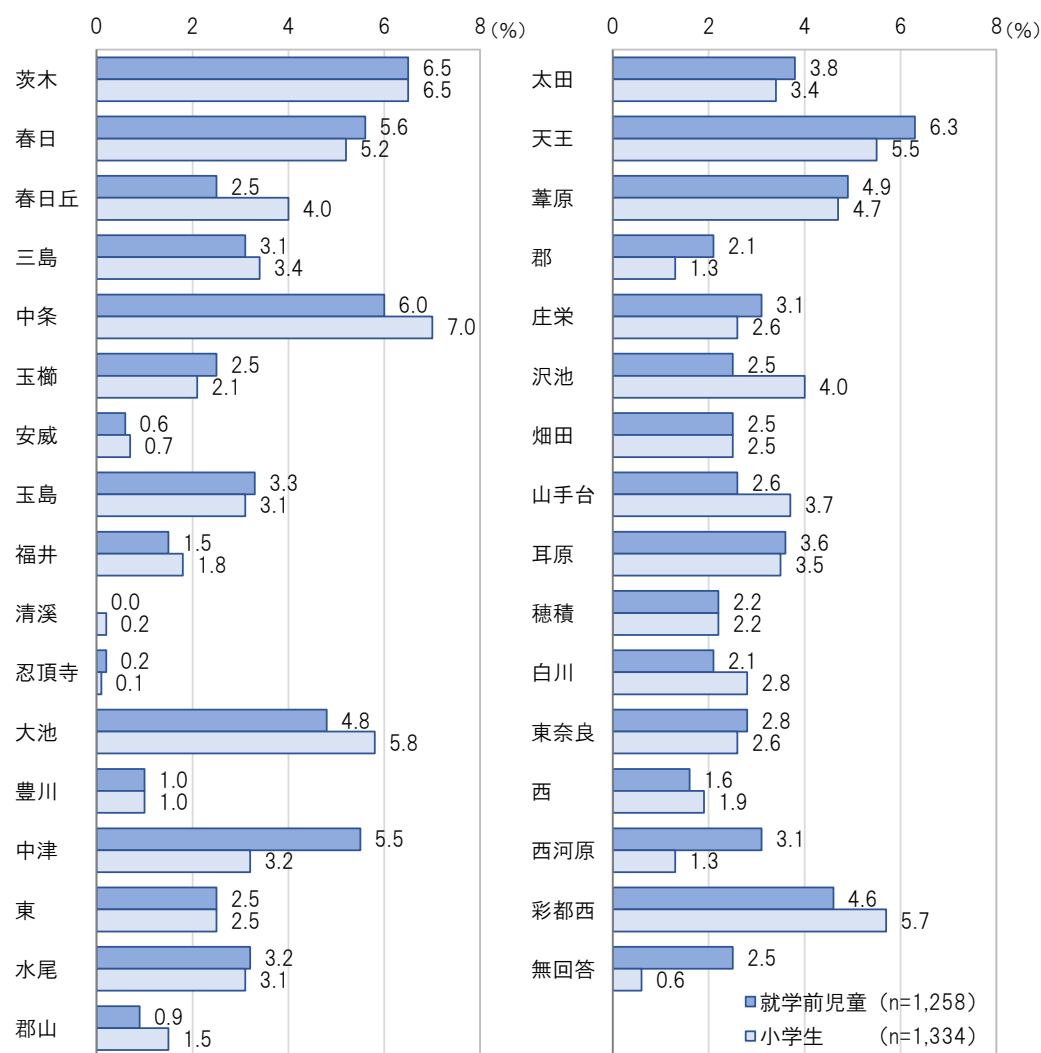
- グラフおよび表のn数 (number of case)、「回答者数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表す。
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。
- 年齢別、学年別、家庭類型別等のクロス集計表については、無回答やその他を除いて、1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。なお、割合が同じ回答が複数ある場合は、3項目以上に網掛けをしている場合がある。

Ⅱ 調査結果

1. 家族構成や保護者の就労状況について

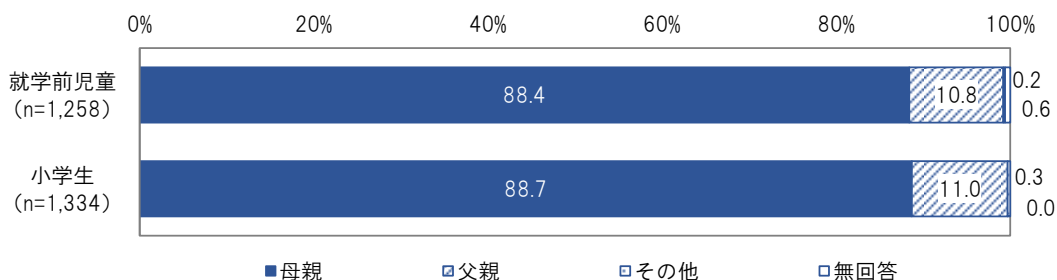
(1) 居住学区（小学校区）【就学前／・小学生／問1 記述回答】

○居住学区についてみると、「茨木」が就学前児童で6.5%、「中条」が小学生で7.0%と最も高くなっている。



(2) 回答者の続柄【就学前／・小学生／問2 単数回答】

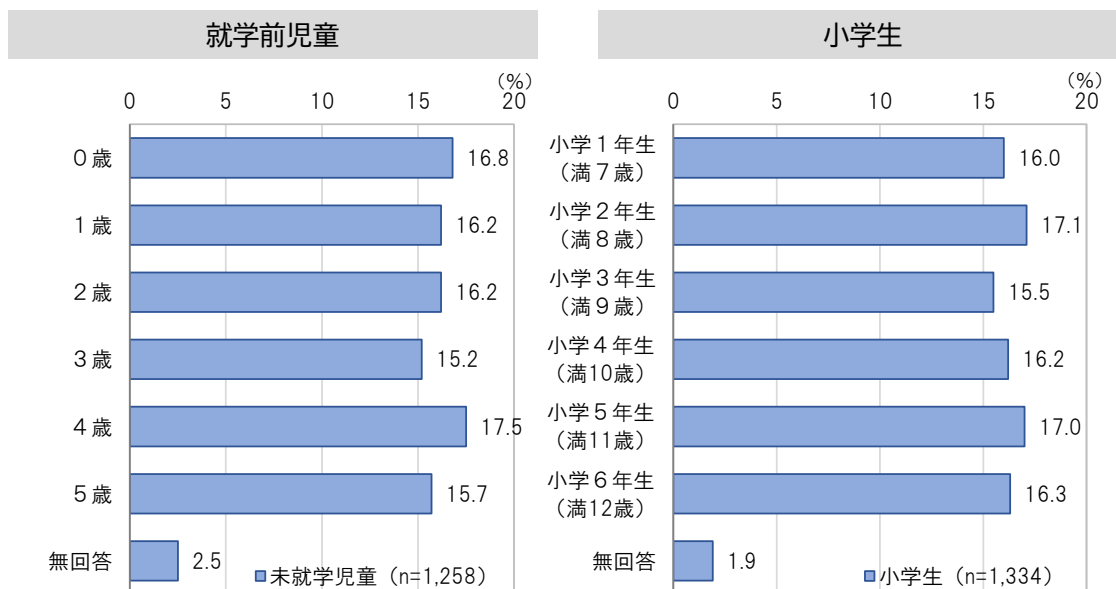
○回答者の続柄は、「母親」が就学前児童で88.4%、小学生で88.7%と最も高くなっている。



(3) 対象のこどもの年齢と学年（令和5年12月1日現在）【就学前／・小学生／問3 数量回答】

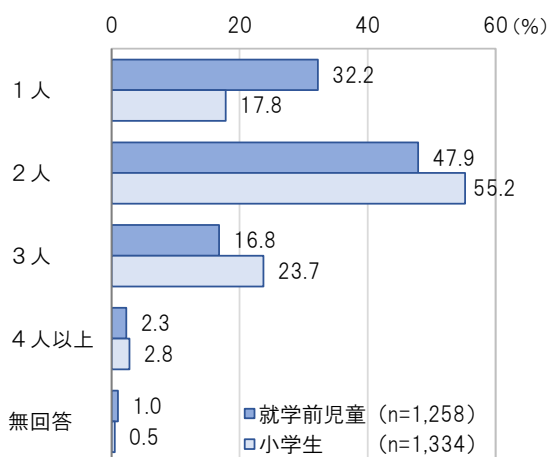
○就学前児童の年齢は、「4歳」が17.5%、「0歳」が16.8%、「1歳」および「2歳」が16.2%となっている。

○小学生の学年は、「小学2年生（満8歳）」が17.1%、「小学5年生（満11歳）」が17.0%、「小学6年生（満12歳）」が16.3%となっている。



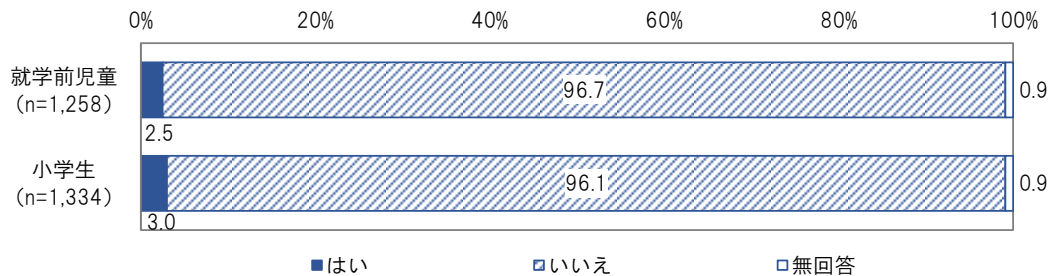
(4) きょうだいの人数【就学前／・小学生／問4 数量回答】

○きょうだいの人数は、「2人」が就学前児童で47.9%、小学生で55.2%と最も高く、次いで、就学前児童で「1人」が32.2%、小学生で「3人」が23.7%となっている。



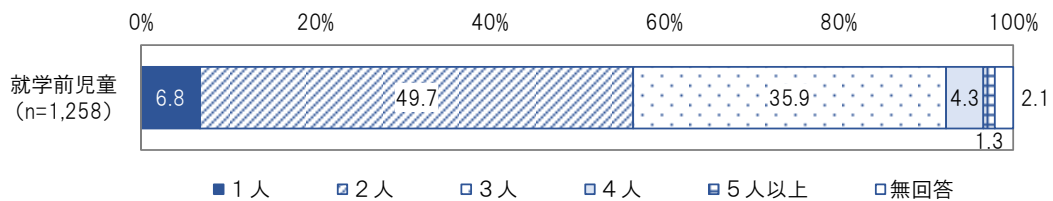
（４－１）多胎のこどもの有無【就学前／小学生／問４－１ 単数回答】

○多胎のこどもの有無は、就学前児童・小学生ともに「いいえ」が最も高く、「はい」は就学前児童で2.5%、小学生で3.0%となっている。



（５）希望するこどもの人数【就学前／問５ 数量回答】

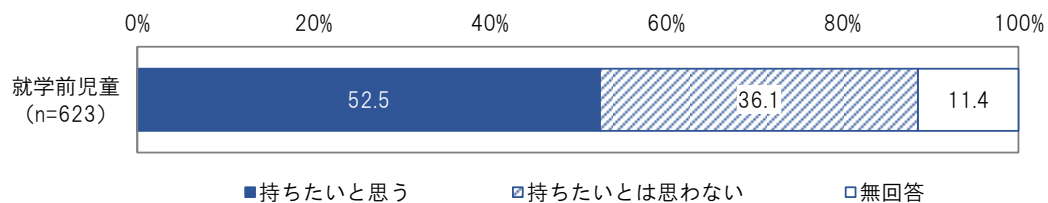
○希望するこどもの人数は、「２人」が49.7%と最も高く、次いで「３人」が35.9%、「１人」が6.8%となっている。



（６）現在の家庭・教育環境等でもう１人以上のこどもを持ちたいと思うか【就学前／問６ 単数回答】

※（５）の人数を（４）の人数より多く回答した人のみ

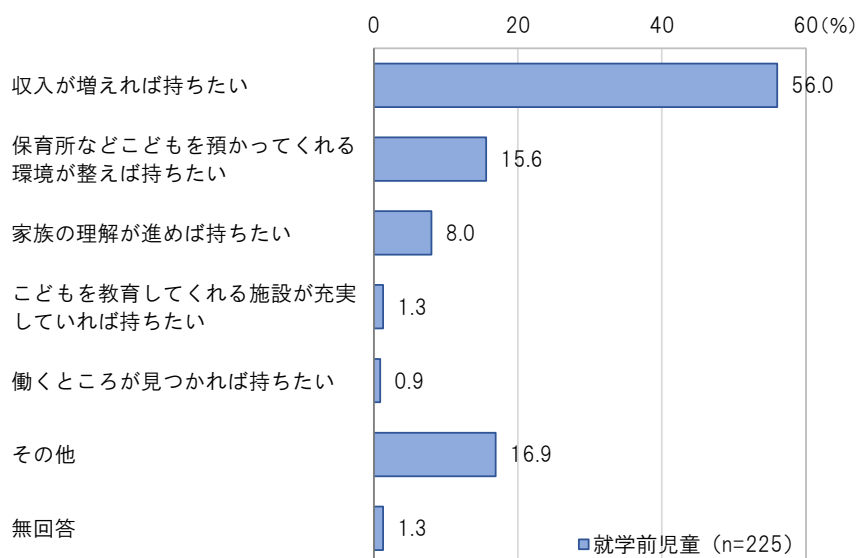
○現在の家庭・教育環境等でもう１人以上のこどもを持ちたいと思うかでは、「持ちたいと思う」が52.5%と高く、「持ちたいとは思わない」が36.1%となっている。



(6-1) もう1人以上のこどもを持ちたいと思うために必要な環境【就学前／問6-1 単数回答】

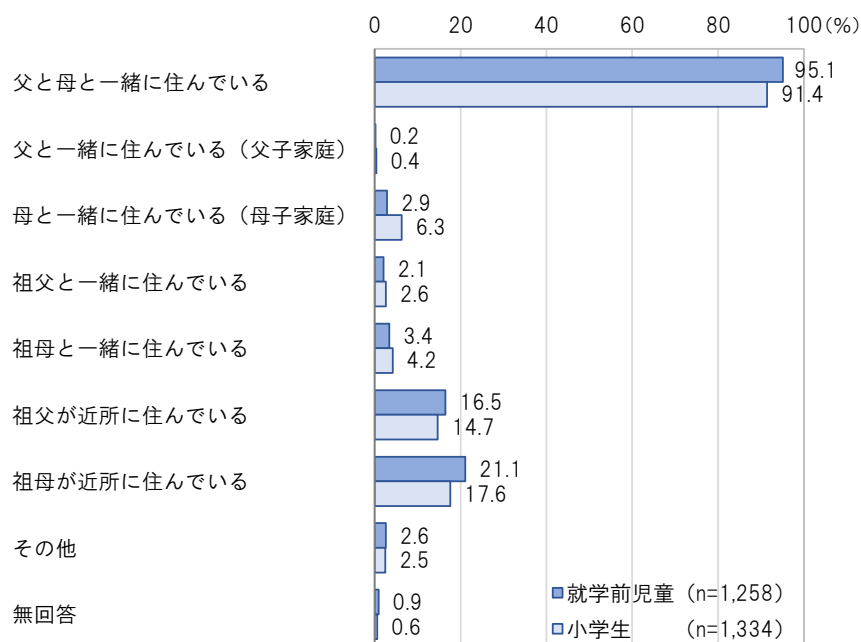
※(6)で「持ちたいとは思わない」と回答した人のみ

○もう1人以上のこどもを持ちたいと思うために必要な環境は、「収入が増えれば持ちたい」が56.0%と最も高く、次いで「保育所などこどもを預かってくれる環境が整えば持ちたい」が15.6%となっている。



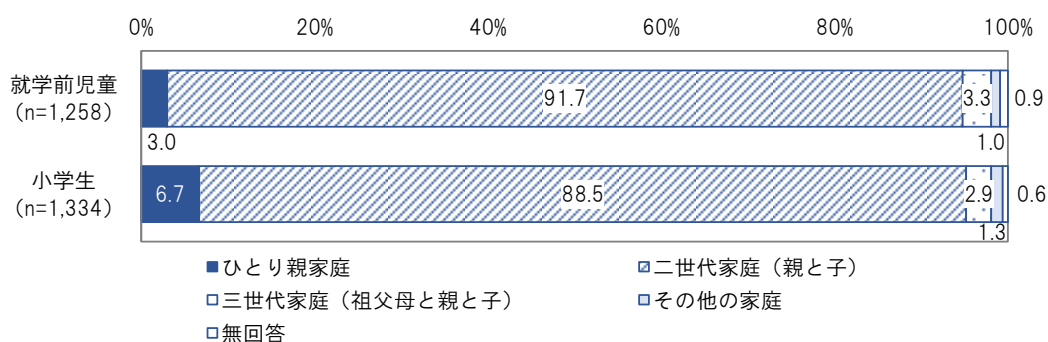
(7) 同居・近居の状況【就学前／問7 複数回答、小学生／問5 複数回答】

○同居・近居の状況は、「父と母と一緒に住んでいる」が就学前児童で95.1%、小学生で91.4%と最も高くなっている。



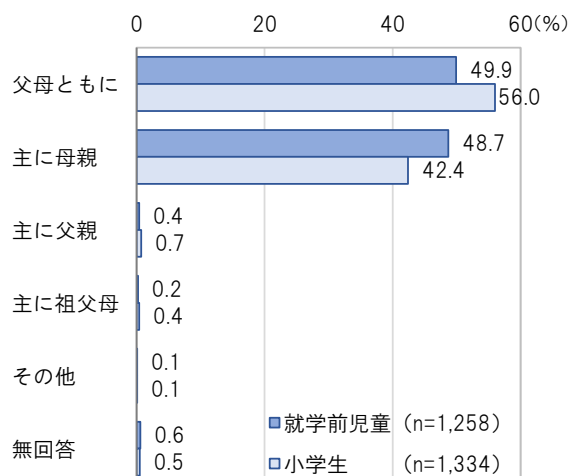
《家族形態集計》

- （７）同居・近居の状況より、家族形態を区分すると、「二世世代家庭（親と子）」が就学前児童で 91.7%、小学生で 88.5%と最も高く、次いで、就学前児童では「三世世代家庭（祖父母と親と子）」が 3.3%、小学生では「ひとり親家庭」が 6.7%となっている。



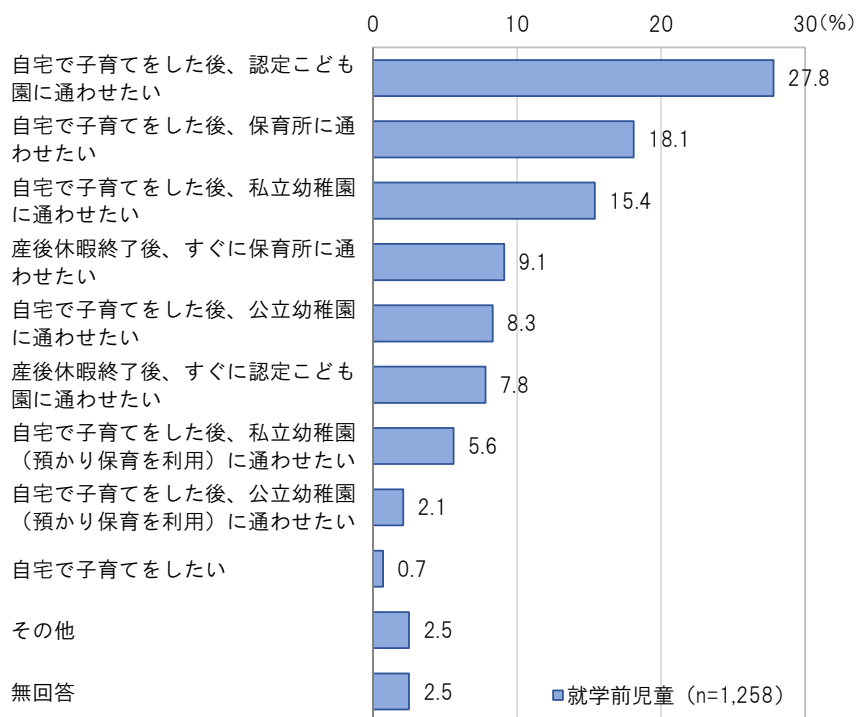
（８）子育てを主に行っている人【就学前／問8 単数回答、小学生／問6 単数回答】

- 子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が就学前児童で 49.9%、小学生で 56.0%と最も高く、次いで、「主に母親」（就学前児童：48.7%、小学生：42.4%）となっている。
- 「父母ともに」では小学生が就学前児童に比べて高く、「主に母親」では就学前児童が小学生に比べて高くなっており、こどもが小さいうちは母親が主に子育てを担っているケースが多いことがわかる。



(9) 就学前の子育てについての希望【就学前／問9 単数回答】

○就学前の子育てについての希望は、「自宅で子育てをした後、認定こども園に通わせたい」が27.8%と最も高く、次いで「自宅で子育てをした後、保育所に通わせたい」(18.1%)、「自宅で子育てをした後、私立幼稚園に通わせたい」(15.4%)となっている。



《自宅で子育てをしたい期間》

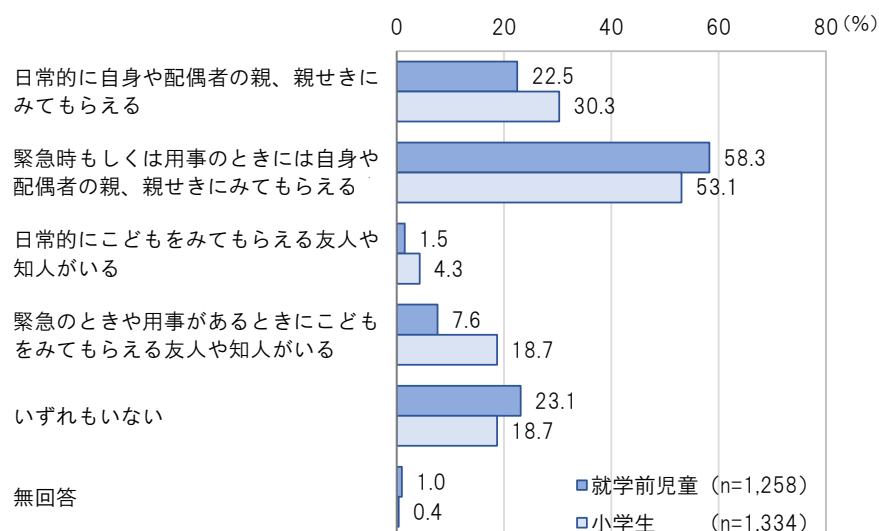
○自宅で子育てをしたい期間では、[認定こども園][保育所]を利用したい人では「2歳まで」が最も高く、それ以外の事業では「3歳まで」が最も高くなっている。

		(%)								
		回答者数 (人)	0歳まで	1歳まで	2歳まで	3歳まで	4歳まで	5歳まで	6歳まで	無回答
利用したい事業別	認定こども園	350	1.4	27.1	31.7	27.1	11.1	0.3	0.6	0.6
	保育所	228	0.9	33.3	38.6	15.4	9.2	0.4	0.9	1.3
	私立幼稚園	194	0.5	-	7.7	47.9	36.6	4.1	3.1	-
	公立幼稚園	105	-	1.9	7.6	47.6	32.4	4.8	2.9	2.9
	私立幼稚園(預かり保育利用)	70	-	-	18.6	62.9	17.1	-	1.4	-
	公立幼稚園(預かり保育利用)	27	-	7.4	14.8	48.1	25.9	3.7	-	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(10) 日頃、こどもをみてくれる人の有無【就学前／問10 複数回答、小学生／問7 複数回答】

○日頃、こどもをみてくれる人の有無は、「緊急時もしくは用事ときには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が就学前児童で58.3%、小学生で53.1%と最も高く、次いで、就学前児童では「いずれもない」が23.1%、小学生では「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が30.3%となっている。

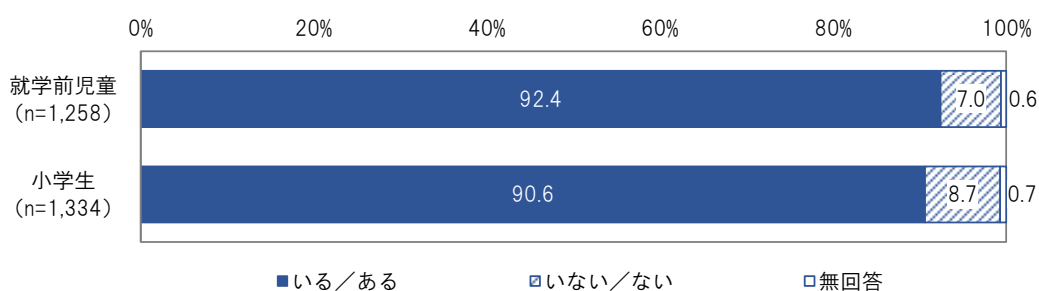


(11) 子育てや教育について気軽に相談できる人・場所の有無

【就学前／問11 単数回答、小学生／問8 単数回答】

○子育てや教育について気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が就学前児童で92.4%、小学生で90.6%と最も高くなっている。

○また、「いない／ない」は、就学前児童で7.0%、小学生で8.7%と、ともに1割近くとなっている。

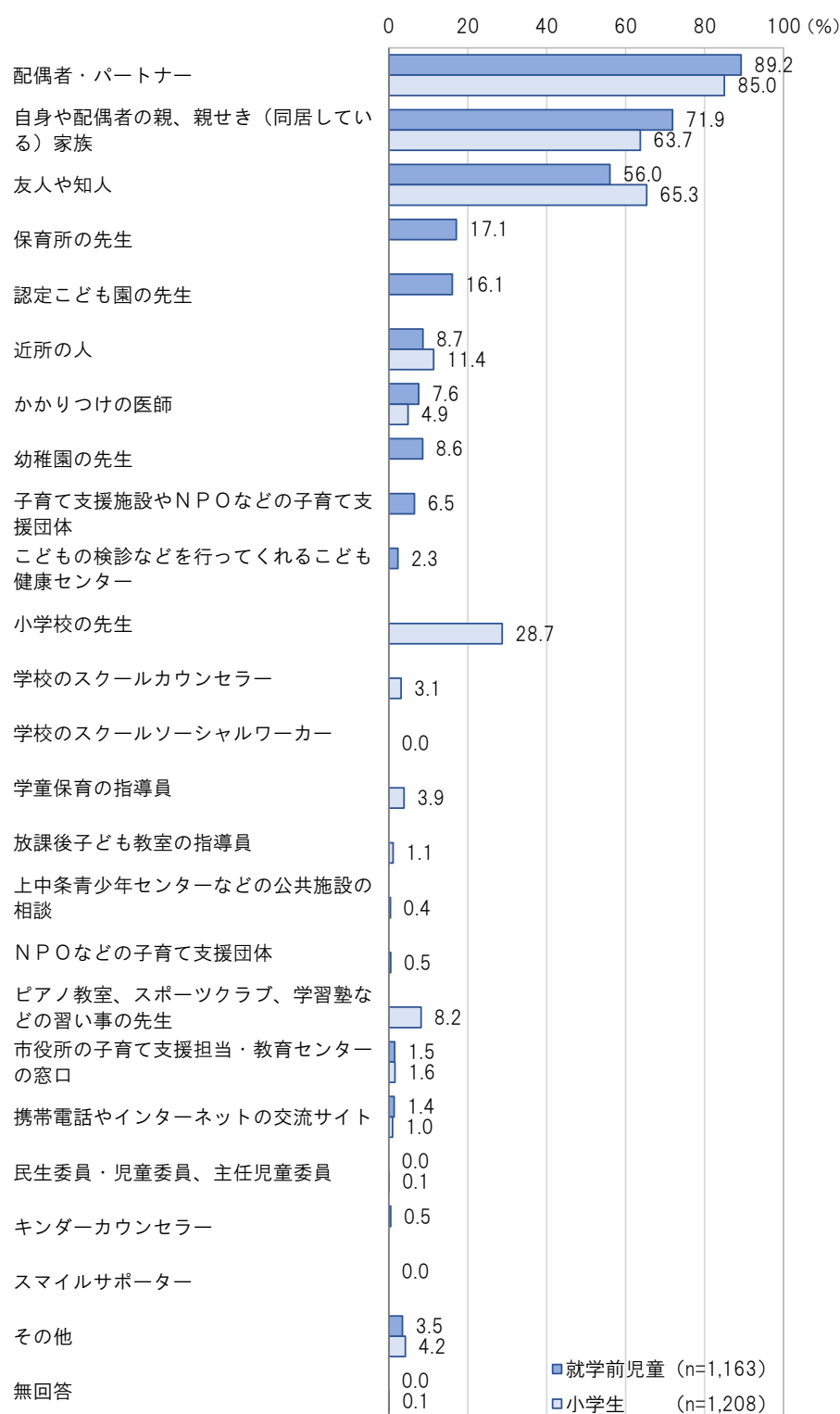


(11-1) 子育てや教育について気軽に相談できる人・場所

【就学前／問 11-1 複数回答、小学生／問 8-1 複数回答】

※ (11) で「いる／ある」と回答した人のみ

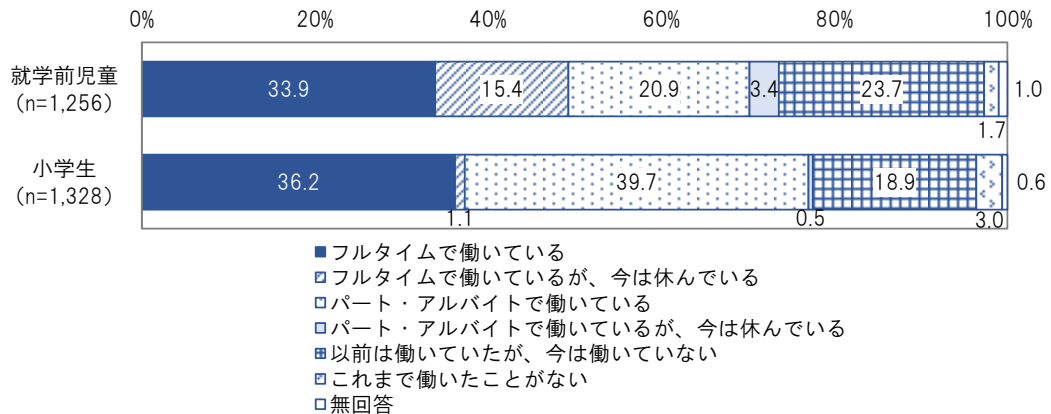
○子育てや教育について気軽に相談できる人・場所は、「配偶者・パートナー」が就学前児童で 89.2%、小学生で 85.0%と最も高く、次いで、就学前児童では「自身や配偶者の親、親せき（同居している）家族」が 71.9%、小学生では「友人や知人」が 65.3%となっており、家族や友人に相談する人が多い傾向となっている。



(12) 保護者の就労状況

① 母親【就学前／問12 単数回答・問12-1・2 数量回答、小学生／問9 単数回答・問9-1・2 数量回答】

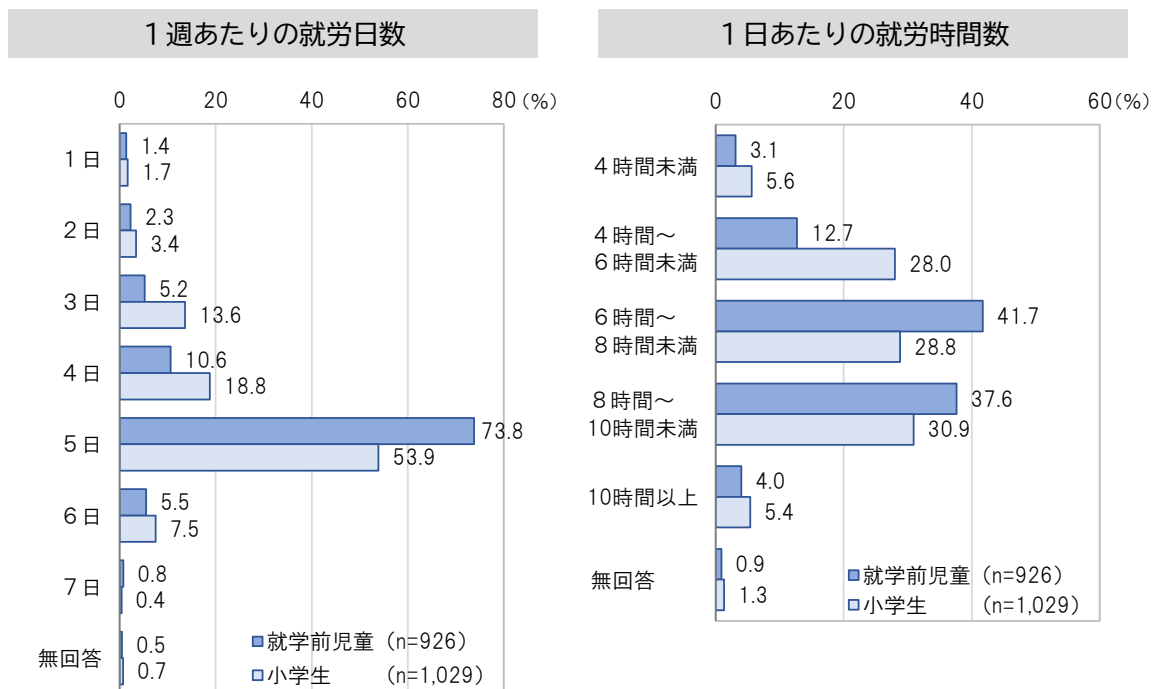
○母親の就労状況は、就学前児童では「フルタイムで働いている」が33.9%、小学生では「パート・アルバイトで働いている」が39.7%と最も高く、産休・育休・介護休業中で休んでいる人を合わせた、『働いている』人が、就学前児童では7割以上、小学生では8割近くを占めている。



《1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数》

○1週あたりの就労日数は、「5日」が就学前児童で73.8%、小学生で53.9%と最も高くなっている。1日あたりの就労時間数は、就学前児童では「6時間～8時間未満」が41.7%、小学生では「8時間～10時間未満」が30.9%と最も高くなっている。

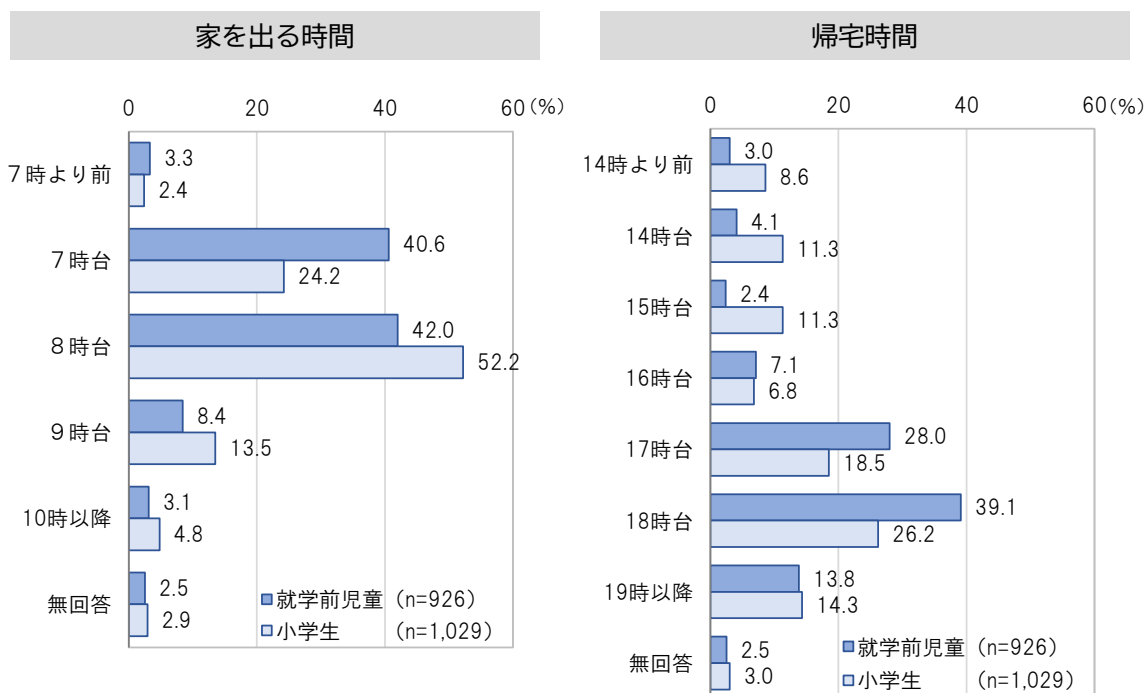
○就労形態として、「パート・アルバイトで働いている」が小学生で多いこともあり、就労日数・就労時間数ともに、小学生に比べて就学前児童で長い結果となっている。



《家を出る時間・帰宅時間》

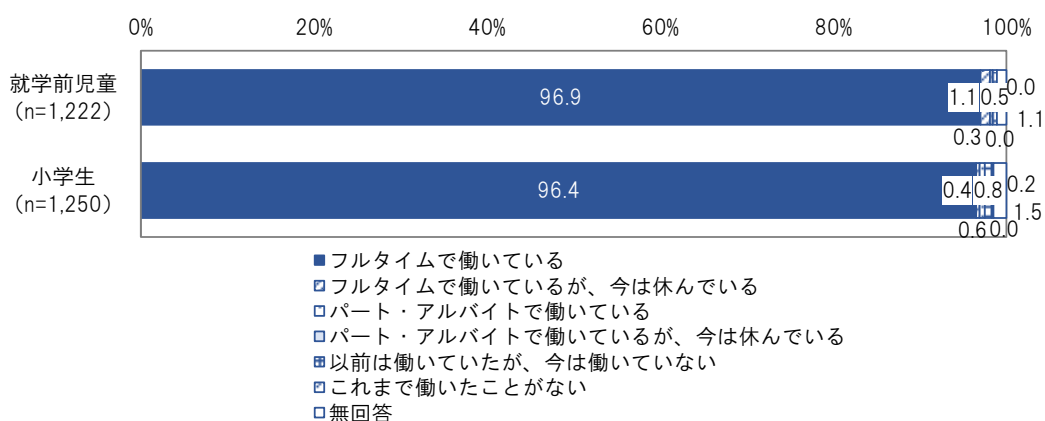
○家を出る時間は、「8時台」が就学前児童で42.0%、小学生で52.2%と最も高くなっている。帰宅時間は、「18時台」が就学前児童で39.1%、小学生で26.2%と最も高くなっている。

○就労形態として、「パート・アルバイトで働いている」が小学生で多いこともあり、就学前児童に比べて小学生では、家を出る時間は遅く、帰宅時間は早い傾向がみられる。



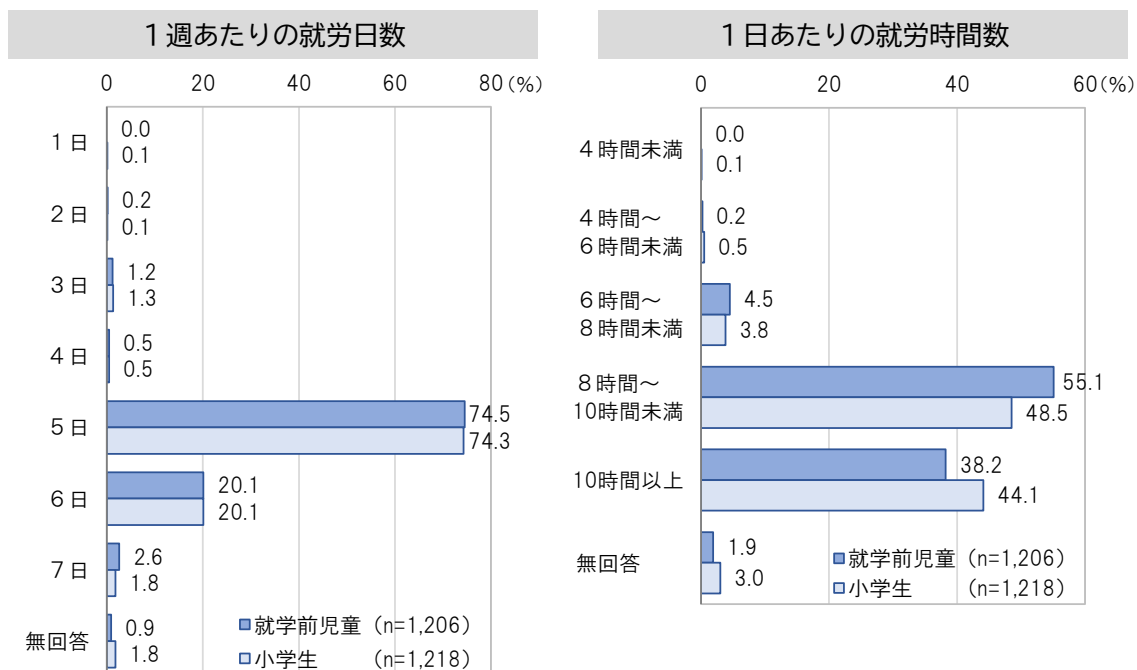
② 父親【就学前／問13 単数回答・問13-1・2 数量回答、小学生／問10 単数回答・問10-1・2 数量回答】

○父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が就学前児童で96.9%、小学生で96.4%と最も高くなっている。



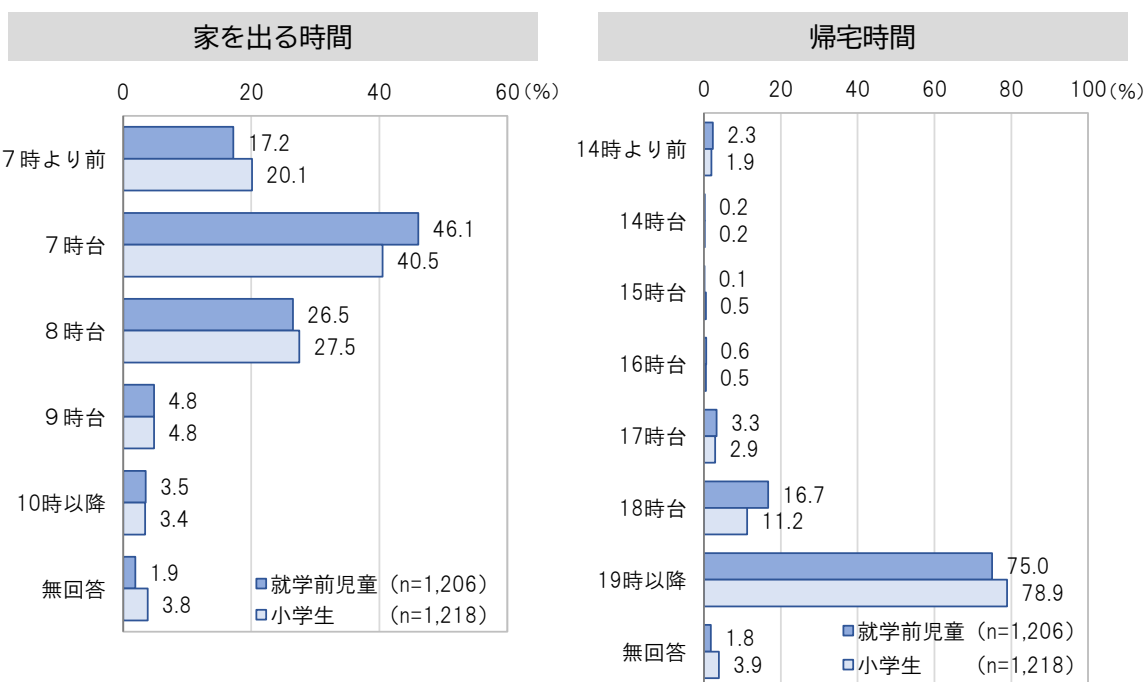
《1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数》

○1週あたりの就労日数は、「5日」が就学前児童で74.5%、小学生で74.3%と最も高くなっている。1日あたりの就労時間数は、「8時間～10時間未満」が就学前児童で55.1%、小学生で48.5%と最も高くなっている。



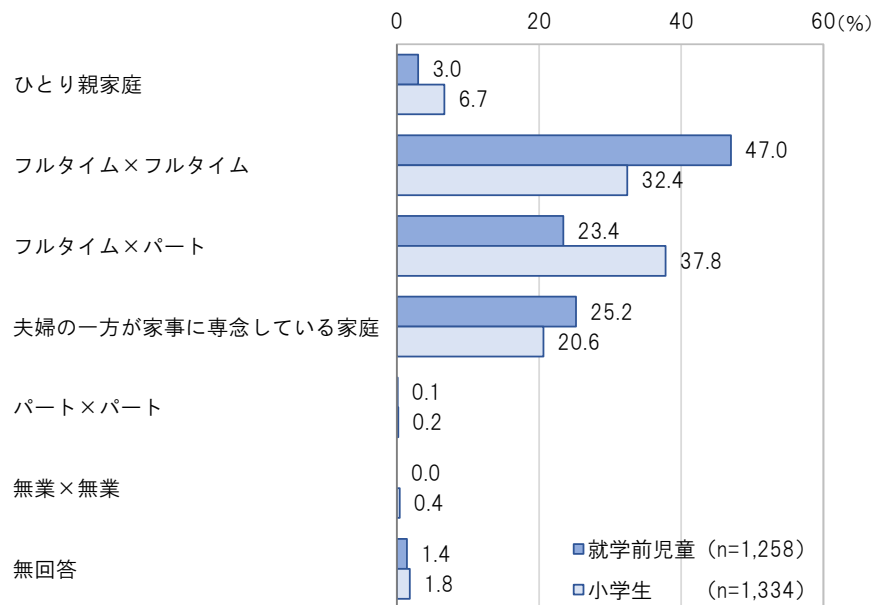
《家を出る時間・帰宅時間》

○家を出る時間は、「7時台」が就学前児童で46.1%、小学生で40.5%と最も高くなっている。帰宅時間は、「19時以降」が就学前児童で75.0%、小学生で78.9%と最も高くなっている。



《家庭類型》

- （７）同居・近居の状況、および（１２）保護者の就労状況より、家庭類型を区分すると、就学前児童では「フルタイム×フルタイム」が 47.0%と最も高く、小学生では「フルタイム×パート」が 37.8%と最も高くなっている。



【参考】家庭類型区分の考え方

		母親	12			7
			フルタイム (今は休んでいるを含む)	パート・ アルバイト (今は休んでいるを含む)	今は働いていない・これまで働いたことがない	母と一緒に住んでいる (母子家庭)
父親	12	フルタイム (今は休んでいるを含む)	フルタイム×フルタイム	フルタイム×パート	夫婦の一方が家事に専念している家庭	
		パート・アルバイト (今は休んでいるを含む)	フルタイム×パート	パート×パート		
		今は働いていない・これまで働いたことがない	夫婦の一方が家事に専念している家庭		無業×無業	
7	父と一緒に住んでいる（父子家庭）		ひとり親家庭			

ひとり親家庭

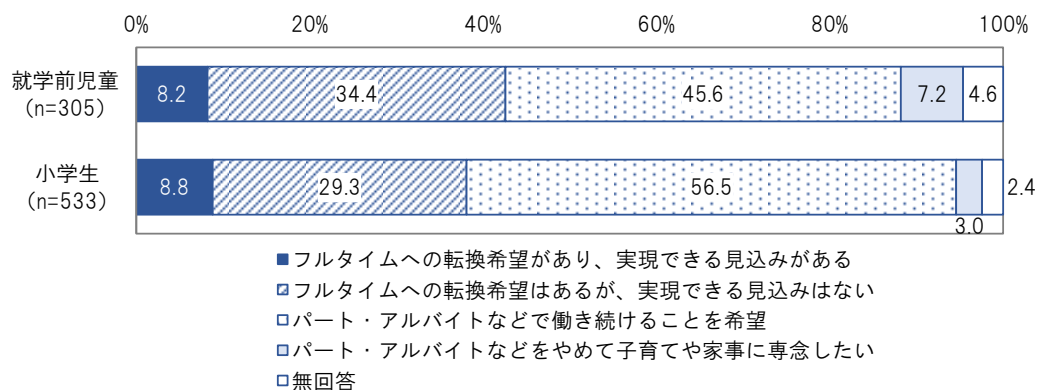
(12-1) フルタイムへの転換希望【就学前／問 14 単数回答、小学生／問 11 単数回答】

※ (12) で「パート・アルバイトで働いている」「パート・アルバイトで働いているが、今は休んでいる」と回答した人のみ

① 母親

○母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が就学前児童で 45.6%、小学生で 56.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（就学前児童：34.4%、小学生：29.3%）となっている。

○小学生に比べて就学前児童でフルタイムへの転換希望が高くなっている。



② 父親（母数が少ないため、グラフを省略）

○父親のパート・アルバイト就労（就学前児童：4人、小学生：8人）のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が就学前児童で2人、それ以外は「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の回答となっている。

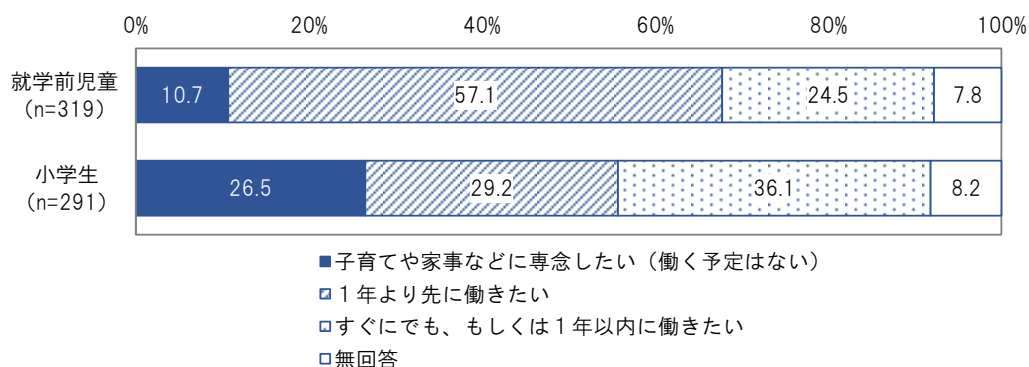
(12-2) 就労に対する希望【就学前／問 15 単数回答・数量回答、小学生／問 12 単数回答・数量回答】

※ (12) で「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」と回答した人のみ

① 母親

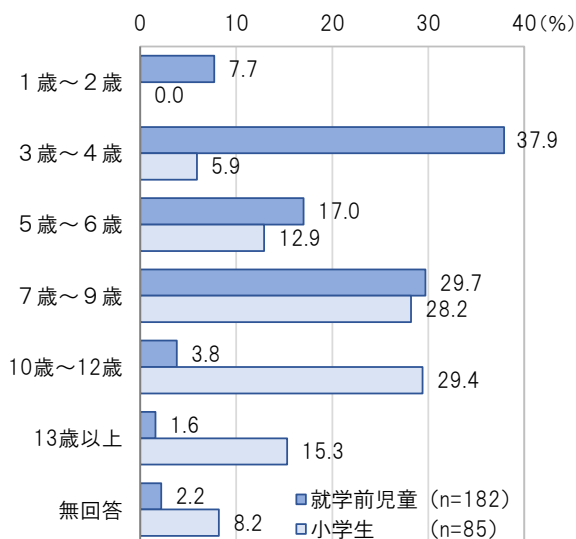
○働いていない母親の就労に対する希望は、就学前児童では「1 年より先に働きたい」が 57.1%、小学生では「すぐにでも、もしくは 1 年以内に働きたい」が 36.1%と最も高くなっている。

○「1 年より先に働きたい」と「すぐにでも、もしくは 1 年以内に働きたい」を合わせた『働きたい』の割合をみると、就学前児童では 8 割以上、小学生では 6 割以上と、就学前児童の方が高くなっている。



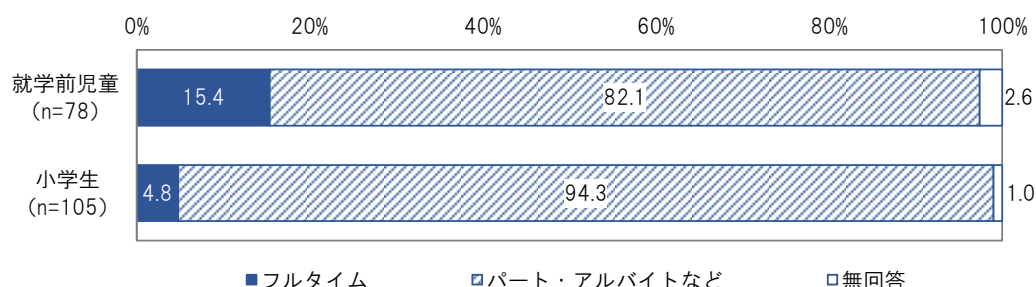
《1 年より先で働きたいときの末子の年齢》

○1 年より先で働きたいときの末子の年齢は、就学前児童では「3 歳～4 歳」が 37.9%、小学生では「10 歳～12 歳」が 29.4%と最も高くなっている。



《希望する働き方》

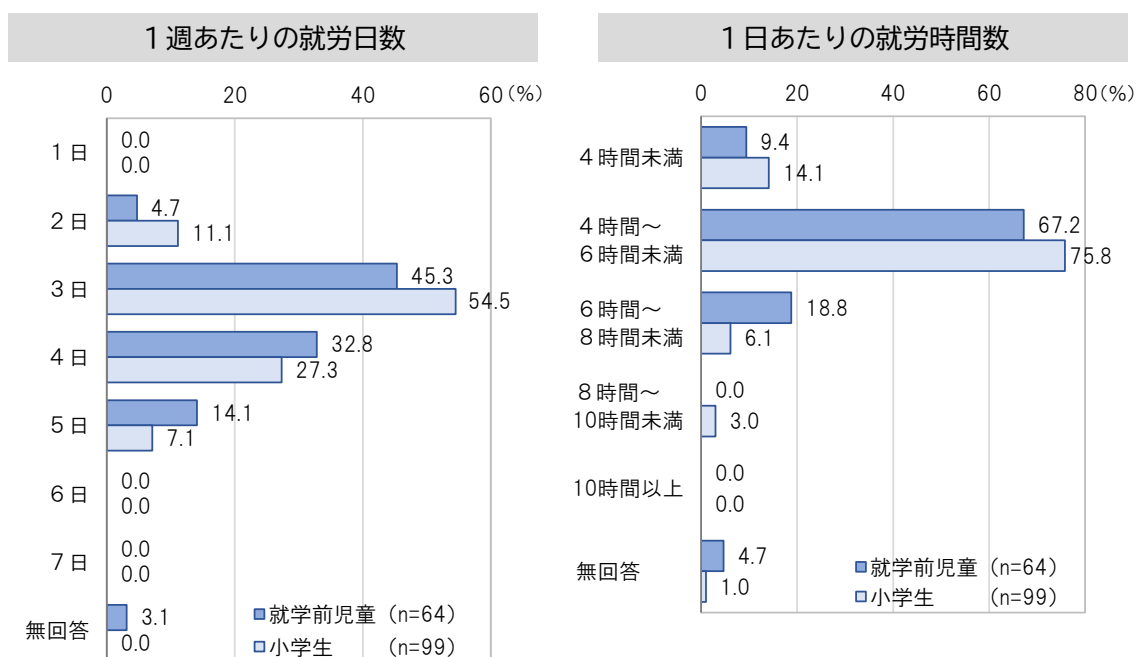
○希望する働き方は、「パート・アルバイトなど」が就学前児童で 82.1%、小学生で 94.3%と最も高くなっている。



《希望する1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数》

○希望する1週あたりの就労日数は、「3日」が就学前児童で 45.3%、小学生で 54.5%と最も高くなっている。1日あたりの就労時間数は、「4時間～6時間未満」が就学前児童で 67.2%、小学生で 75.8%と最も高くなっている。

○現在の就労状況と同様に、就労日数・就労時間数ともに、小学生に比べて就学前児童で長い結果となっている。



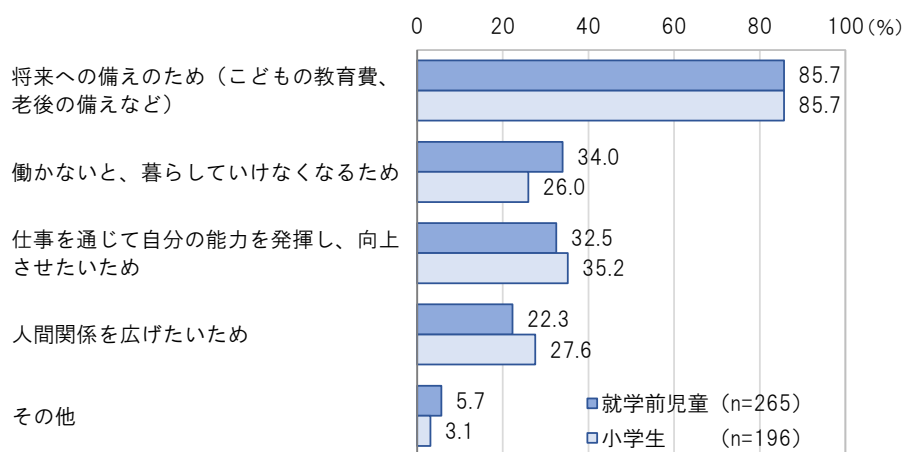
② 父親 (母数が少ないため、グラフを省略)

○父親の働いていない人 (就学前児童：6人、小学生：13人) の就労に対する希望は、就学前児童・小学生ともに「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が最も高くなっており、希望する働き方は就学前児童では「フルタイム」、小学生では「パート・アルバイトなど」が最も高くなっている。

(12-3) 就労を希望する理由【就学前／問 15-1 複数回答、小学生／問 12-1 複数回答】

※ (12-2) で「1 年より先に働きたい」「すぐにでも、もしくは1 年以内に働きたい」と回答した人のみ

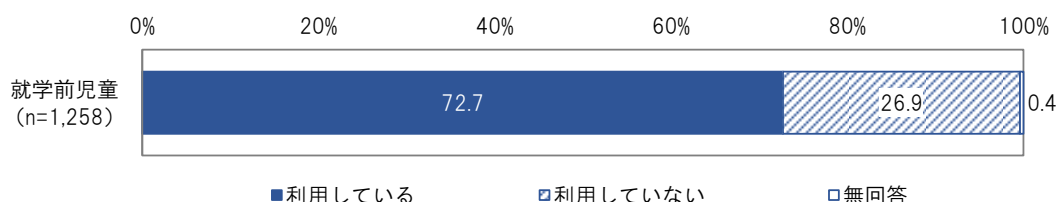
○就労を希望する理由は、「将来への備えのため（こどもの教育費、老後の備えなど）」が就学前児童・小学生ともに 85.7%と最も高く、次いで、就学前児童では「働かないと、暮らしていけなくなるため」が 34.0%、小学生では「仕事を通じて自分の能力を発揮し、向上させたいため」が 35.2%となっている。



2. 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて

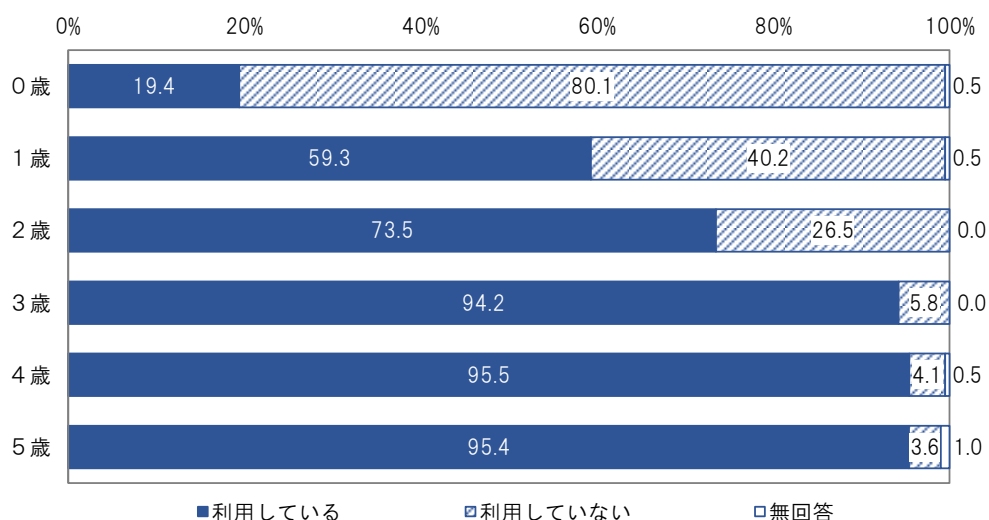
(1) 平日にこどもを預かる施設・サービスの利用の有無【就学前／問 16 単数回答】

○平日にこどもを預かる施設・サービスの利用の有無は、「利用している」が72.7%、「利用していない」が26.9%となっている。



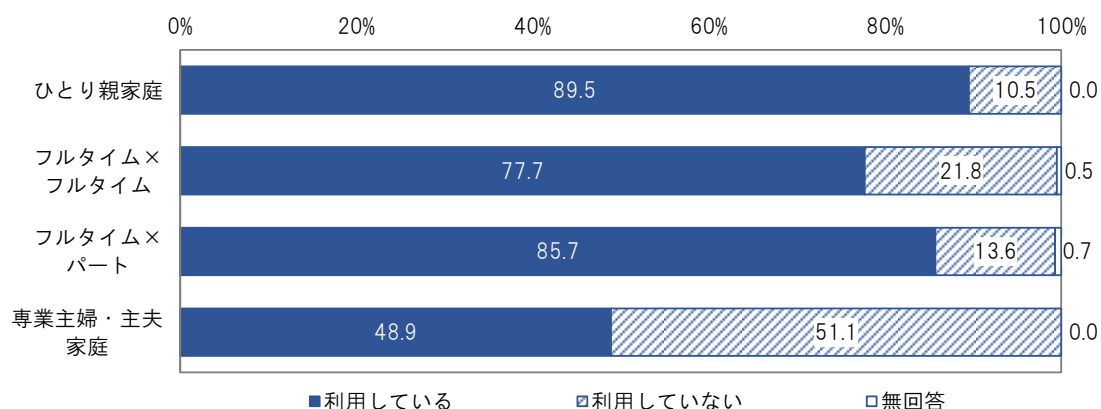
《年齢別比較》

○年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「利用している」が高くなっており、[3歳]以上ではほぼ全員が「利用している」と回答している。



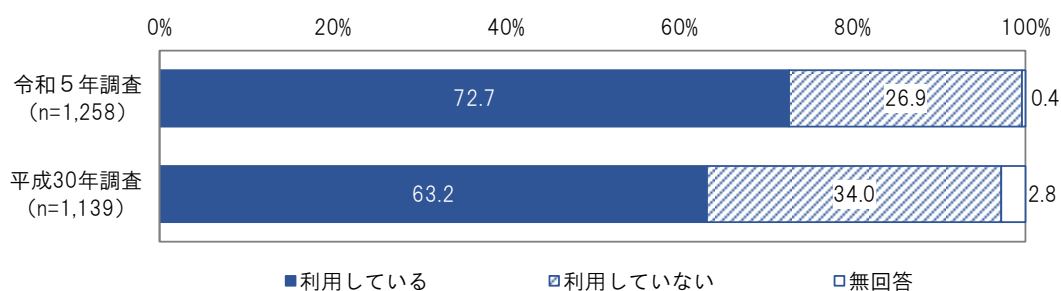
《家庭類型別比較》

○家庭類型別にみると、「利用している」の割合は、[ひとり親家庭]で89.5%と最も高く、次いで[フルタイム×パート]で85.7%、[フルタイム×フルタイム]で77.7%となっている。



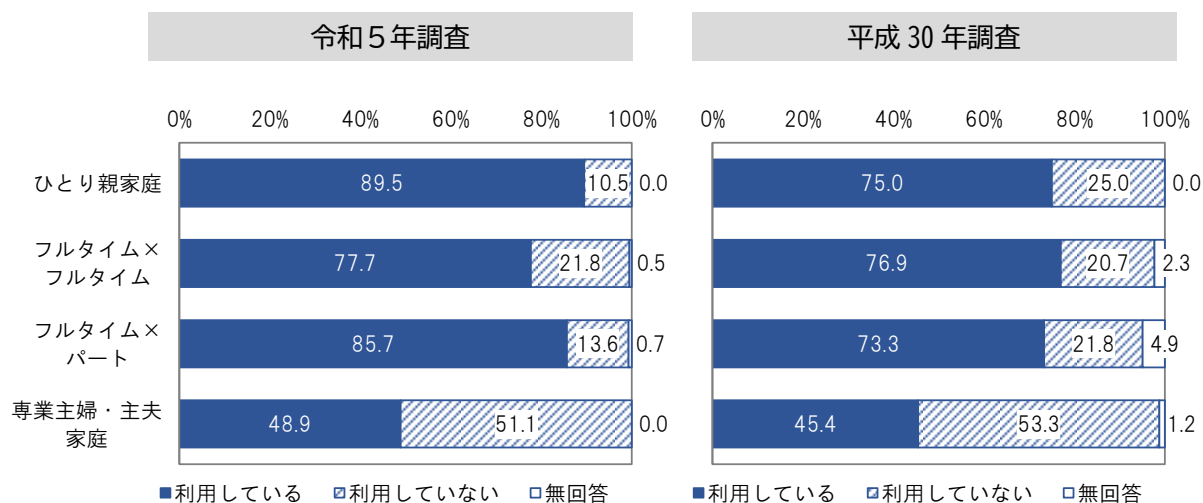
《経年比較》

○平成 30 年調査と比較すると、「利用している」の割合が 10 ポイント近く高くなっている。



《経年比較：家族類型別》

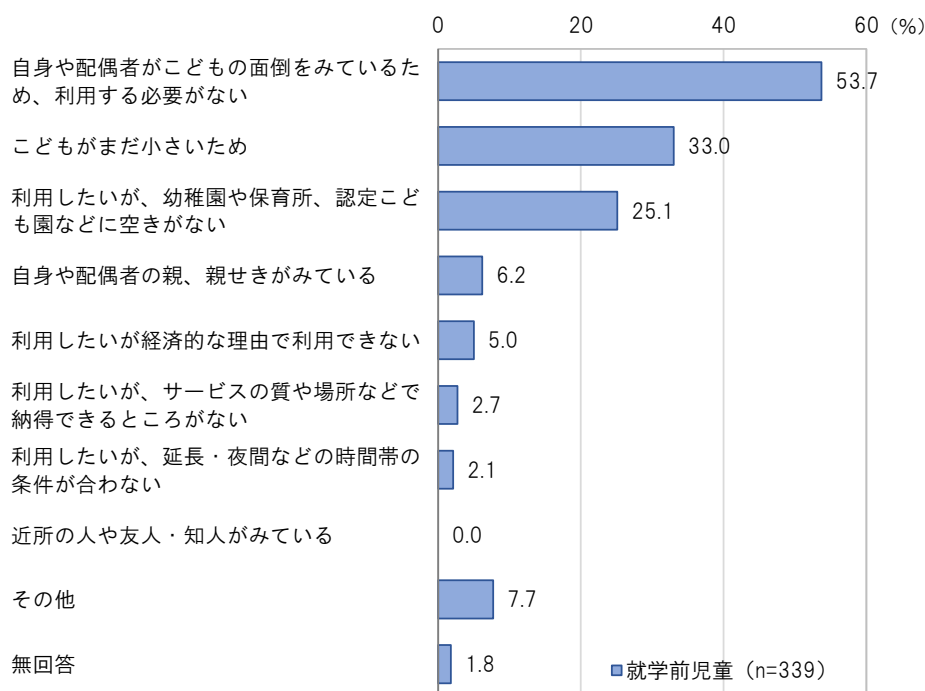
○家族類型別の利用状況について平成 30 年調査と比較すると、[ひとり親家庭] および [フルタイム×パート] で「利用している」が 10 ポイント以上高くなっている。



(1-1) 平日にこどもを預かる施設・サービスを利用していない理由【就学前／問16-1 複数回答】

※(1)で「利用していない」と回答した人のみ

○平日にこどもを預かる施設・サービスを利用していない理由は、「自身や配偶者がこどもの面倒をみているため、利用する必要がない」が53.7%と最も高く、次いで「こどもがまだ小さいため」(33.0%)、「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」(25.1%)となっている。



《家庭類型別比較》

○家庭類型別にみると、[フルタイム×フルタイム]では「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」がその他の家庭類型に比べて高くなっている。

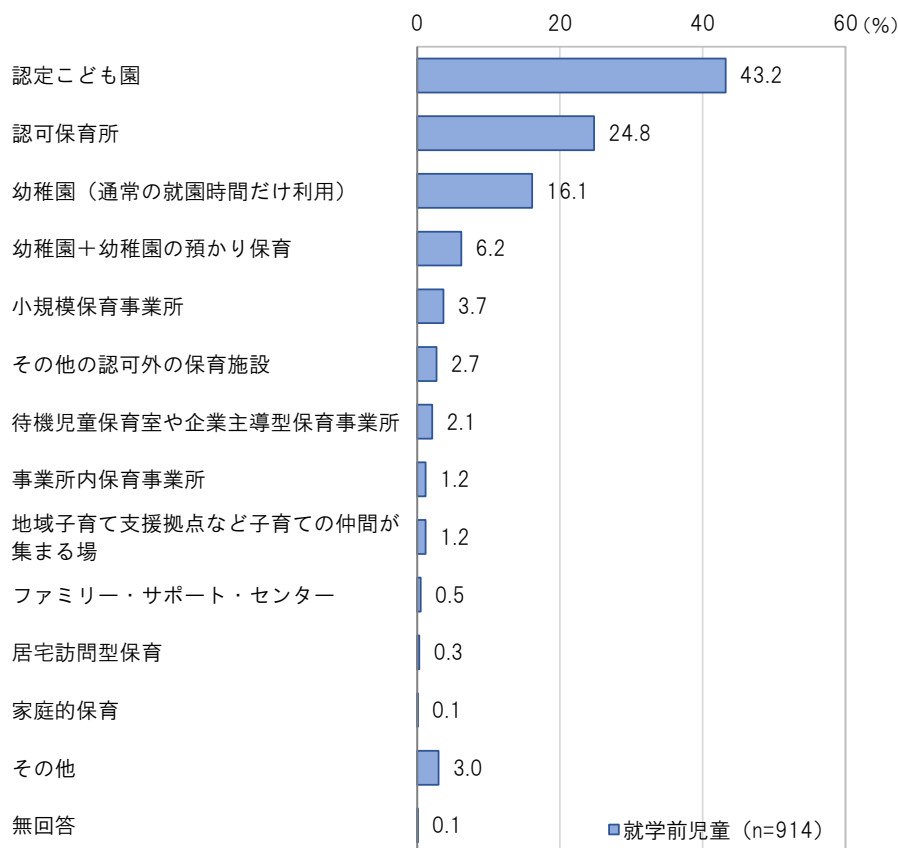
		回答者数(人)	自身や配偶者がこどもの面倒をみているため、利用する必要がない	こどもがまだ小さいため	利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない	自身や配偶者の親、親せきがみている	利用したいが経済的な理由で利用できない	利用したいが、サービスの質や場所などで納得できるところがない	利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない	近所の人や友人・知人がみている	その他	無回答
家庭類型別	ひとり親家庭	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	フルタイム×フルタイム	129	38.0	35.7	36.4	6.2	1.6	0.8	0.8	-	9.3	1.6
	フルタイム×パート	40	45.0	32.5	22.5	5.0	15.0	5.0	5.0	-	12.5	2.5
	専業主婦・主夫家庭	162	69.1	31.5	16.0	6.8	5.6	3.7	2.5	-	5.6	1.2

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(1-2) 平日に定期的に利用している施設・サービス【就学前／問 16-2 複数回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

○平日に定期的に利用している施設・サービスは、「認定こども園」が43.2%と最も高く、次いで「認可保育所」(24.8%)、「幼稚園(通常の就園時間だけ利用)」(16.1%)となっている。



《年齢別比較》

○年齢別にみると、すべての年齢で「認定こども園」が最も高く、次いで、[3歳]では「幼稚園(通常の就園時間だけ利用)」、その他の年齢では「認可保育園」となっている。

(%)

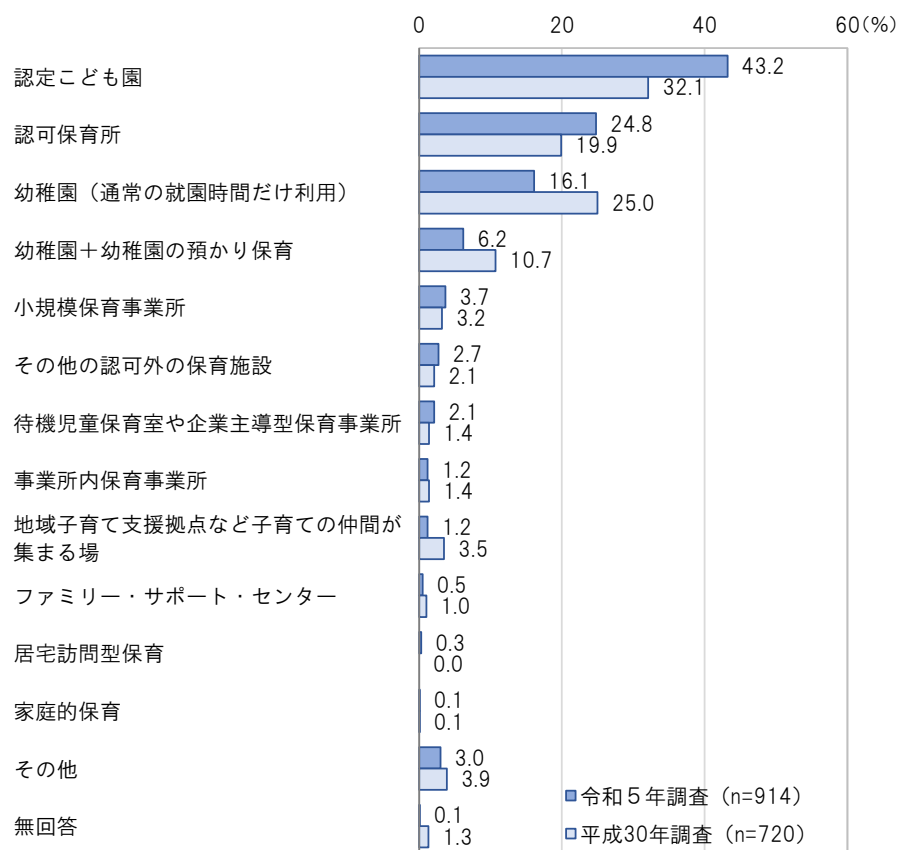
		回答者数(人)	認定こども園	認可保育所	幼稚園(通常の就園時間だけ利用)	幼稚園+幼稚園の預かり保育	小規模保育事業所	その他の認可外の保育施設	待機児童保育室や企業主導型保育事業所	事業所内保育事業所	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	居宅訪問型保育	家庭的保育	その他	無回答
年齢別	0歳	41	48.8	26.8	2.4	-	7.3	4.9	4.9	2.4	4.9	-	-	-	-	-
	1歳	121	40.5	25.6	-	0.8	10.7	9.9	7.4	3.3	2.5	-	0.8	-	1.7	-
	2歳	150	38.7	32.7	4.7	0.7	10.7	4.0	2.0	2.0	0.7	0.7	-	0.7	6.0	-
	3歳	180	44.4	20.0	27.8	4.4	0.6	1.7	1.7	-	1.7	0.6	-	-	2.2	0.6
	4歳	210	44.3	23.8	21.0	11.4	-	0.5	-	0.5	1.0	0.5	0.5	-	4.8	-
	5歳	188	45.2	22.9	21.8	11.7	-	0.5	0.5	1.1	-	1.1	-	-	1.1	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「認定こども園」や「認可保育所」で高くなっており、特に「認定こども園」では10ポイント以上高くなっている。

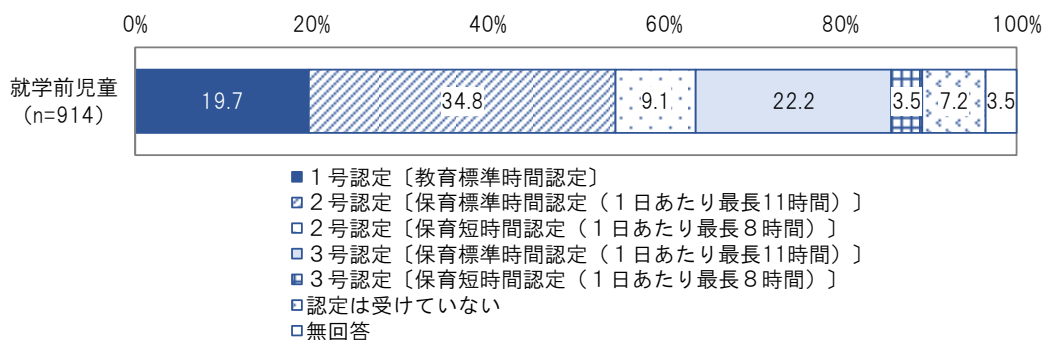
○また、「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」では、10ポイント近く低くなっている。



(1-3) 教育・保育給付の認定状況【就学前／問 16-3 単数回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

○教育・保育給付の認定状況は、「2号認定〔保育標準時間認定（1日あたり最長11時間）〕」が34.8%と最も高く、次いで「3号認定〔保育標準時間認定（1日あたり最長11時間）〕」が22.2%、「1号認定〔教育標準時間認定〕」が19.7%となっている。

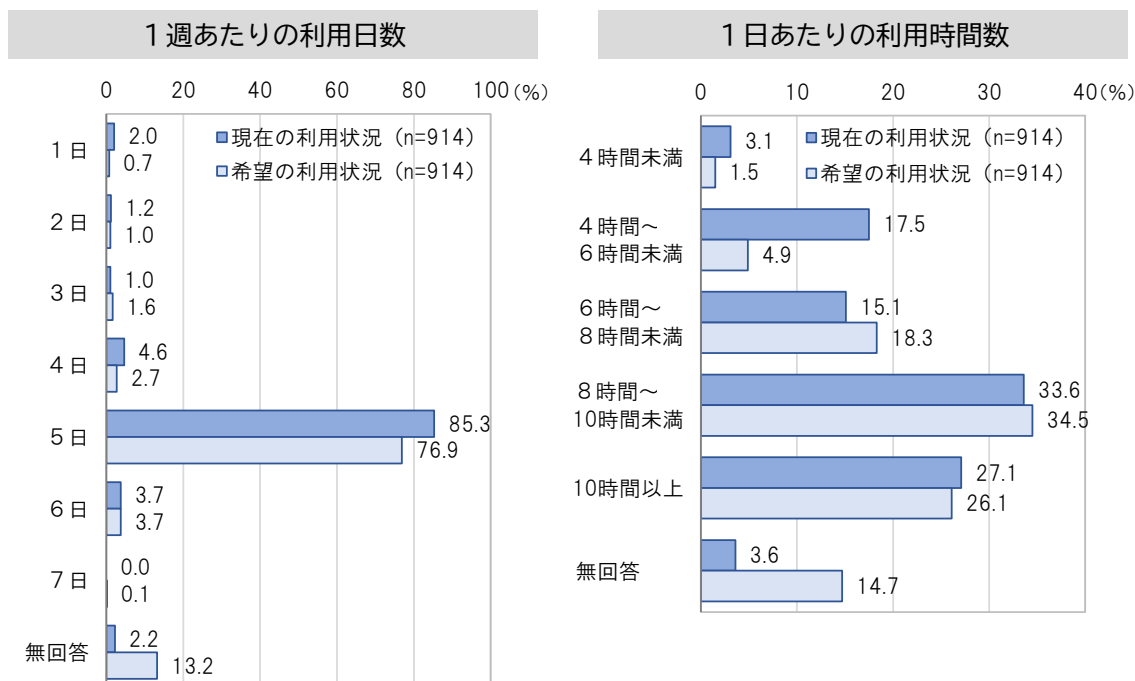


(1-4) 平日に定期的に利用している施設・サービスの利用状況と希望【就学前／問 16-4 数量回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

《1週あたりの利用日数・1日あたりの利用時間数》

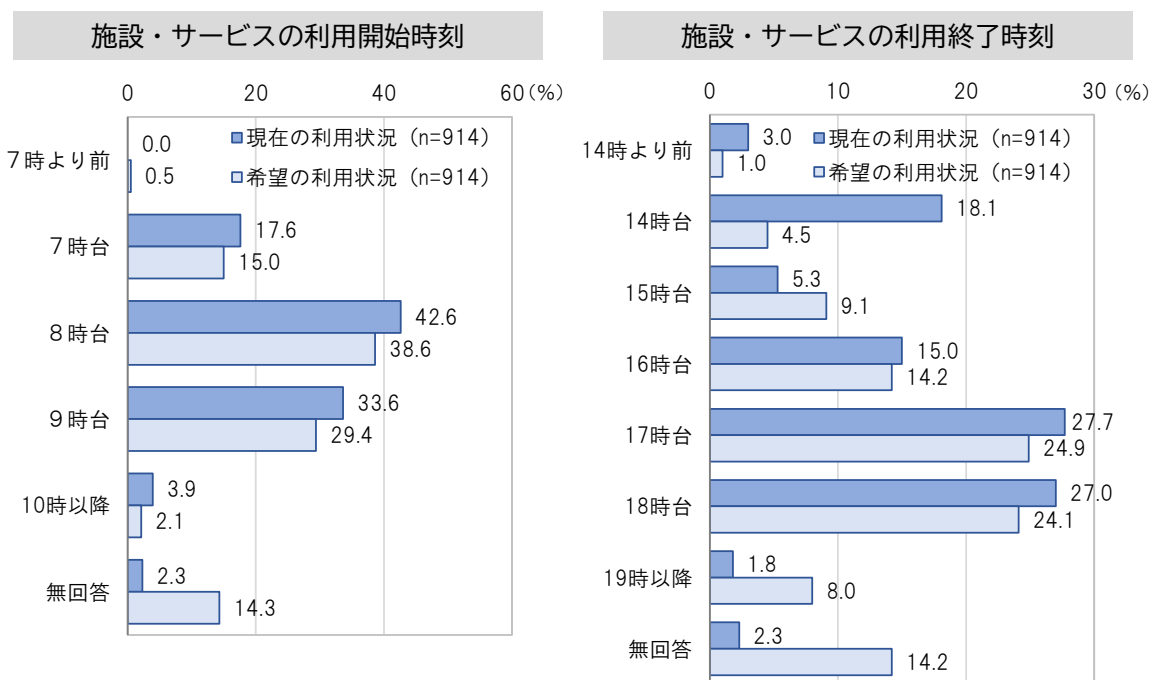
○現在の利用状況・希望の利用状況ともに、1週あたりの利用日数は「5日」、1日あたりの利用時間数は「8時間～10時間未満」が最も高くなっている。



《施設・サービスの利用開始・終了時刻》

○現在の利用状況・希望の利用状況ともに、施設・サービスの利用開始時刻は「8 時台」、利用終了時刻は「17 時台」が最も高くなっている。

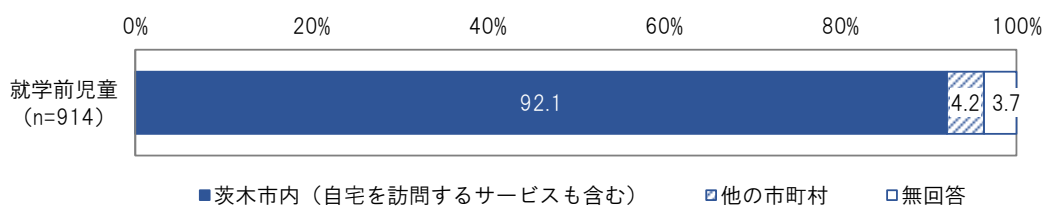
○利用終了時刻では、「19 時以降」で、現在の利用状況に比べて希望の利用状況が高い割合となっており、遅い時刻までの利用を望む人が多くなっている。



(1-5) 利用している施設・サービスの所在地【就学前／問 16-5 単数回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

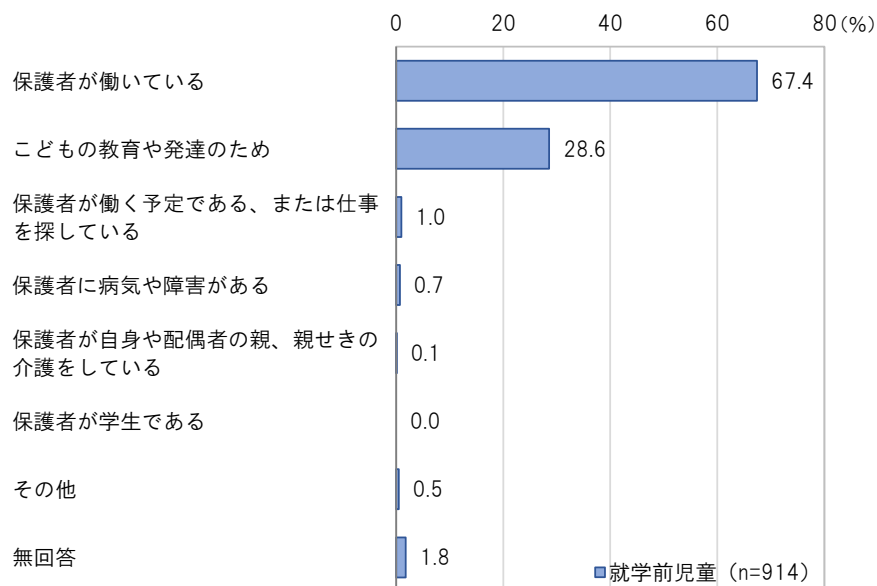
○利用している施設・サービスの所在地は、「茨木市内（自宅を訪問するサービスも含む）」が 92.1% と最も高くなっている。



(1-6) 平日にこどもを預かる施設・サービスを利用している理由【就学前／問16-6 単数回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

○平日にこどもを預かる施設・サービスを利用している理由は、「保護者が働いている」が67.4%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達のため」(28.6%)となっている。



《家庭類型別比較》

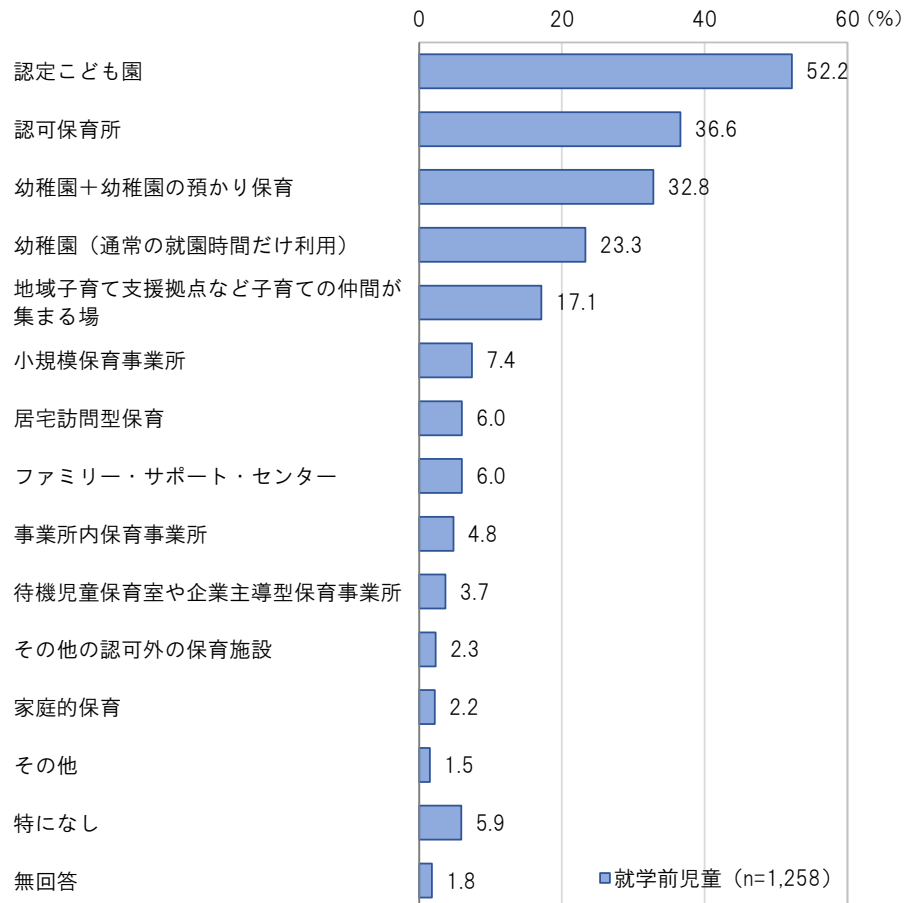
○家庭類型別にみると、[ひとり親家庭][フルタイム×フルタイム][フルタイム×パート]では「保護者が働いている」、[専業主婦・主夫家庭]では「こどもの教育や発達のため」が最も高くなっている。

			(%)							
		回答者数(人)	保護者が働いている	こどもの教育や発達のため	保護者が働く予定である、または、仕事を探している	保護者に病気や障害がある	保護者が自身や配偶者の親、親せきの介護をしている	保護者が学生である	その他	無回答
家庭類型別	ひとり親家庭	34	79.4	11.8	-	5.9	-	-	-	2.9
	フルタイム×フルタイム	459	91.1	6.5	1.1	-	-	-	0.2	1.1
	フルタイム×パート	252	63.9	33.3	0.4	-	-	-	-	2.4
	専業主婦・主夫家庭	155	3.2	87.1	1.9	1.9	0.6	-	2.6	2.6

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 平日に定期的な利用を希望する預かる施設・サービス【就学前／問 18 複数回答】

○平日に定期的な利用を希望する預かる施設・サービスは、「認定こども園」が52.2%と最も高く、次いで「認可保育所」(36.6%)、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」(32.8%)となっている。



《年齢別比較》

○年齢別にみると、すべての年齢で「認定こども園」が最も高く、次いで、[0歳] から [2歳] では「認可保育所」、[3歳] から [5歳] では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」となっている。

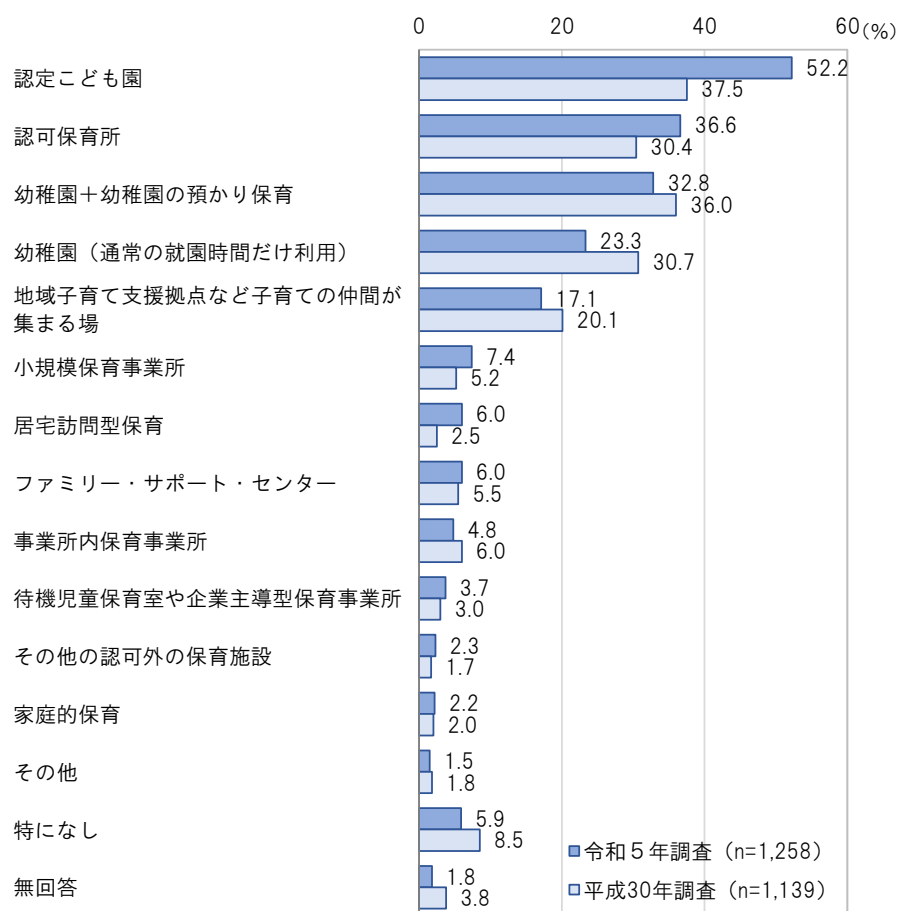
		回答者数 (人)	認定こども園	認可保育所	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	幼稚園（通常の就園時間だけ利用）	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	小規模保育事業所	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	事業所内保育事業所	待機児童保育室や企業主導型保育事業所	その他の認可外の保育施設	家庭的保育	その他	特になし
年齢別	0歳	211	60.2	49.3	24.6	19.0	33.6	17.5	5.7	8.1	5.2	7.1	4.7	1.9	1.4	5.2
	1歳	204	62.7	44.6	31.4	22.1	26.5	14.2	11.3	9.3	5.4	6.9	3.4	3.4	1.0	5.9
	2歳	204	54.9	37.7	35.3	25.0	14.7	5.4	3.9	4.4	4.4	2.5	2.0	0.5	1.0	5.9
	3歳	191	47.1	25.7	34.6	24.6	12.6	3.7	6.3	5.2	6.3	2.1	2.1	3.1	2.1	4.7
	4歳	220	45.5	33.2	35.9	25.0	9.1	1.8	5.9	6.4	3.2	2.3	0.9	2.3	1.8	6.4
	5歳	197	43.1	27.4	36.0	23.9	6.6	1.0	2.5	3.0	5.1	1.0	0.5	2.5	1.5	7.6

※1番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。（無回答は省略）

《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「認定こども園」や「認可保育所」で高くなっており、特に「認定こども園」では約15ポイント高くなっている。

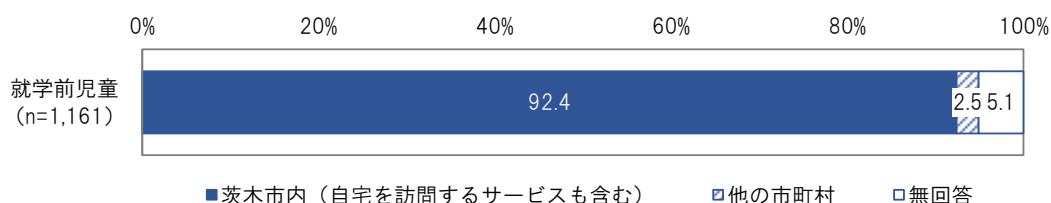
○一方で、「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」では、7.4ポイント低くなっている。



（２－１）利用を希望する施設・サービスの所在地【就学前／問 18-1 単数回答】

※（２）でいずれかの施設・サービスを回答した人のみ

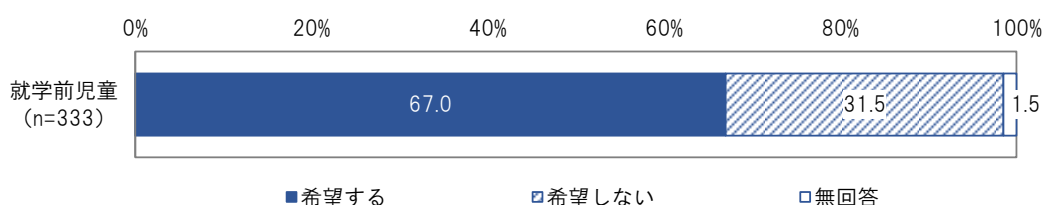
○利用を希望する施設・サービスの所在地は、「茨木市内（自宅を訪問するサービスも含む）」が 92.4%と最も高くなっている。



（２－２）幼稚園の利用意向【就学前／問 18-2 単数回答】

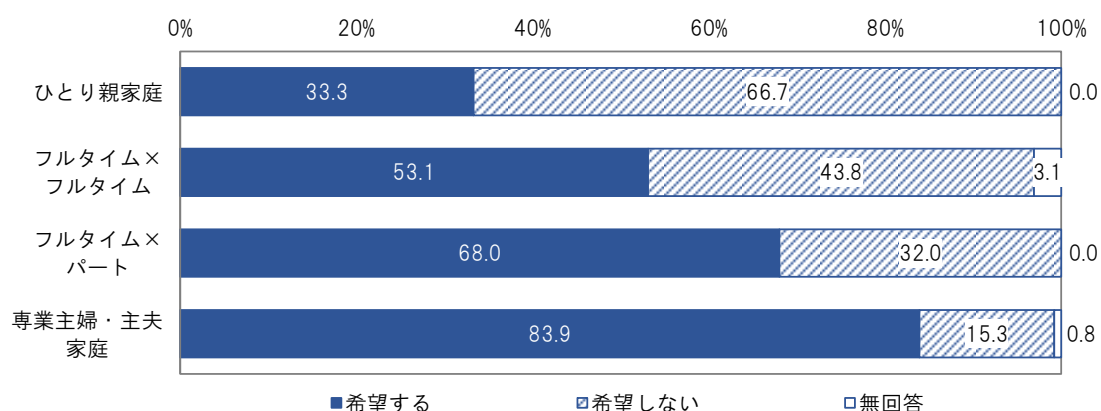
※（２）で「幼稚園」「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」と、その他の施設・サービスを回答した人のみ

○幼稚園の利用意向は、「希望する」が 67.0%、「希望しない」が 31.5%となっている。



《家庭類型別比較》

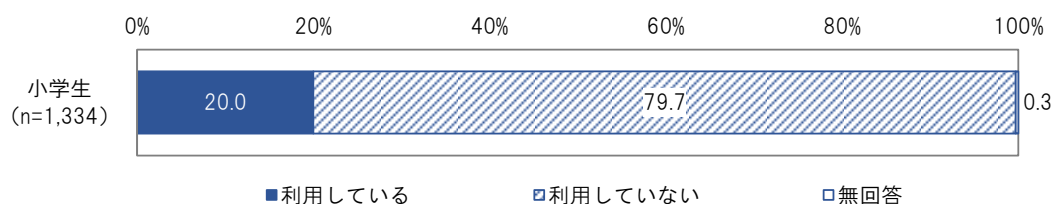
○家庭類型別にみると、「希望する」の割合は、[専業主婦・主夫家庭]で 83.9%と最も高く、次いで [フルタイム×パート]で 68.0%、[フルタイム×フルタイム]で 53.1%となっている。



3. 学童保育の利用について

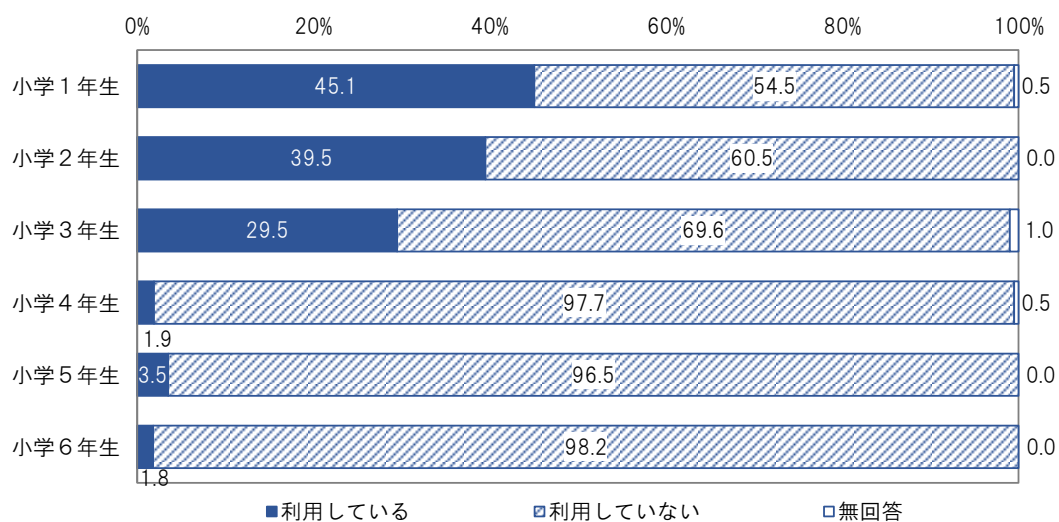
(1) 平日の学童保育の利用有無【小学生／問 13 単数回答】

○平日の学童保育の利用有無は、「利用している」が20.0%、「利用していない」が79.7%となっている。



《学年別比較》

○学年別にみると、学年が下がるにつれて「利用している」が高くなっており、[小学1年生]では「利用している」が4割以上となっている。

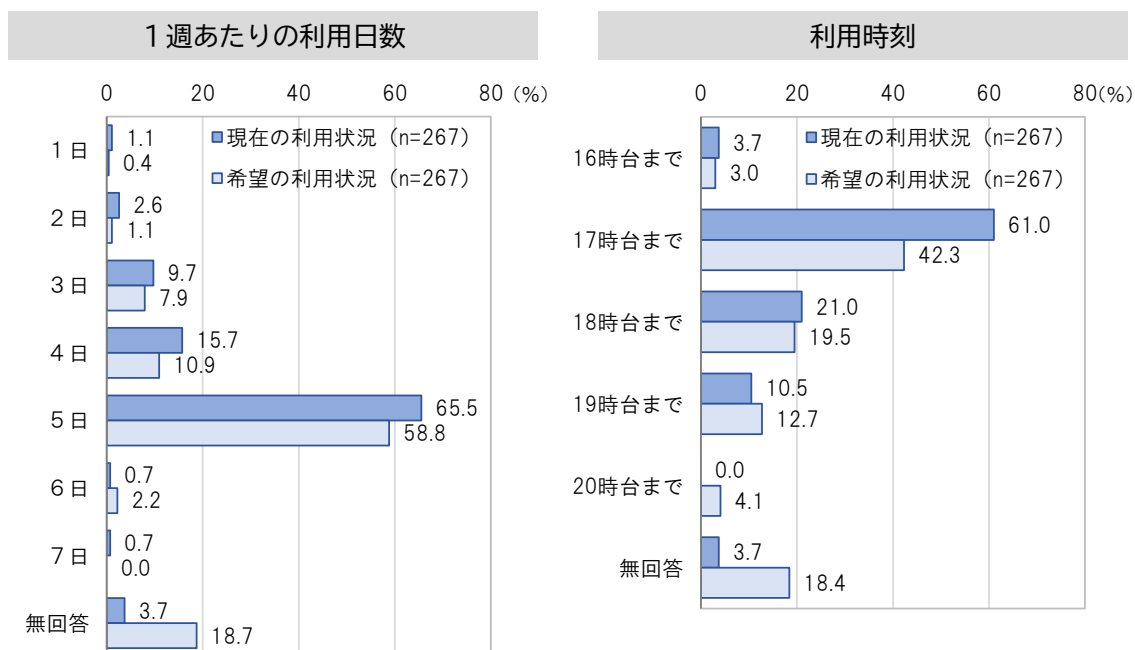


(1-1) 学童保育の利用状況と希望【小学生／問 14 数量回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

○現在の利用状況・希望の利用状況ともに、1週あたりの利用日数は「5日」、1日あたりの利用時間は「17時台まで」が最も高くなっている。

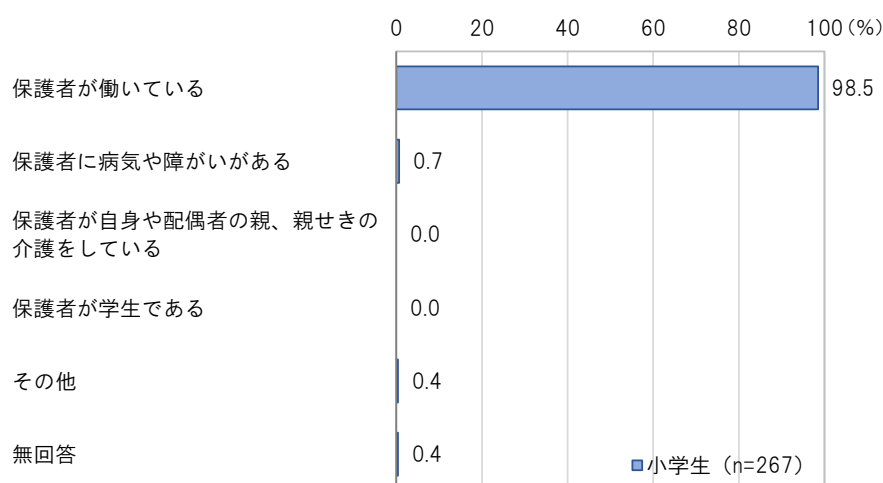
○利用時間をみると、現在の利用状況と比べて希望の利用状況では遅い時間までの利用を望む人が多くなっている。



(1-2) 学童保育を利用している理由【小学生／問 14-1 単数回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

○学童保育を利用している理由は、「保護者が働いている」が98.5%と最も高くなっている。

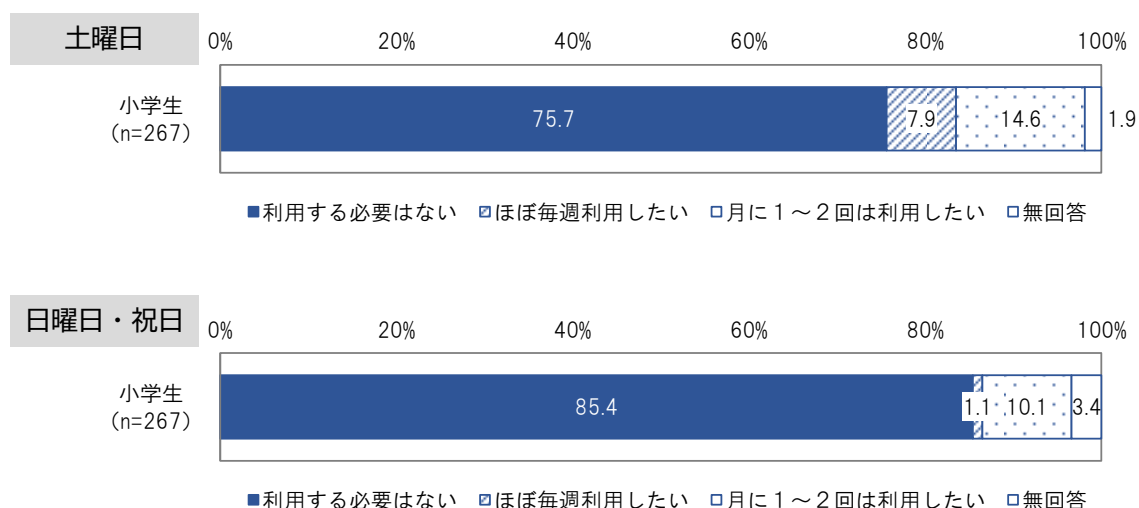


(2) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望【小学生／問 14-2 単数回答・数量回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

○土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ75.7%、85.4%と最も高くなっている。

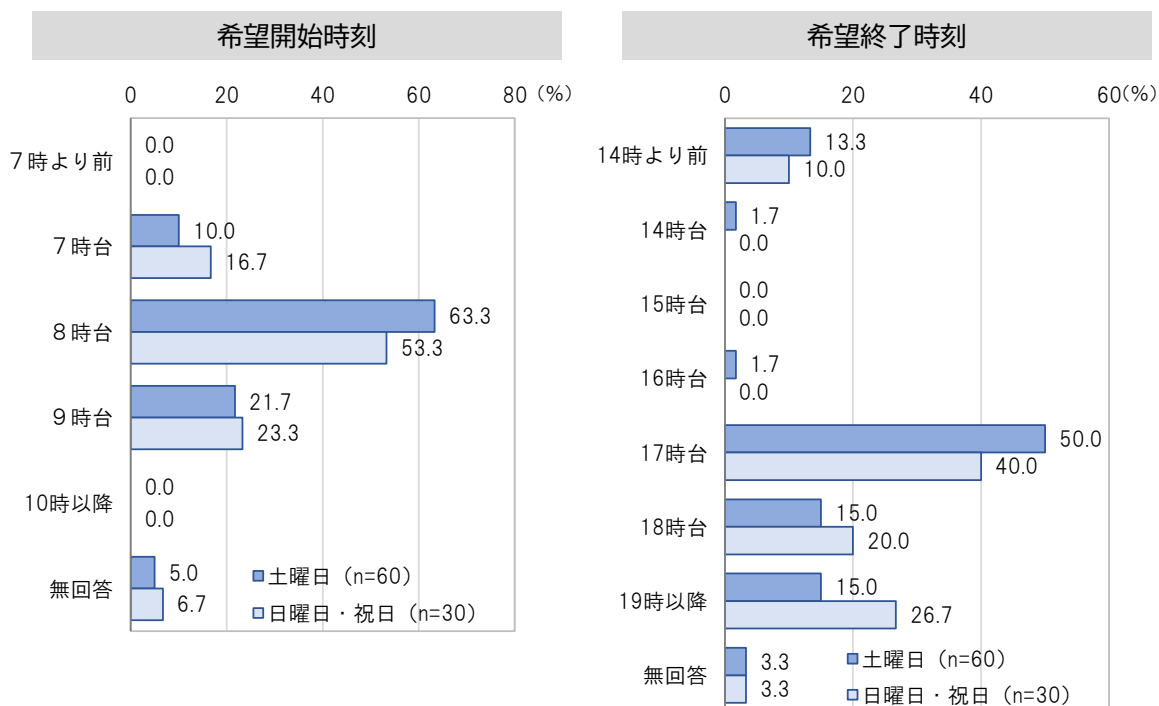
○「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた『利用したい』は、土曜日では2割以上、日曜日・祝日では1割程度となっている。



《利用希望時間帯》

○土曜日・日曜日・祝日ともに、希望開始時刻は「8時台」、希望終了時刻は「17時台」が最も高くなっている。

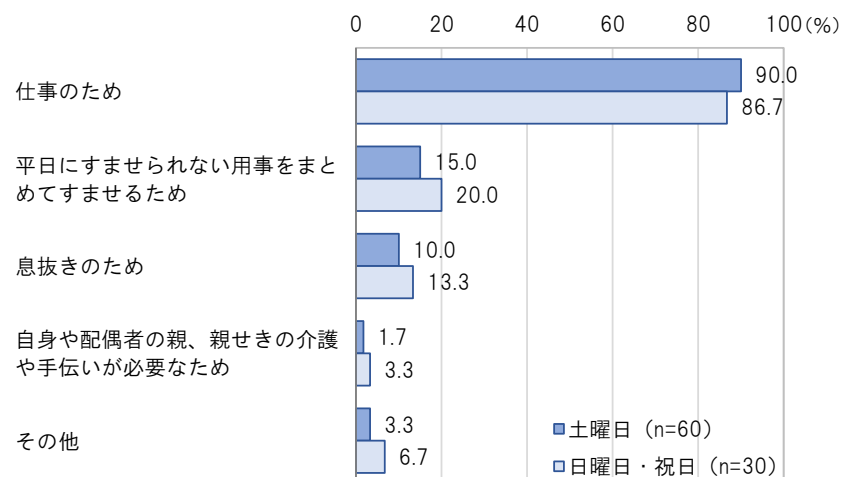
○希望終了時刻では、「18時台」「19時以降」が土曜日に比べて日曜日・祝日で高くなっており、土曜日に比べて日曜日・祝日で長い時間の利用を望む人が多くなっている。



（２－１）土曜日と日曜日・祝日に学童保育を利用したい理由【小学生／問 14-3 複数回答】

※（２）で「ほぼ毎週利用したい」「月に１～２回は利用したい」と回答した人のみ

○土曜日と日曜日・祝日に学童保育を利用したい理由は、「仕事のため」が土曜日で 90.0%、日曜日・祝日で 86.7%と最も高くなっている。

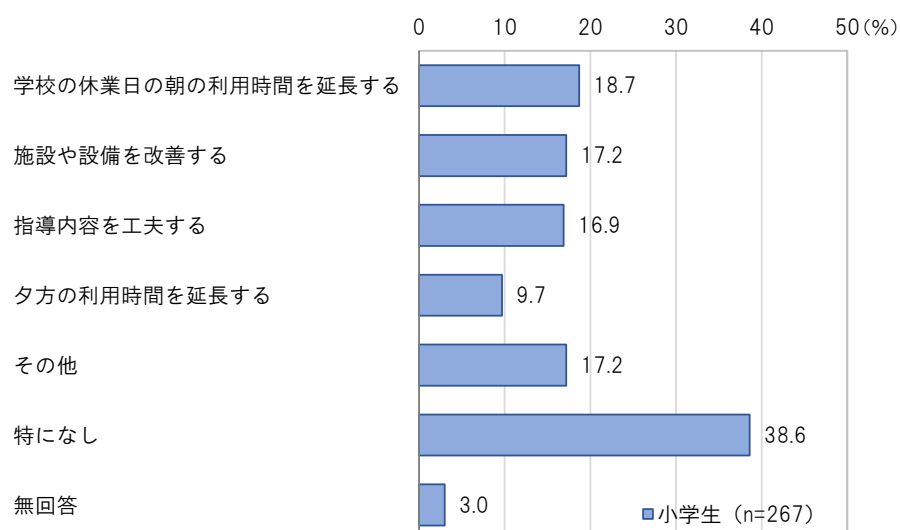


（３）現在通っている学童保育に希望すること【小学生／問 14-4 複数回答】

※（１）で「利用している」と回答した人のみ

○現在通っている学童保育に希望することは、「特になし」が 38.6%と最も高くなっている。

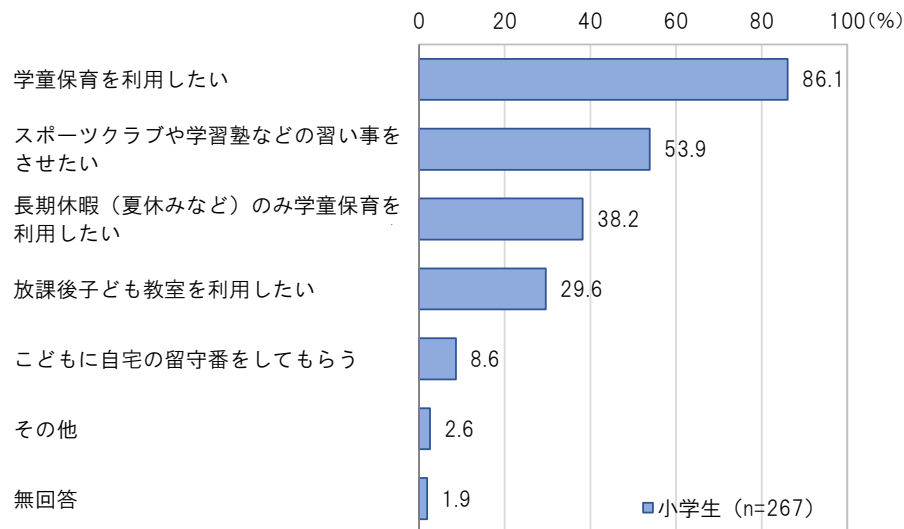
○希望することがある人では、「学校の休業日の朝の利用時間を延長する」が 18.7%と高く、次いで「施設や設備を改善する」(17.2%)、「指導内容を工夫する」(16.9%)となっている。



(4) 放課後の過ごし方として望むこと【小学生／問 14-5 複数回答】

※(1)で「利用している」と回答した人のみ

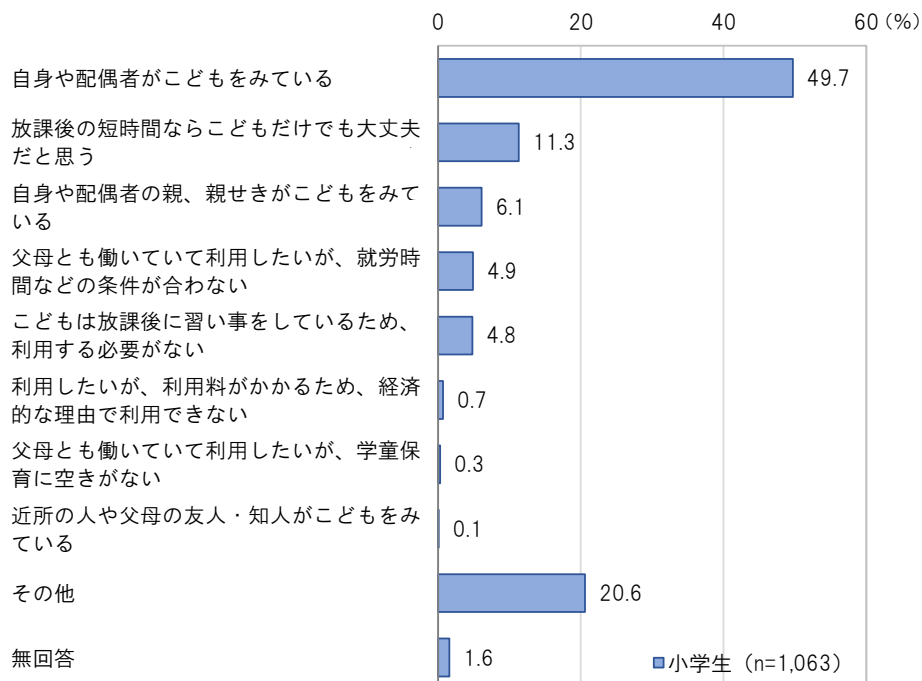
○放課後の過ごし方として望むことは、「学童保育を利用したい」が86.1%と最も高く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(53.9%)、「長期休暇(夏休みなど)のみ学童保育を利用したい」(38.2%)となっている。



(5) 学童保育を利用していない理由【小学生／問 15 単数回答】

※(1)で「利用していない」と回答した人のみ

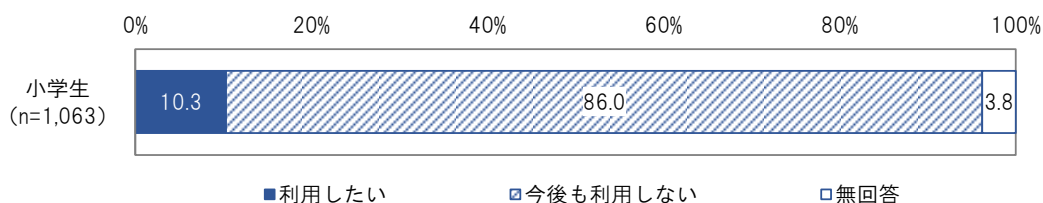
○学童保育を利用していない理由は、「自身や配偶者がこどもをみている」が49.7%と最も高く、次いで「放課後の短時間ならこどもだけでも大丈夫だと思う」(11.3%)となっている。



(6) 学童保育の利用意向【小学生／問 15-1 単数回答・数量回答】

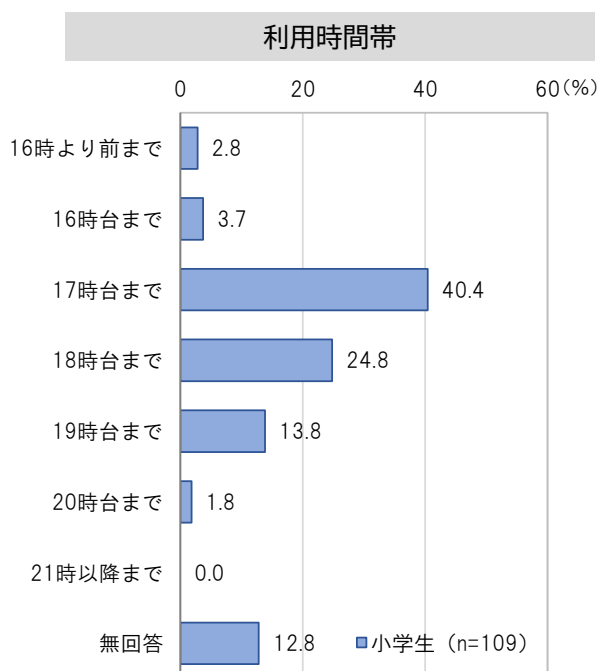
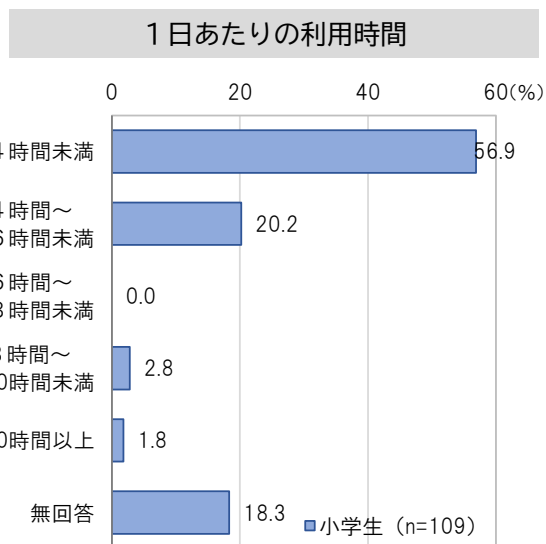
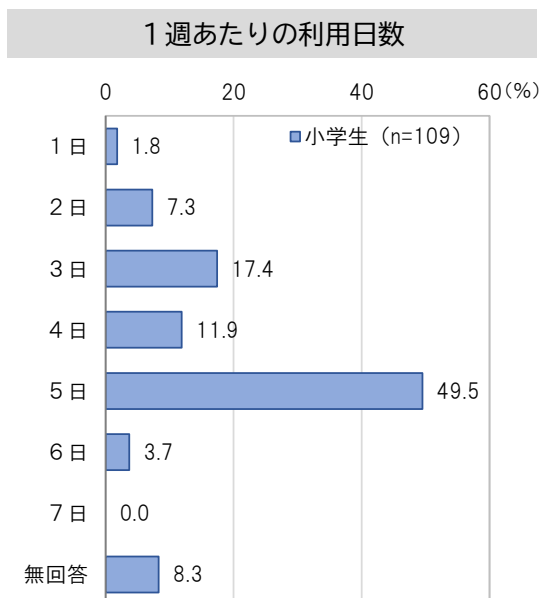
※(1)で「利用していない」と回答した人のみ

○学童保育の利用意向は、「今後も利用しない」が86.0%と大半を占め、「利用したい」は10.3%となっている。



《希望の利用頻度》

○1週あたりの利用日数は「5日」、1日あたりの利用時間は「4時間未満」、利用時間帯は「17時台まで」が最も高くなっている。

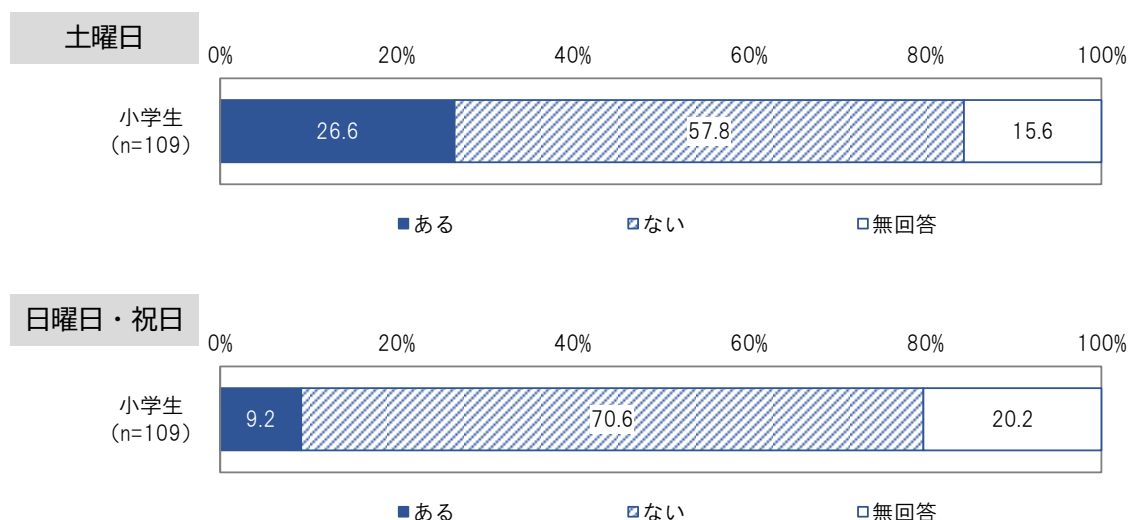


（6-1）土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用意向【小学生／問 15-1 単数回答・数量回答】

※（6）で「利用したい」と回答した人のみ

○土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用意向は、土曜日、日曜日・祝日ともに「ない」がそれぞれ 57.8%、70.6%と最も高くなっている。

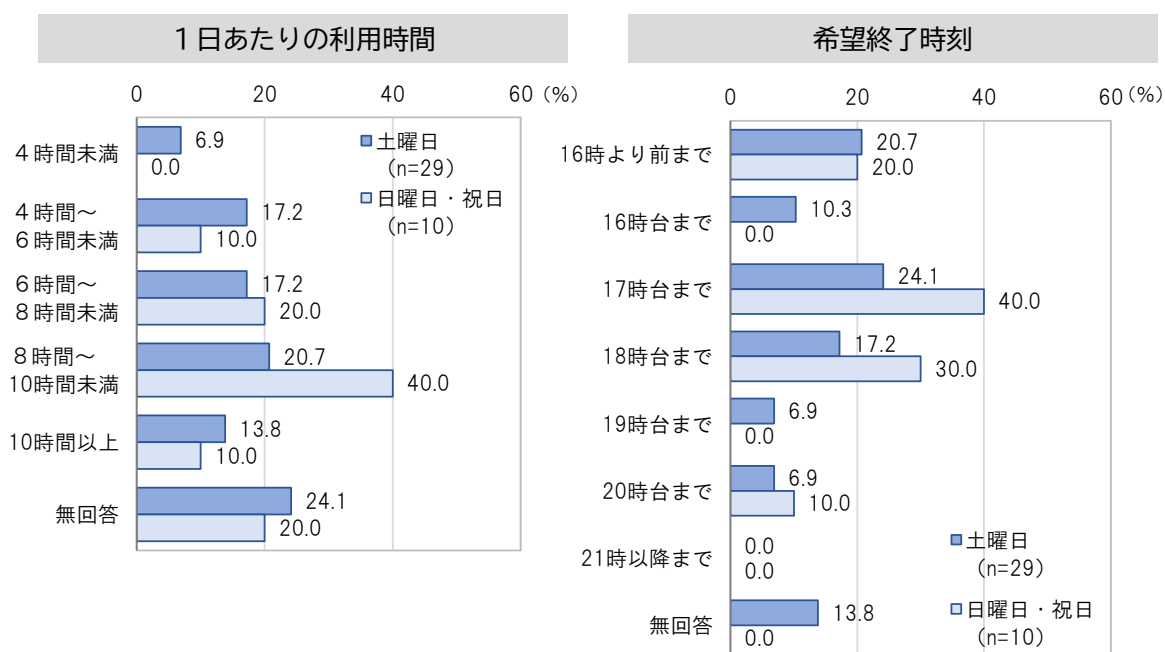
○「ある」の割合は、土曜日では2割以上、日曜日・祝日では約1割となっている。



《利用希望時間帯》

○土曜日・日曜日・祝日ともに、1日あたりの利用時間は「8時間～10時間未満」、希望終了時刻は「17時台まで」が最も高くなっている。

○1日あたりの利用時間では『6時間以上』、希望終了時刻では『17時台以降』で土曜日に比べて日曜日・祝日で高くなっており、土曜日に比べて日曜日・祝日で長い時間の利用を望む人が多くなっている。

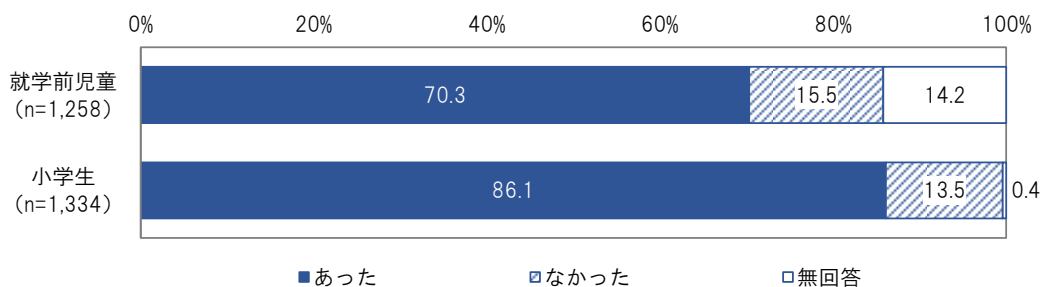


4. こどもの病気等の際の対応について

(1) この1年間に、こどもが病気やけがで通常の利用（登校）ができなかったことの有無

【就学前／問 17 単数回答、小学生／問 16 単数回答】

○病気やけがで通常の利用（登校）ができなかったことの有無は、「あった」が就学前児童で 70.3%、小学生で 86.1%となっている。



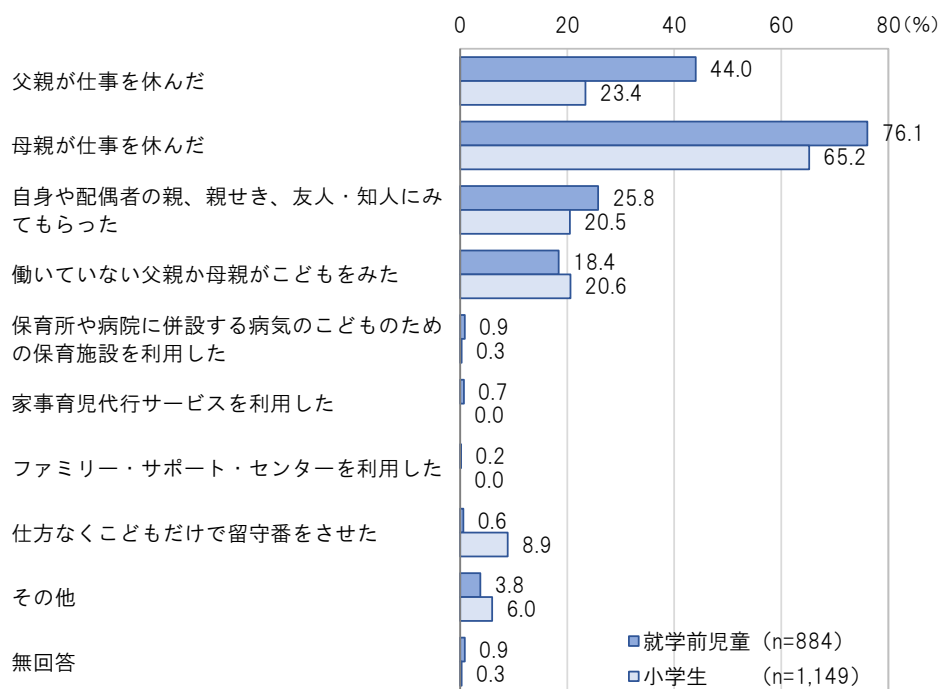
(1-1) こどもが病気やけがで通常の利用（登校）ができなかった時の対処方法・日数

【就学前／問 17-1 複数回答・数量回答、小学生／問 16-1 複数回答・数量回答】

※(1)で「あった」と回答した人のみ

○こどもが病気やけがで通常の利用（登校）ができなかった時の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が就学前児童で 76.1%、小学生で 65.2%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」（就学前児童：44.0%、小学生：23.4%）となっている。

○また、小学生では「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 8.9%と 1 割近くを占め、就学前児童に比べて高くなっている。



《対処日数》

○就学前児童の年間対処日数については、[母親が仕事を休んだ] [働いていない父親か母親が子どもをみた] では「6日～10日」、それ以外では「3日～5日」がそれぞれ最も高くなっている。

○小学生の年間対処日数については、[働いていない父親か母親が子どもをみた] では「6日～10日」、[父親が仕事を休んだ] [自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった] [仕方なく子どもだけで留守番をさせた] では「1日～2日」、それ以外では「3日～5日」がそれぞれ最も高くなっている。

○就学前児童・小学生ともに、[病気のこどものための保育施設を利用した] では「3日～5日」が最も高くなっている。

(%)

		回答者数 (人)	1日 ～ 2日	3日 ～ 5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
就学前児童	父親が仕事を休んだ	389	30.6	38.3	20.1	6.4	0.3	0.5	3.9
	母親が仕事を休んだ	673	9.4	24.8	30.0	23.6	6.4	2.5	3.3
	自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	228	26.3	39.9	21.1	4.8	2.6	0.9	4.4
	働いていない父親か母親が子どもをみた	163	5.5	15.3	32.5	25.8	11.0	4.9	4.9
	病気のこどものための保育施設を利用した	8	25.0	37.5	25.0	12.5	—	—	8
	家事育児代行サービスを利用した	6	33.3	50.0	16.7	—	—	—	6
	ファミリー・サポート・センターを利用した	2	—	50.0	50.0	—	—	—	2
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5	60.0	—	—	—	—	—	40.0
	その他	34	5.9	38.2	23.5	8.8	2.9	—	20.6
小学生	父親が仕事を休んだ	269	47.2	33.1	8.6	1.5	0.4	—	9.3
	母親が仕事を休んだ	749	28.6	40.7	19.8	4.9	0.5	0.5	4.9
	自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	235	37.9	28.5	22.1	3.0	0.9	—	7.7
	働いていない父親か母親が子どもをみた	237	13.1	27.8	31.6	13.5	3.0	2.5	8.4
	病気のこどものための保育施設を利用した	3	33.3	66.7	—	—	—	—	3
	家事育児代行サービスを利用した	—	—	—	—	—	—	—	—
	ファミリー・サポート・センターを利用した	—	—	—	—	—	—	—	—
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	102	46.1	27.5	10.8	—	1.0	—	14.7
	その他	69	30.4	31.9	20.3	4.3	1.4	—	11.6

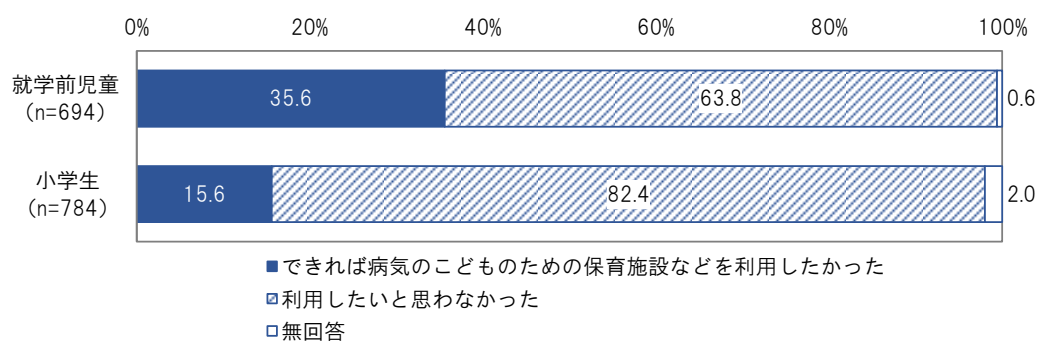
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 就労している保護者が休んで対処した場合の病児保育の利用希望・日数

【就学前／問 17-2 単数回答・数量回答、小学生／問 16-2 単数回答・数量回答】

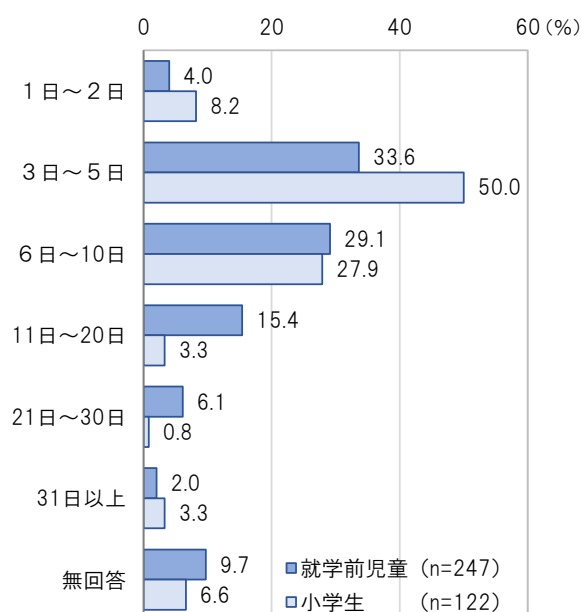
※(1-1)で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」と回答した人のみ

○就労している保護者が休んで対処した場合の病児保育の利用希望は、「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したかった」が就学前児童で 35.6%、小学生で 15.6%となっている。



《利用希望日数》

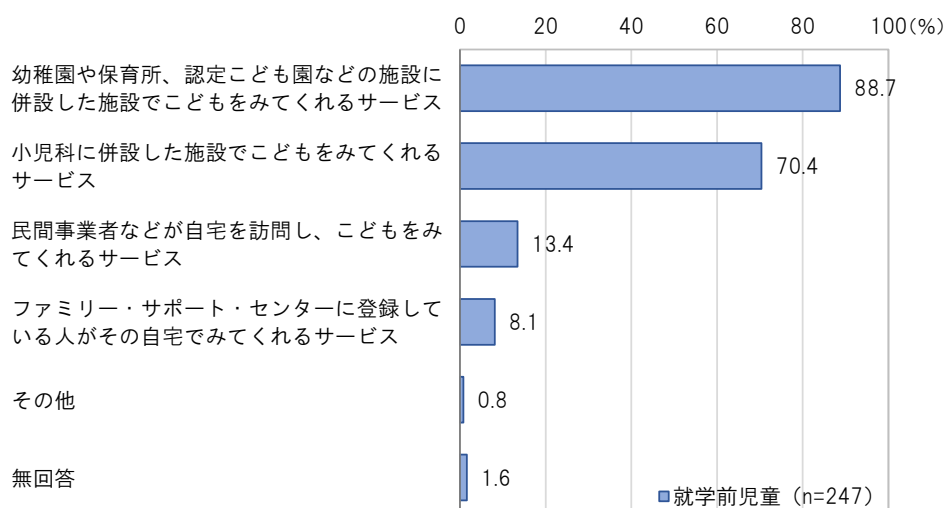
○できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい年間利用日数については、「3日～5日」が就学前児童で 33.6%、小学生で 50.0%と最も高くなっている。



（２－１）病児保育を利用する場合に望ましいサービス【就学前／問 17-3 複数回答】

※（２）で「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したかった」と回答した人のみ

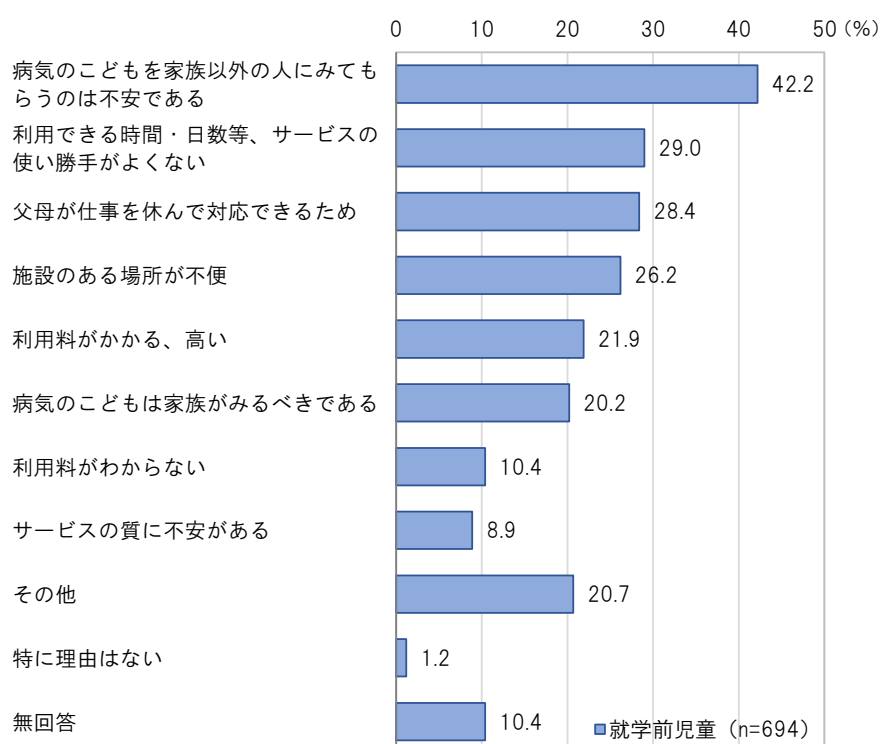
○病児保育を利用する場合に望ましいサービスは、「幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設した施設でこどもをみてるサービス」が88.7%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設でこどもをみてるサービス」が70.4%となっている。



（２－２）病児保育を利用しなかった理由【就学前／問 17-4 複数回答】

※（２）で「利用したいと思わなかった」と回答した人のみ

○病児保育を利用しなかった理由は、「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が42.2%と最も高く、次いで「利用できる時間・日数等、サービスの使い勝手がよくない」(29.0%)、「父母が仕事を休んで対応できるため」(28.4%)となっている。

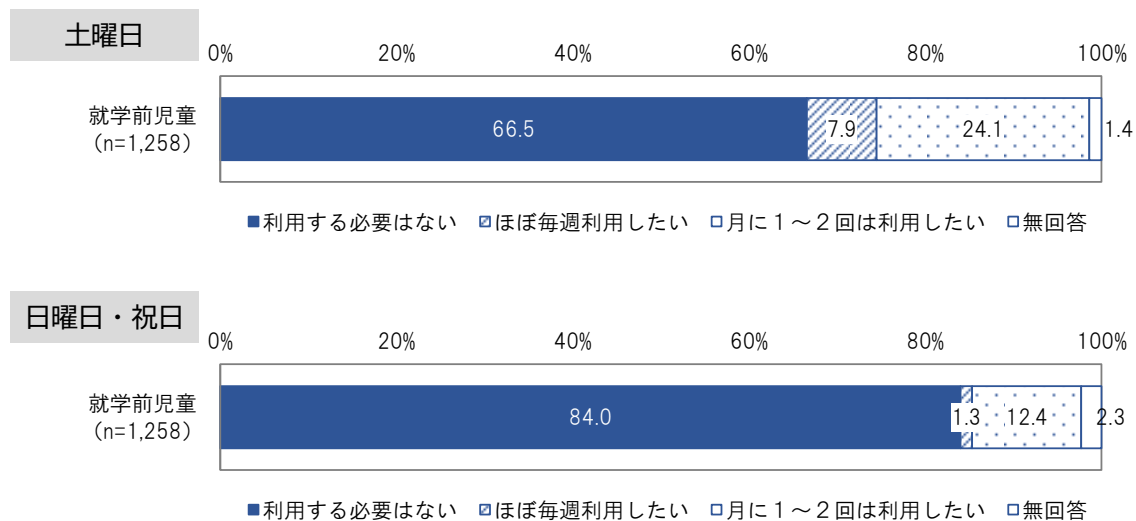


5. 土曜等や長期休暇中の幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用希望

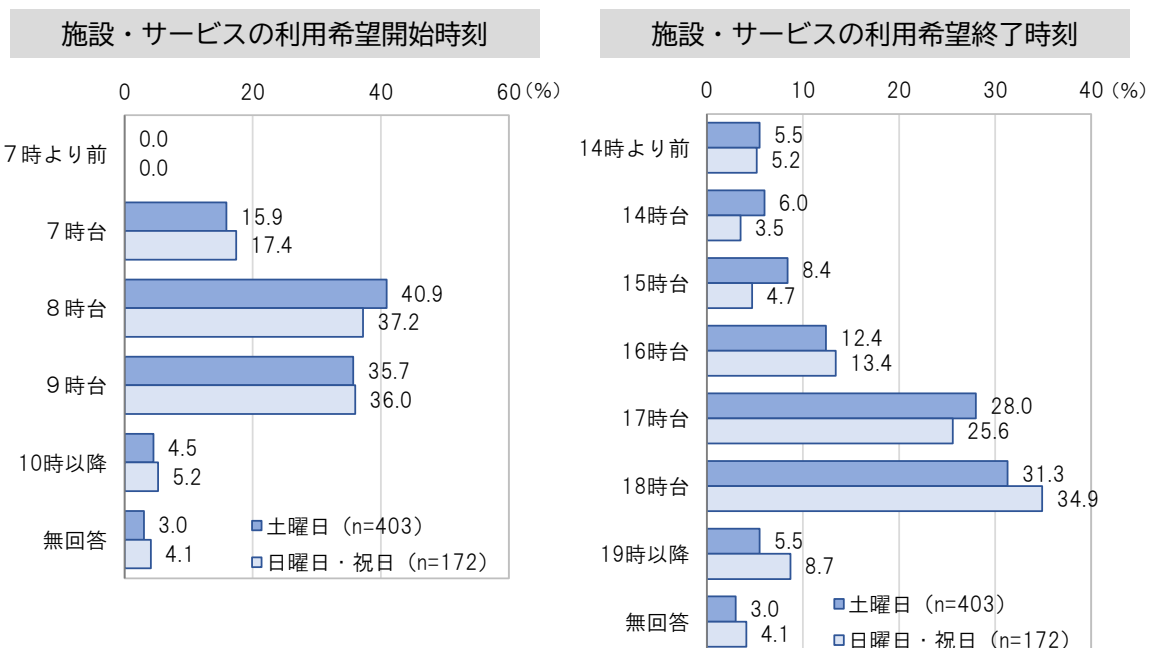
【就学前／問 19 単数回答・数量回答】

- 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 66.5%、84.0%と最も高くなっている。
- 「ほぼ毎週利用したい」と「月に 1～2 回は利用したい」を合わせた『利用したい』人の割合は、土曜日では 3 割以上、日曜日・祝日では 1 割程度となっている。



《施設・サービスの利用希望開始・終了時刻》

- 土曜日、日曜日・祝日ともに、利用希望開始時刻は「8 時台」、利用希望終了時刻は「18 時台」が最も高くなっている。
- 利用終了時刻では、「18 時台」「19 時以降」では、[土曜日] に比べて [日曜日・祝日] が高い割合となっており、遅い時刻までの利用を望む人が多くなっている。

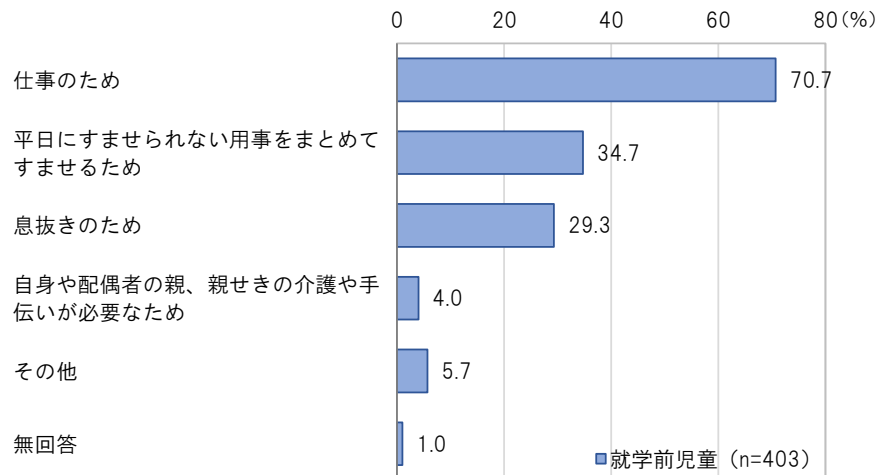


(1-2) 利用したい理由【就学前／問 19-1 複数回答】

※(1)で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人のみ

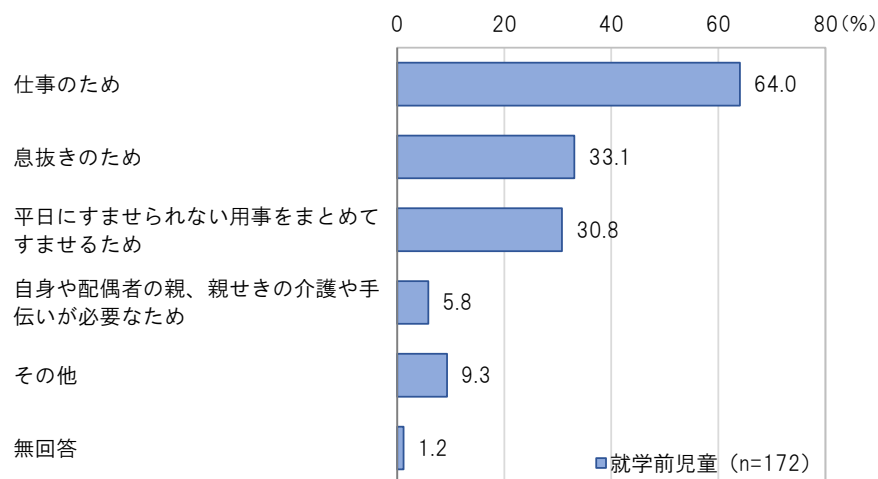
① 土曜日

○土曜日に利用したい理由は、「仕事のため」が70.7%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(34.7%)、「息抜きのため」(29.3%)となっている。



② 日曜日・祝日

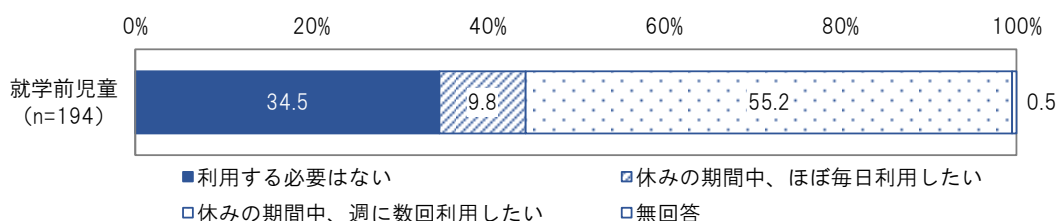
○日曜日・祝日に利用したい理由は、「仕事のため」が64.0%と最も高く、次いで「息抜きのため」(33.1%)、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(30.8%)となっている。



(2) 幼稚園の長期休暇中の施設・事業の利用希望【就学前／問 20 単数回答・数量回答】

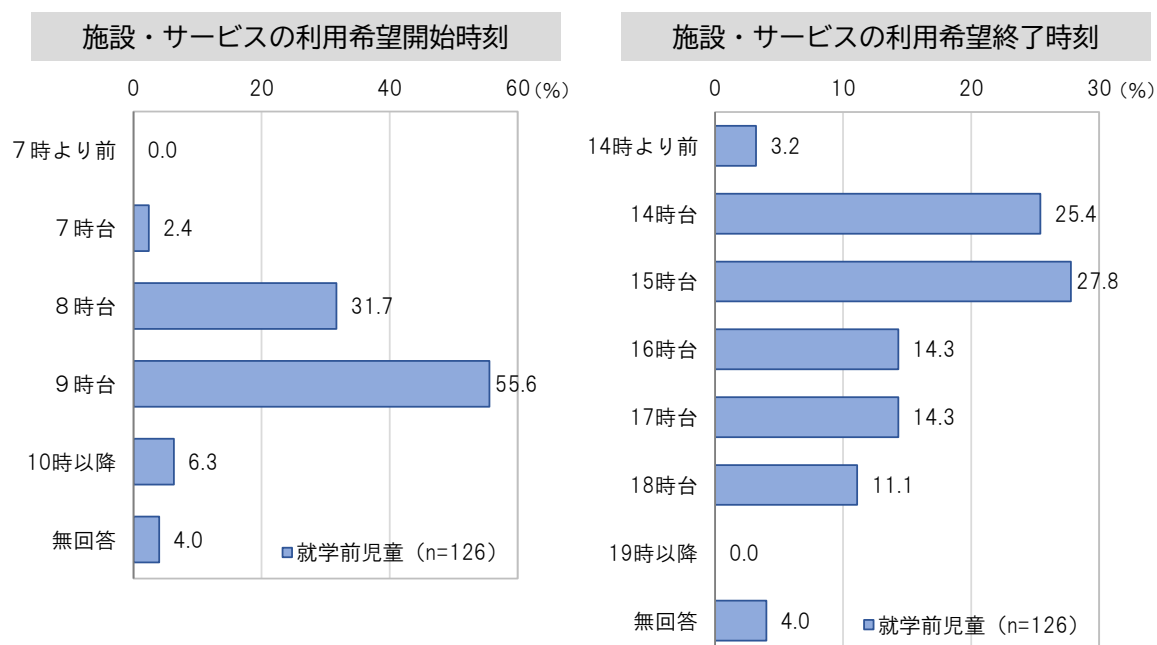
※2（1-2）で「幼稚園」または「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」を利用していると回答した人のみ

○幼稚園の利用を希望する人で長期休暇中の施設・事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数回利用したい」が55.2%と最も高くなっている。



《施設・サービスの利用希望開始・終了時刻》

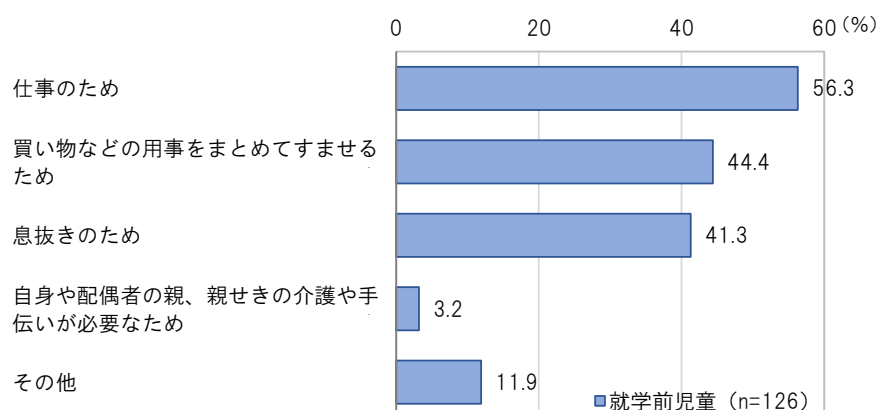
○利用希望開始時刻は「9 時台」、利用希望終了時刻は「15 時台」が最も高くなっている。



(2-1) 利用したい理由【就学前／問 20-1 複数回答】

※（2）で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数回利用したい」と回答した人のみ

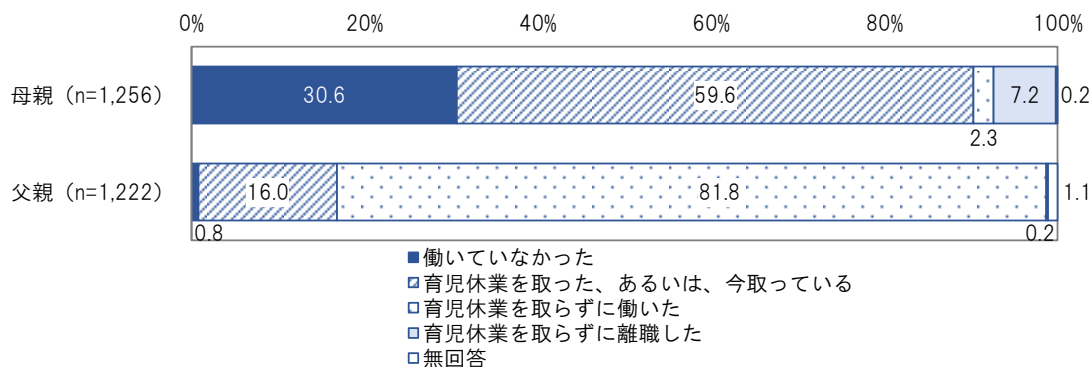
○長期休暇中に利用したい理由は、「仕事のため」が56.3%と最も高く、次いで「買い物などの用事をまとめてすませるため」(44.4%)、「息抜きのため」(41.3%)となっている。



6. 育児休業など、仕事と子育ての両立について

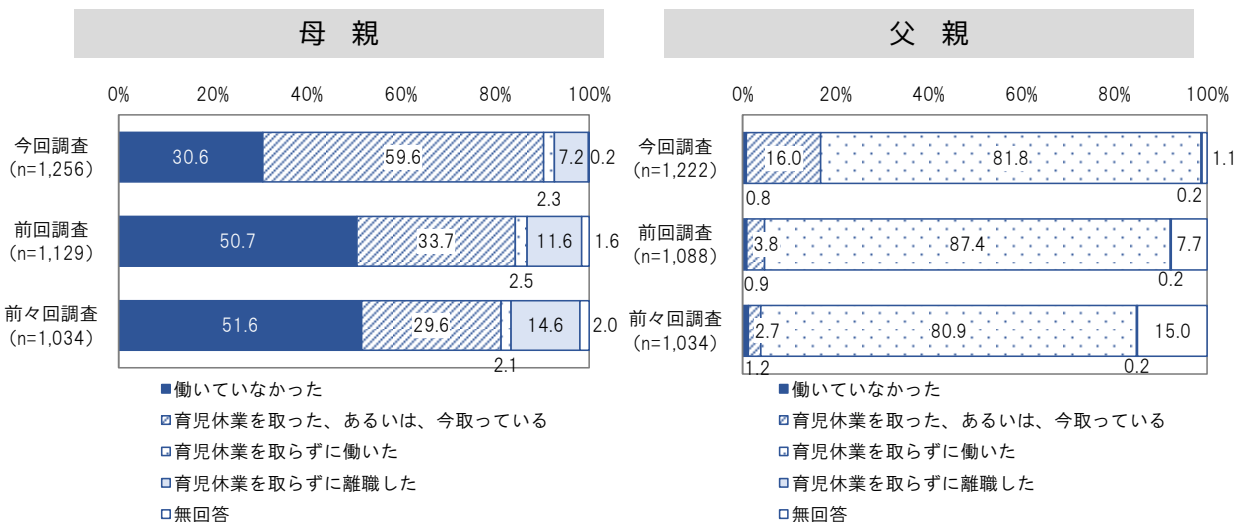
(1) 出生時の育児休業の取得状況【就学前／問 21 単数回答】

○こどもの出生時の父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況は、母親では「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が59.6%、父親では「育児休業を取らずに働いた」が81.8%と最も高くなっている。



《経年比較》

○経年比較をみると、母親では、前々回調査・前回調査と比べて「働いていなかった」や「育児休業を取らずに離職した」が年々減少し、父親では、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が前々回調査・前回調査と比べて年々増加しており、共働き家庭の増加や父親の育児休業の取得が進んでいることがわかる。

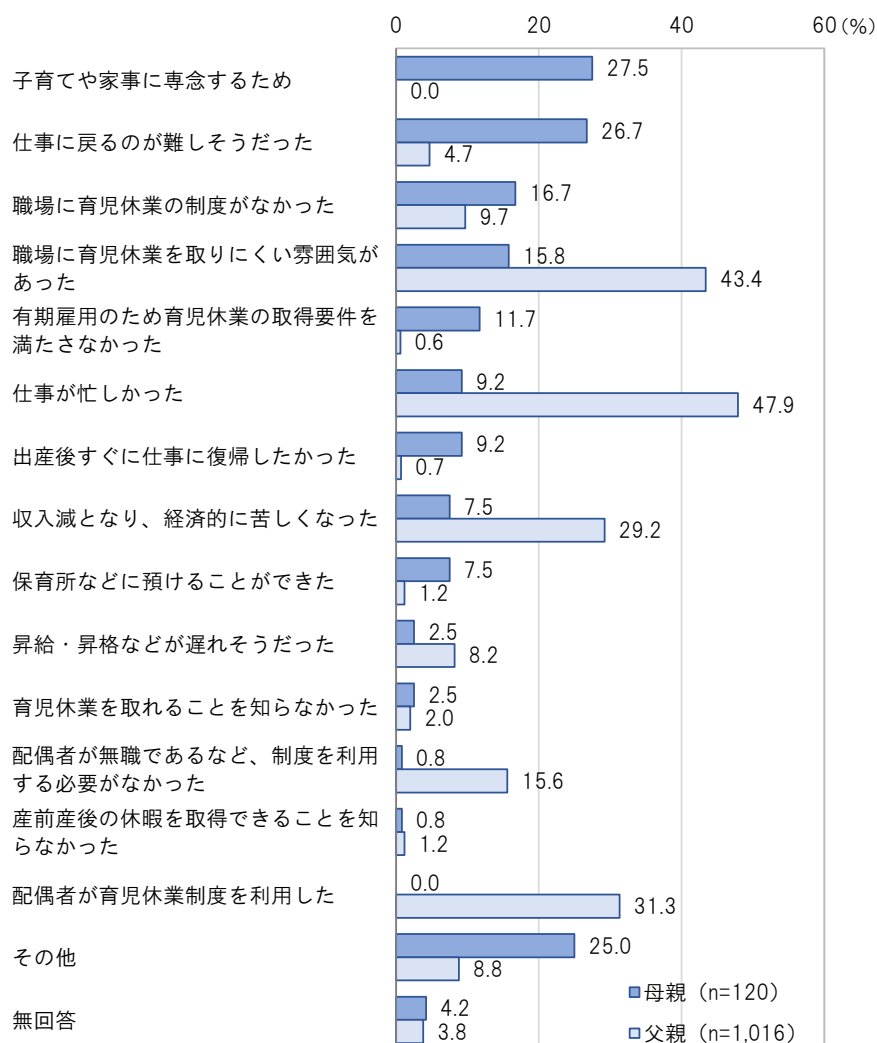


(1-1) 育児休業を取得しなかった理由【就学前／問 21-1 複数回答】

※(1)で「育児休業を取らずに働いた」「育児休業を取らずに離職した」と回答した人のみ

○育児休業を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するため」が27.5%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」(26.7%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(16.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(15.8%)となっている。

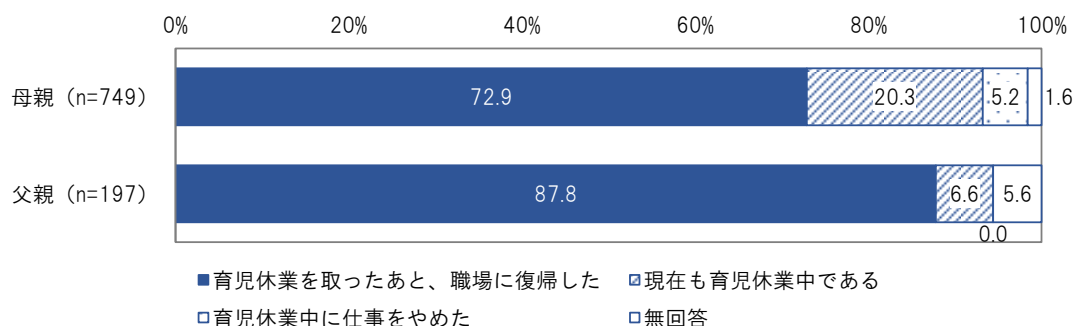
○父親では、「仕事が忙しかった」が47.9%と最も高く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(43.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなった」(29.2%)となっている。



（１－２）育児休業の取得後の職場復帰【就学前／問 21-2 単数回答】

※（１）で「育児休業を取った、あるいは、今取っている」と回答した人のみ

○育児休業の取得後の職場復帰は、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が母親で 72.9%、父親で 87.7%と高くなっている。



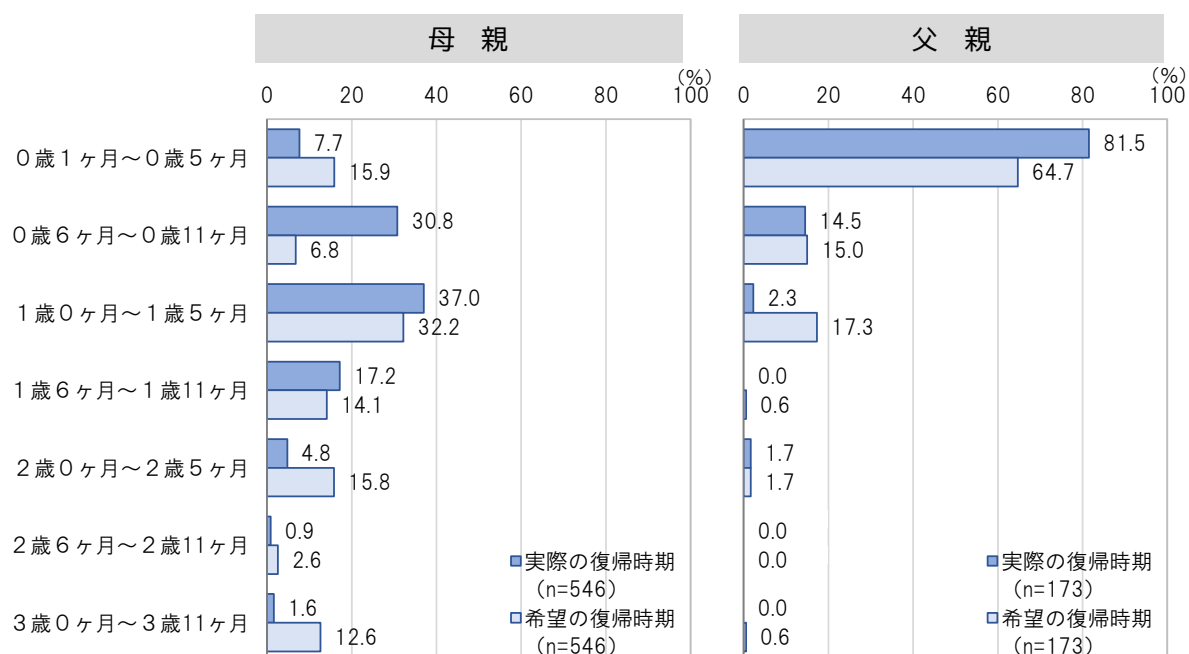
（１－３）育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間【就学前／問 21-3 数量回答】

※（１－２）で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」と回答した人のみ

○育児休業の取得期間は、母親では実際の取得期間、希望の取得期間ともに「１歳０ヶ月～１歳５ヶ月」が最も高く、それぞれ 37.0%、32.2%となっている。

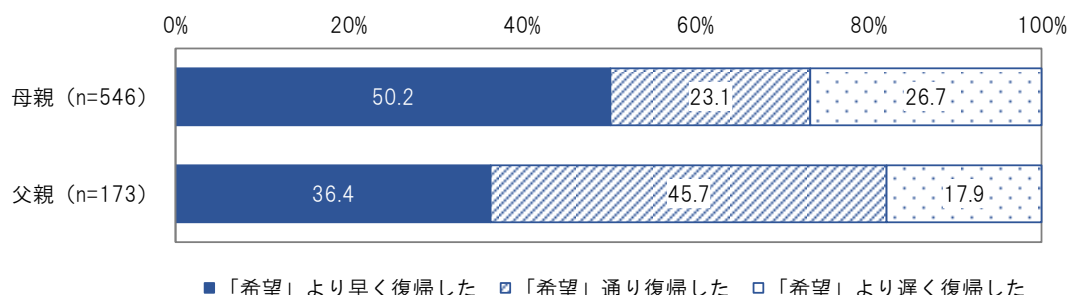
○一方で、父親では実際の取得期間、希望の取得期間ともに「０歳１ヶ月～０歳５ヶ月」が最も高く、それぞれ 81.5%、64.7%となっている。

○母親・父親ともに、希望の復帰時期に比べて実際の復帰時期が早い傾向がみられる。



《育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間の差》

○育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間の差をみると、母親では「希望」より早く復帰した」が50.2%、父親では「希望」通り復帰した」が45.7%と最も高くなっている。また、母親では「希望」通り復帰した」が父親に比べて低くなっている。



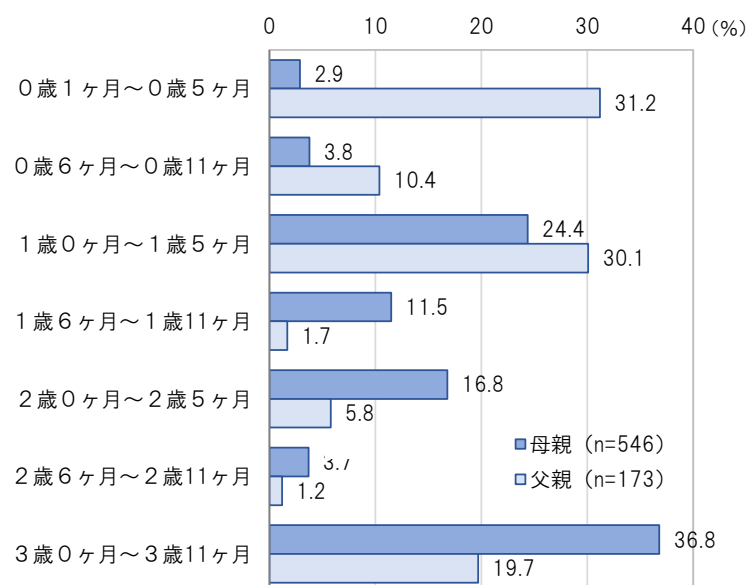
(1-4) 3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望【就学前／問 21-4 数量回答】

※(1-2)で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」と回答した人のみ

○3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望は、母親では「3歳0ヶ月～3歳11ヶ月」が36.8%と最も高く、次いで「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」(24.4%)となっている。

○一方で、父親では「0歳1ヶ月～0歳5ヶ月」が31.2%と最も高く、次いで「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」(30.1%)となっている。

○父親では、制度の有無に関わらず、「0歳1ヶ月～0歳5ヶ月」の期間での取得を望む人が多い結果となっており、母親に比べて取得希望期間が短くなっている。

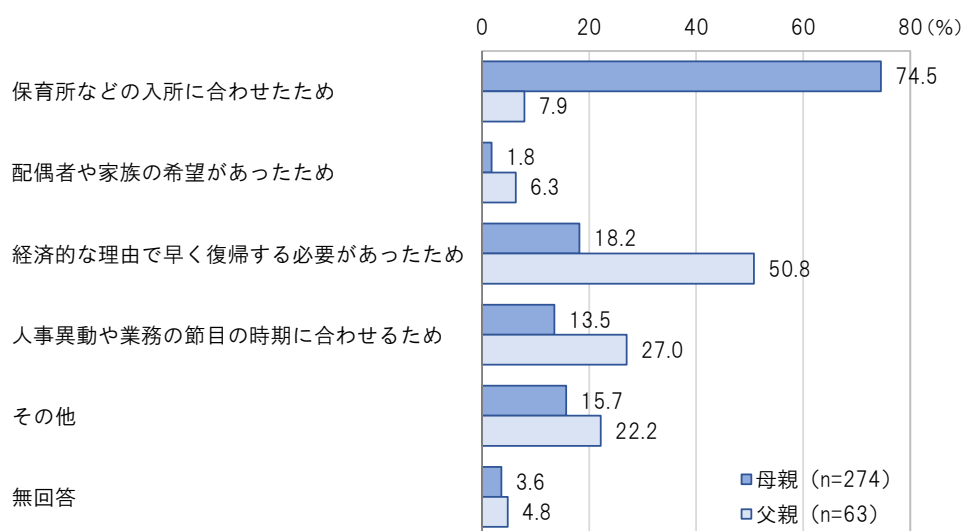


(1-5) 希望より早く育児休業から復帰した理由【就学前／問 21-5 (1) 複数回答】

※(1-3)で育児休業の実際の取得期間が希望の取得期間より短い人のみ

○希望より早く育児休業から復帰した理由は、母親では「保育所などの入所に合わせたため」が74.5%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(18.2%)となっている。

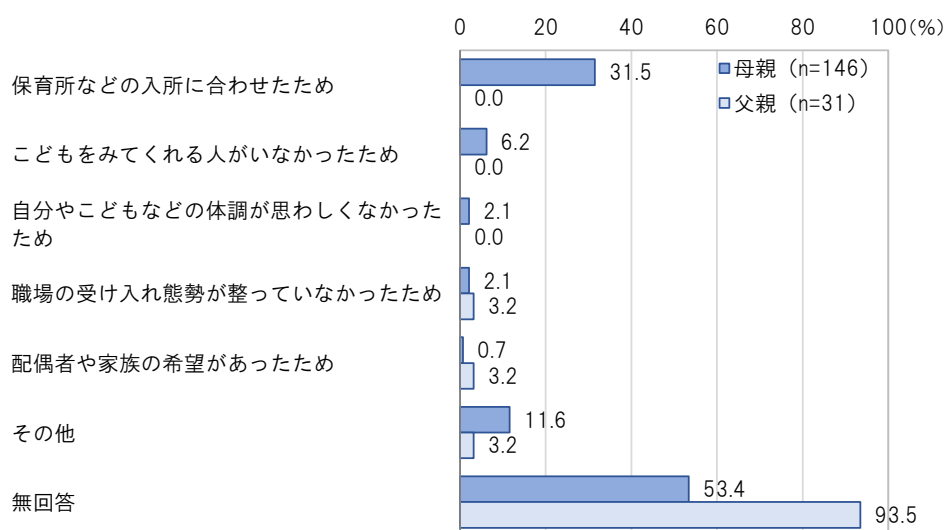
○一方、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が50.8%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(27.0%)となっている。



(1-6) 希望より遅く育児休業から復帰した理由【就学前／問 21-5 (2) 複数回答】

※(1-3)で育児休業の実際の取得期間が希望の取得期間より長い人のみ

○希望より遅く育児休業から復帰した理由は、母親では「保育所などの入所に合わせたため」が31.5%と高くなっている。

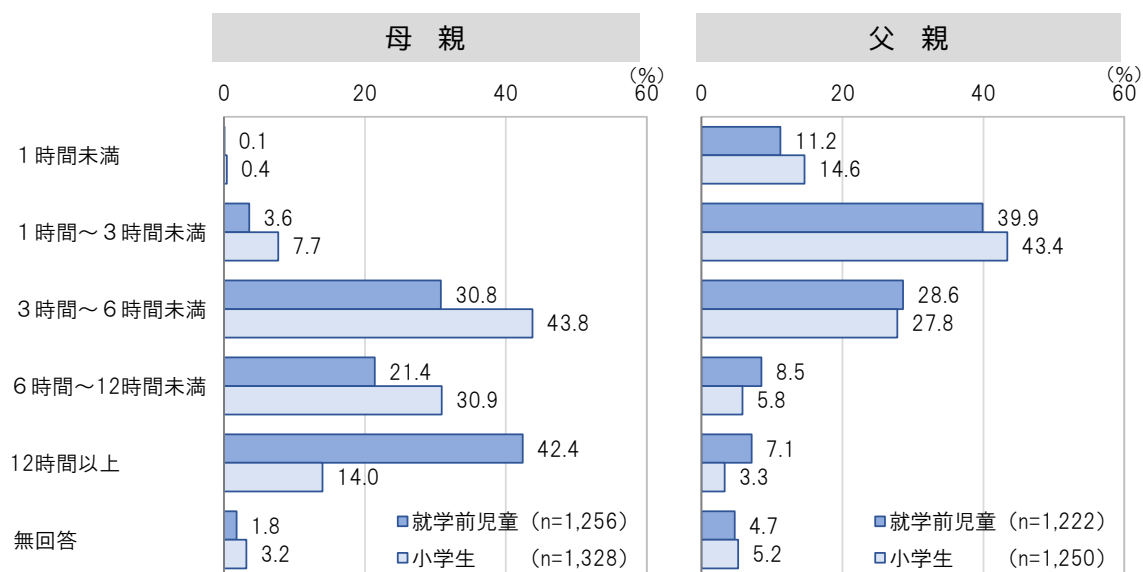


(2) こどもと一緒に過ごす時間【就学前／問 22 数量回答、小学生／問 19 数量回答】

① 平日

○平日にこどもと一緒に過ごす時間は、母親では、就学前児童は「12 時間以上」が 42.4%と最も高く、次いで「3 時間～6 時間未満」(30.8%)となっているのに対し、小学生は「3 時間～6 時間未満」が 43.8%と最も高く、次いで「6 時間～12 時間未満」(30.9%)となっている。

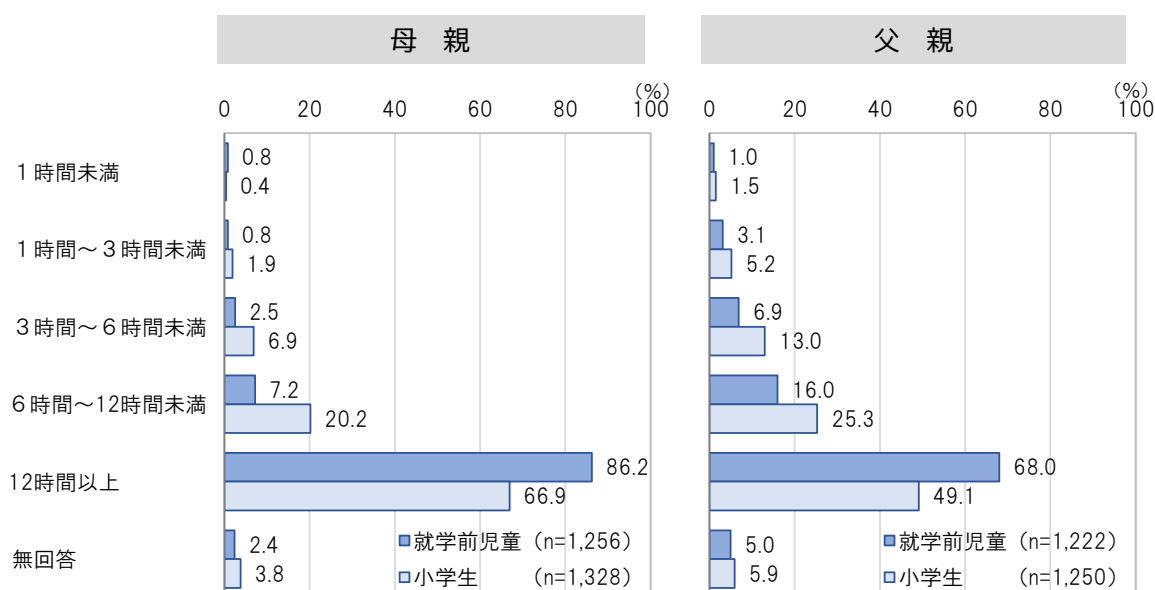
○父親では、「1 時間～3 時間未満」が就学前児童で 39.9%、小学生で 43.4%と最も高く、次いで「3 時間～6 時間未満」(就学前児童：28.6%、小学生：27.8%)となっている。



② 休日

○休日にこどもと一緒に過ごす時間は、母親では、「12 時間以上」が就学前児童で 86.2%、小学生で 66.9%と最も高く、次いで「6 時間～12 時間未満」(就学前児童：7.2%、小学生：20.2%)となっている。

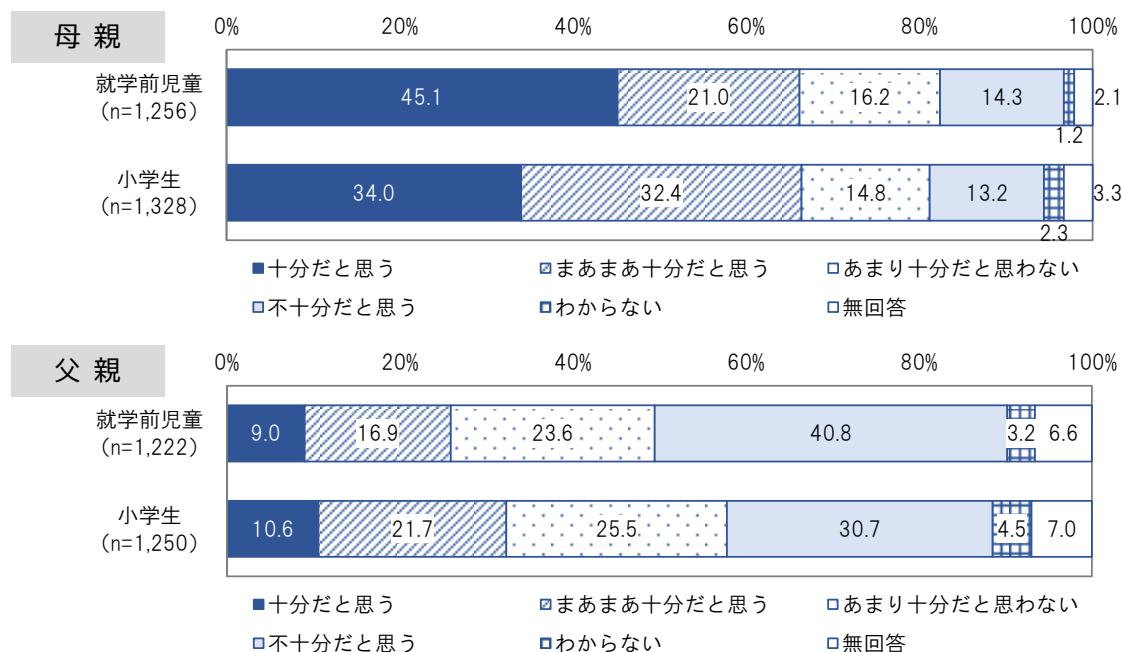
○父親では、「12 時間以上」が就学前児童で 68.0%、小学生で 49.1%と最も高く、次いで「6 時間～12 時間未満」(就学前児童：16.0%、小学生：25.3%)となっている。



(2-1) こどもと一緒に過ごす時間の充足度【就学前／問 22 単数回答、小学生／問 19 単数回答】

① 平日

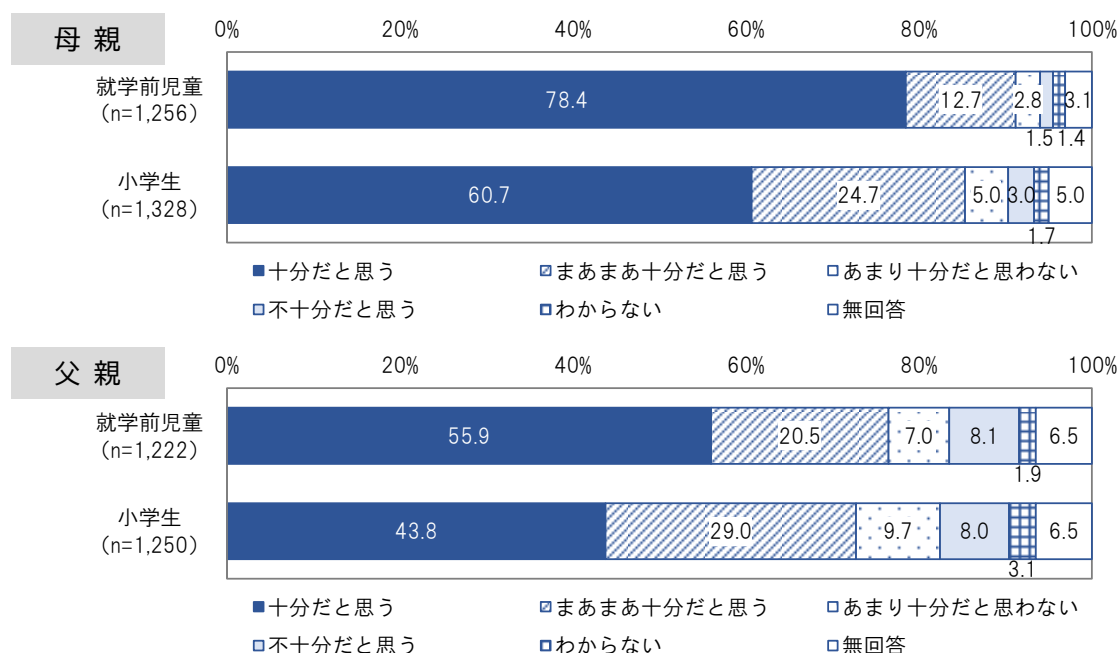
○平日のこどもと一緒に過ごす時間の充足度は、母親では「十分だと思う」が就学前児童で 45.1%、小学生で 34.0%と最も高く、「まあまあ十分だと思う」を合わせた『十分だと思う』がともに 6割を超えている。父親では「不十分だと思う」が就学前児童で 40.8%、小学校低学年で 30.7%と最も高く、「あまり十分だと思わない」と合わせた『十分だと思わない』が半数を超えている。



② 休日

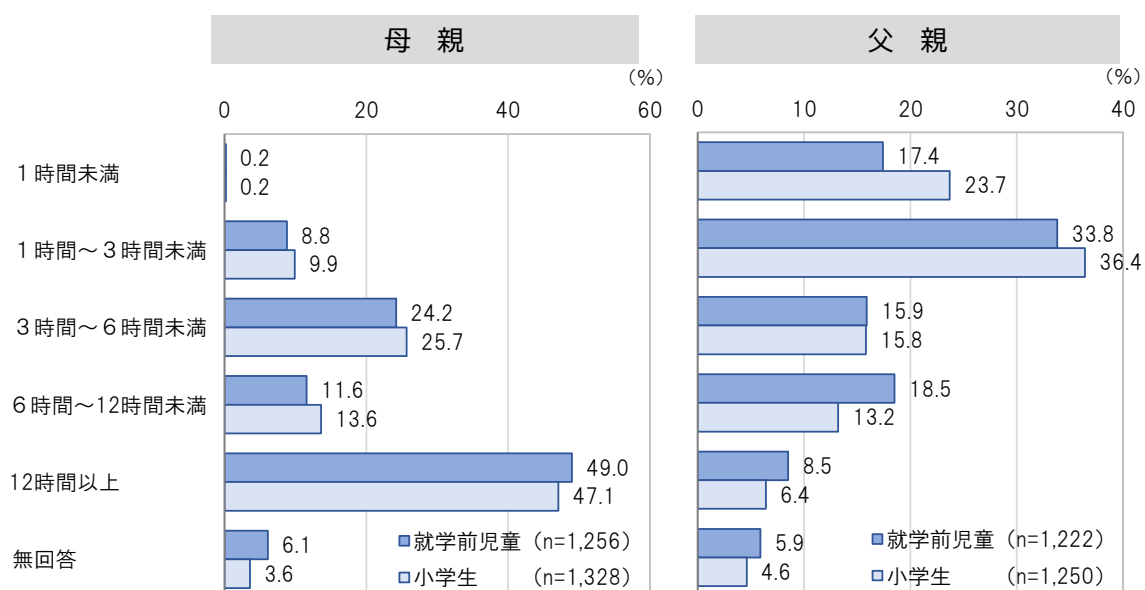
○休日のこどもと一緒に過ごす時間の充足度は、母親・父親ともに「十分だと思う」が就学前児童・小学生ともに最も高くなっている。

○また、父親の『十分だと思う』の割合をみると、平日では小学生に比べて就学前児童でやや低いのにに対し、休日では小学生に比べて就学前児童でやや高くなっている。



(3) 1日あたりの家事時間【就学前／問 23 数量回答、小学生／問 20 数量回答】

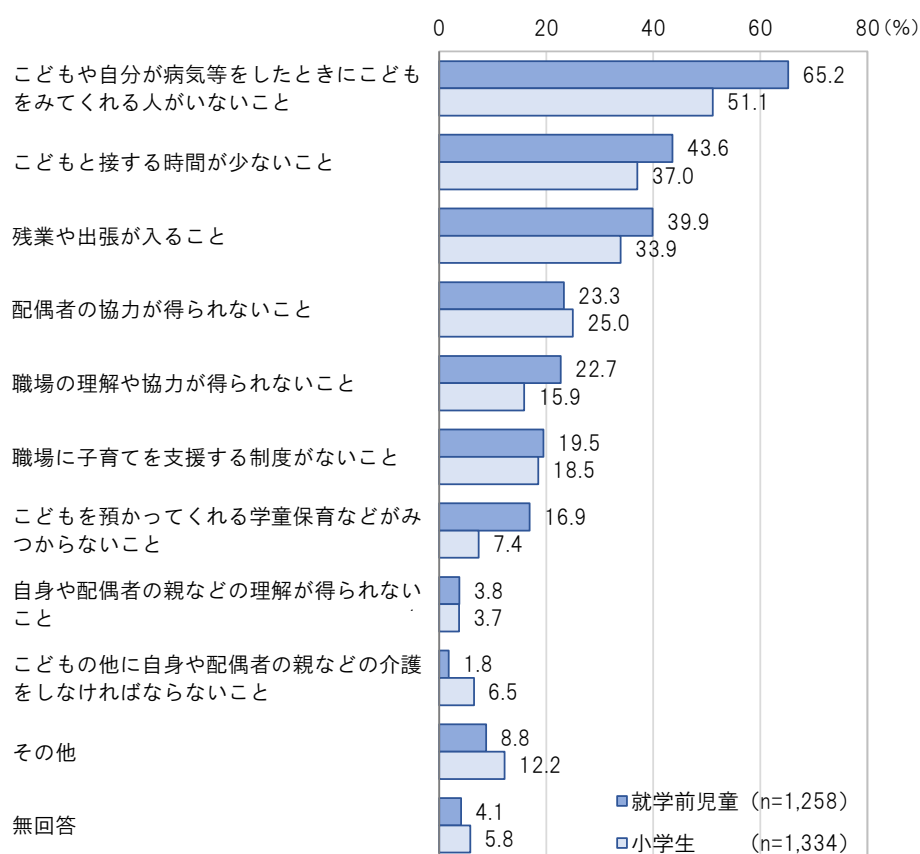
- 1日あたりの家事時間は、母親では、「12時間以上」が就学前児童で49.0%、小学生で47.1%と最も高く、次いで「3時間～6時間未満」(就学前児童:24.2%、小学生:25.7%)となっている。
- 父親では、「1時間～3時間未満」が就学前児童で33.8%、小学生で36.4%と最も高く、次いで就学前児童では「6時間～12時間未満」が18.5%、小学生では「1時間未満」が23.7%となっている。
- 母親では小学生に比べて就学前児童で「12時間以上」がやや高くなっているものの、大きな差異はみられない。一方で、父親では「1時間未満」や「1時間～3時間未満」で就学前児童に比べて小学生が高いのに対し、「6時間～12時間未満」や「12時間以上」では就学前児童に比べて小学生は低くなっており、就学前児童に比べて小学生で家事の時間が短くなっている。



(4) 仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うこと【就学前／問 24 複数回答、小学生／問 21 複数回答】

○仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは、「子どもや自分が病気等をしたときに子どもをみてくれる人がいないこと」が就学前児童で 65.2%、小学生で 51.1%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」(就学前児童：43.6%、小学生：37.0%)、「残業や出張が入ること」(就学前児童：39.9%、小学生：33.9%)となっている。

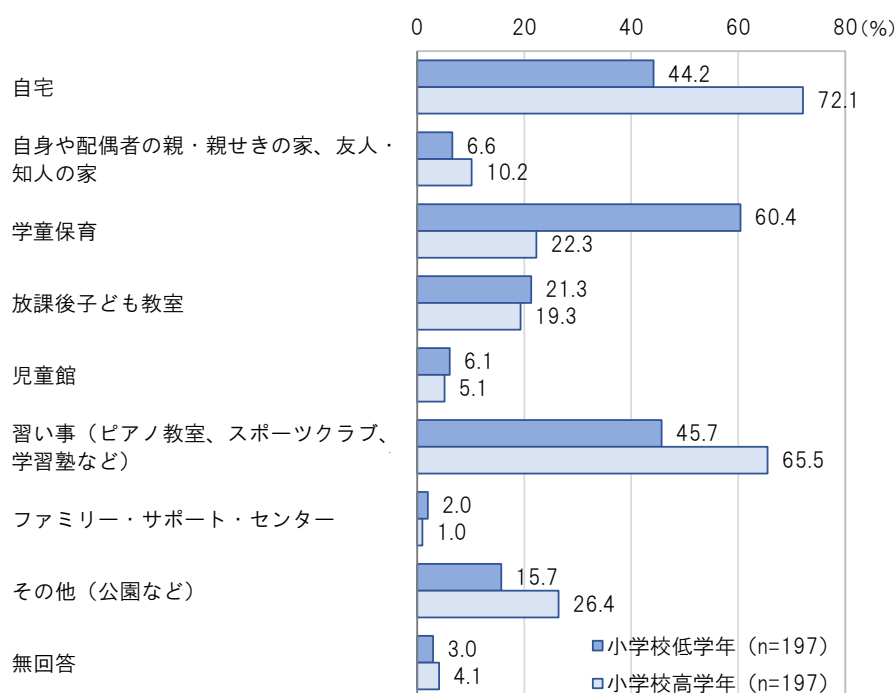
○また、就学前児童では「子どもや自分が病気等をしたときに子どもをみてくれる人がいないこと」や「子どもを預かってくれる学童保育などがみつからないこと」などの、子どもの預かり先のことでの課題が小学生に比べて 10 ポイント程度高くなっている。



7. 就学前児童（５歳以上）の就学後の放課後等の過ごし方や入学に関する ことについて

（１）就学後のこどもの放課後の過ごし方の希望【就学前／（５歳以上）／問 25・26 複数回答】

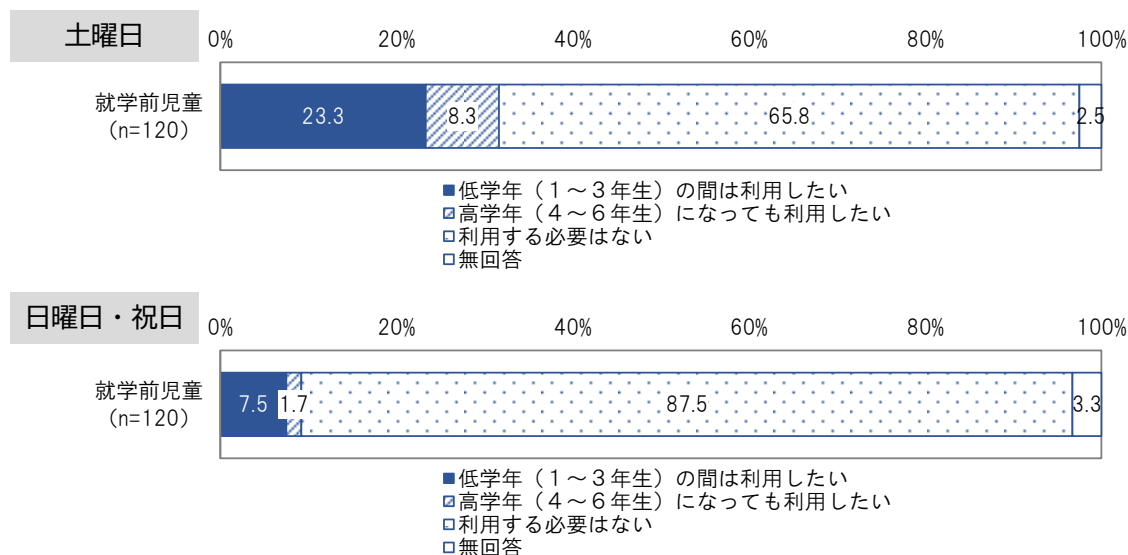
○就学後のこどもの放課後の過ごし方の希望は、低学年では「学童保育」が60.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（45.7%）、「自宅」（44.2%）となっている。高学年では、「自宅」が72.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（65.5%）、「その他（公園など）」（26.4%）となっている。



（２）土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望【就学前／問 27 単数回答】

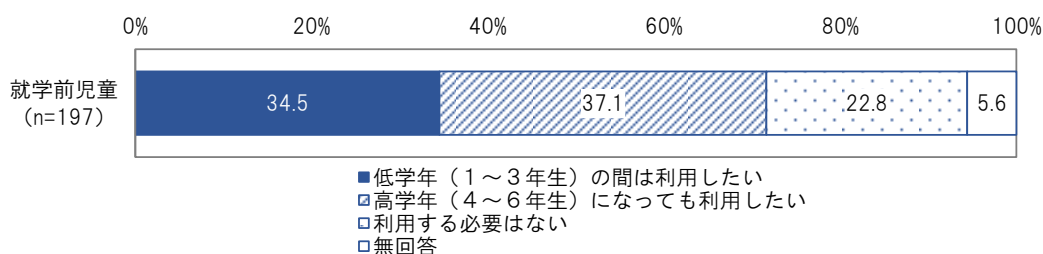
○土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ65.8%、87.5%と最も高くなっている。

○「低学年（１～３年生）の間は利用したい」と「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を合わせた『利用したい』は、土曜日では３割以上、日曜日・祝日では約１割となっている。



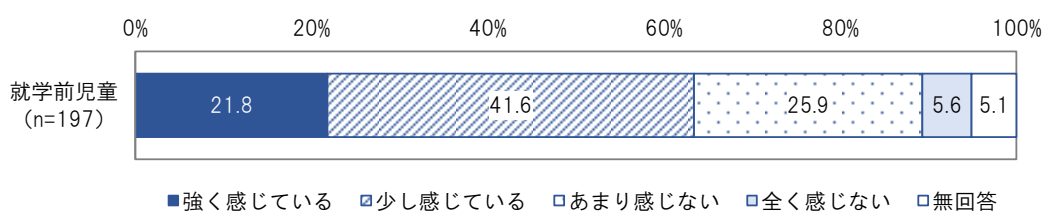
（３）長期休暇中の学童保育の利用希望【就学前／問 28 単数回答】

○長期休暇中の学童保育の利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 37.1%と最も高く、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」(34.5%) と合わせた『利用したい』は、7割以上を占めている。



（４）就学前から小学校入学にあたって不安なことの有無【就学前／問 29 単数回答】

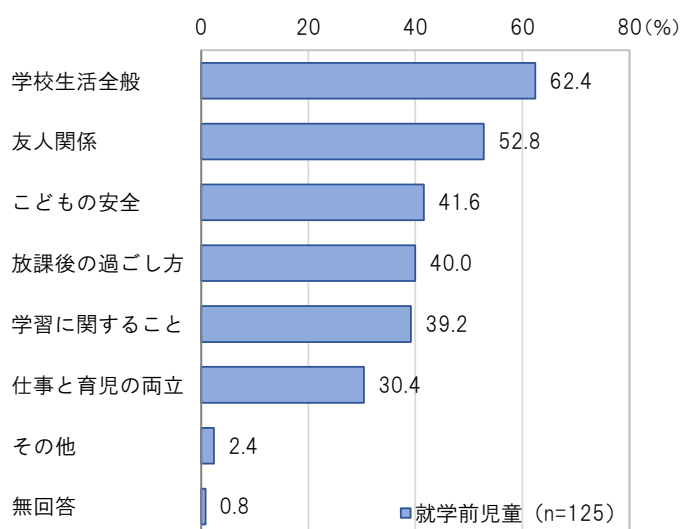
○就学前から小学校入学にあたって不安なことの有無は、「少し感じている」が 41.6%と最も高く、「強く感じている」(21.8%) と合わせた『感じている』は、6割以上を占めている。



（４-１）就学前から小学校入学にあたって不安なことの内容【就学前／問 29-1 複数回答】

※（１）で「強く感じている」「少し感じている」と回答した人のみ

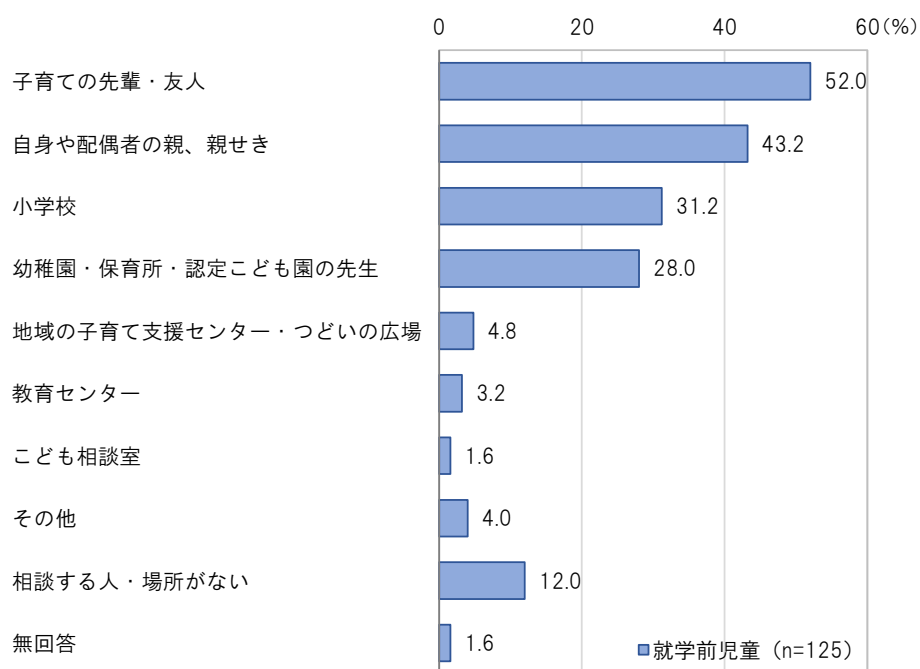
○就学前から小学校入学にあたって不安なことの内容は、「学校生活全般」が 62.4%と最も高く、次いで「友人関係」(52.8%)、「こどもの安全」(41.6%) となっている。



(4-2) 不安を感じて相談する人・場所【就学前／問 29-2 複数回答】

※(1)で「強く感じている」「少し感じている」と回答した人のみ

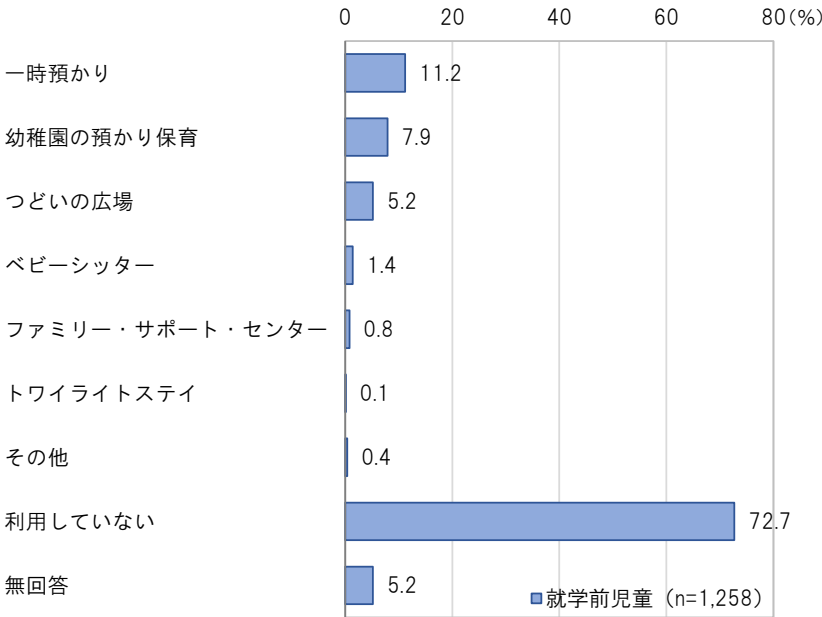
○不安を感じて相談する人・場所は、「子育ての先輩・友人」が 52.0%と最も高く、次いで「自身や配偶者の親、親せき」(43.2%)、「小学校」(31.2%)、「幼稚園・保育所・認定こども園の先生」(28.0%)となっている。



8. こどもを預かるサービスの不規則な利用について

(1) こどもを預かるサービスの不規則な利用状況【就学前／問 30 複数回答・数量回答】

- こどもを預かるサービスの不規則な利用については、「利用していない」は 72.7%と最も高くなっている。
- 利用している人では、「一時預かり」が 11.2%と高く、次いで「幼稚園の預かり保育」(7.9%)、「つどいの広場」(5.2%)となっている。



《年間利用日数》

- 年間利用日数については、[一時預かり][幼稚園の預かり保育][ベビーシッター]では「1日～2日」、[つどいの広場]では「3日～5日」、[ファミリー・サポート・センター]では「31日以上」がそれぞれ最も高くなっている。

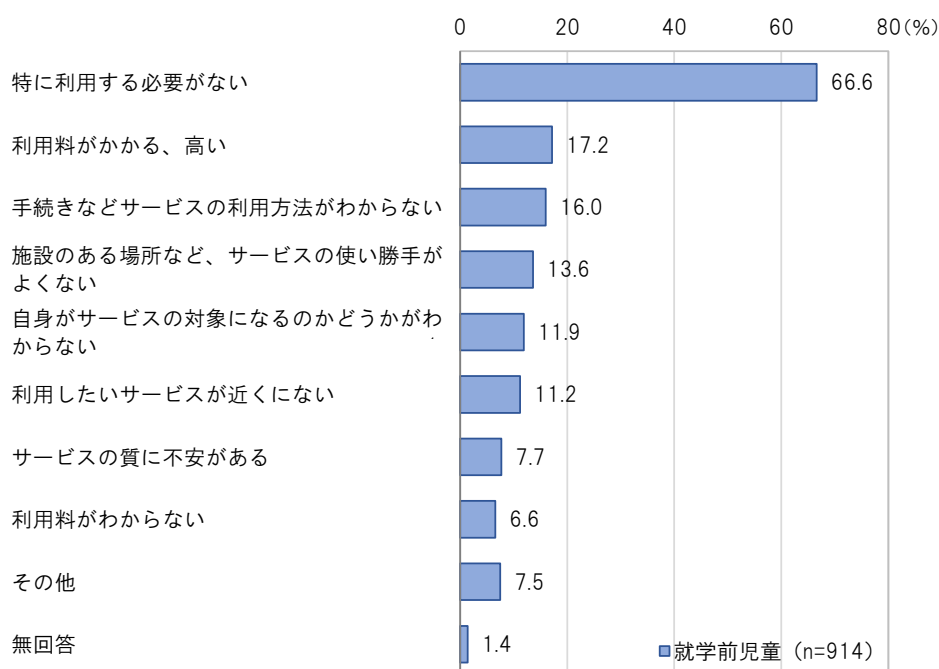
			(%)						
		回答者数 (人)	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～20日	21日～30日	31日以上	無回答
就学前児童	一時預かり	141	34.0	29.1	19.1	7.8	2.1	5.7	2.1
	幼稚園の預かり保育	99	22.2	18.2	16.2	12.1	10.1	15.2	6.1
	つどいの広場	66	16.7	30.3	10.6	13.6	1.5	24.2	3.0
	ベビーシッター	18	38.9	16.7	22.2	11.1	—	5.6	5.6
	ファミリー・サポート・センター	10	20.0	20.0	10.0	—	10.0	30.0	10.0
	トワイライトステイ	1	—	—	—	—	—	—	100.0
	その他	5	20.0	—	—	—	—	20.0	60.0

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(1-1) こどもを預かるサービスの不規則な利用をしていない理由【就学前／問 30-1 複数回答】

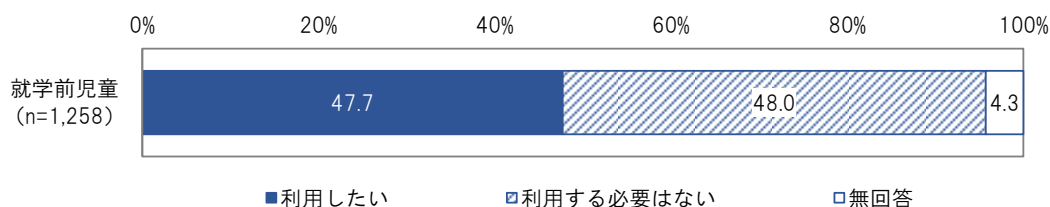
※(1)で「利用していない」と回答した人のみ

○こどもを預かるサービスの不規則な利用をしていない理由は、「特に利用する必要がない」が66.6%と最も高く、次いで「利用料がかかる、高い」(17.2%)、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」(16.0%)、「施設のある場所など、サービスの使い勝手がよくない」(13.6%)となっている。



(2) 保育所やこども支援センターの一時預かりの利用意向【就学前／問 31 単数回答】

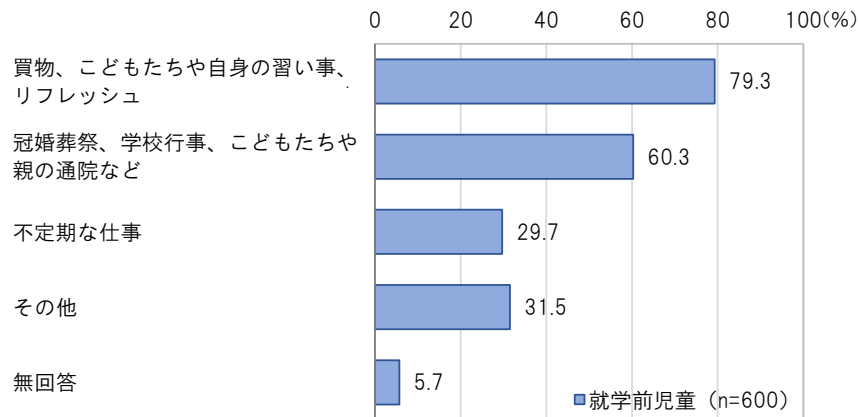
○保育所やこども支援センターの一時預かりの利用意向は、「利用したい」が47.7%、「利用する必要はない」が48.0%となっている。



(2-1) 一時預かりの利用目的【就学前／問 31 複数回答・数量回答】

※(2)で「利用したい」と回答した人のみ

○一時預かりの利用目的は、「買物、こどもたちや自身の習い事、リフレッシュ」が79.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、こどもたちや親の通院など」(60.3%)、「不規則な仕事」(29.7%)となっている。



《年間希望利用日数》

○年間希望利用日数については、一時預かり（合計日数）では「11日～20日」が最も高くなっている。

○目的別にみると、[買物、こどもたちや自身の習い事、リフレッシュ] [冠婚葬祭、学校行事、こどもたちや親の通院など] [不規則な仕事] では「3日～5日」が最も高くなっている。

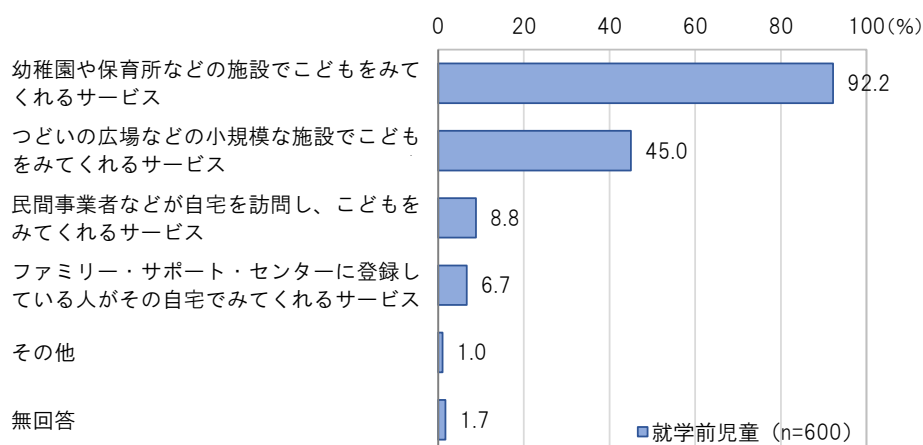
		(%)							
		回答者数 (人)	1日 ～ 2日	3日 ～ 5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
就学前児童	一時預かり（合計日数）	600	4.2	13.7	15.5	23.8	8.2	10.3	24.3
	買物、こどもたちや自身の習い事、リフレッシュ	476	8.2	31.5	17.9	21.6	7.1	6.9	6.7
	冠婚葬祭、学校行事、こどもたちや親の通院など	362	13.3	36.5	15.2	13.0	3.9	2.5	15.7
	不規則な仕事	178	9.0	24.2	14.6	10.1	5.6	3.9	32.6
	その他	189	3.2	7.4	20.6	28.6	18.5	21.2	0.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2-2) 一時預かりとして望ましいサービス形態【就学前／問 31-1 複数回答】

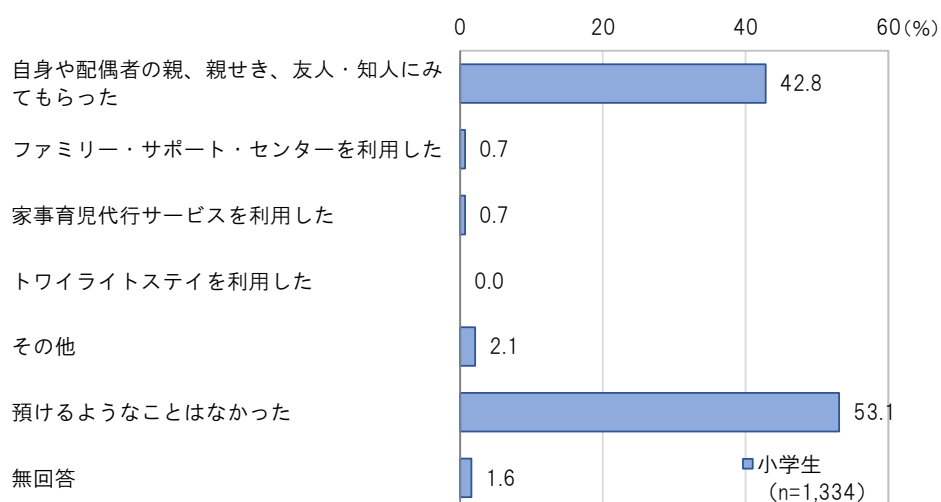
※(2)で「利用したい」と回答した人のみ

○一時預かりとして望ましいサービス形態は、「幼稚園や保育所などの施設でこどもをみてるサービス」が92.2%と最も高く、次いで「つどいの広場などの小規模な施設でこどもをみてるサービス」(45.0%)となっている。



(3) 家族以外の誰かにこどもを一時的に預けたことの有無【小学生／問 17 複数回答】

○家族以外の誰かにこどもを一時的に預けたことの有無は、「預けるようなことはなかった」が53.1%と半数を超えて高くなっている。預けたことがある人では、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が42.8%と高く、「ファミリー・サポート・センターを利用した」や「家事育児代行サービスを利用した」はわずか0.7%となっている。

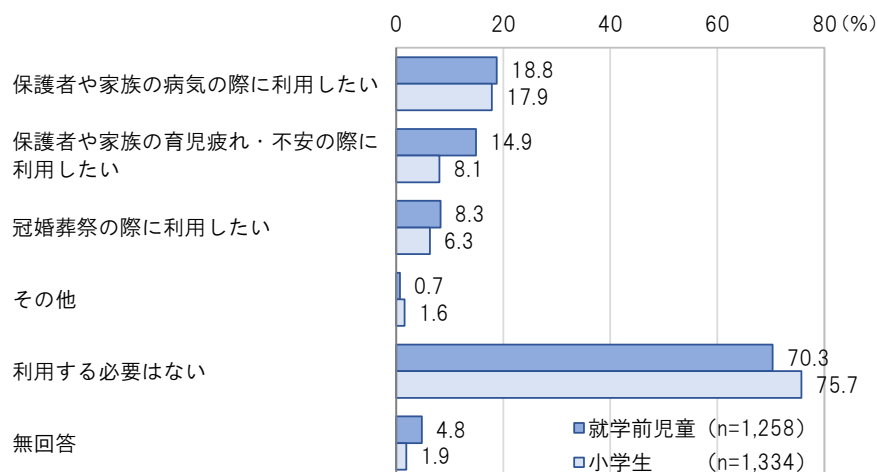


(4) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

【就学前／問 32 複数回答・数量回答、小学生／問 18 複数回答・数量回答】

○短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望は、「利用する必要はない」が就学前児童で 70.3%、小学生で 75.7%と最も高くなっている。

○利用希望のある人では、「保護者や家族の病気の際に利用したい」就学前児童で 18.8%、小学生で 17.9%と高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安の際に利用したい」（就学前児童：14.9%、小学生：8.1%）となっている。



《年間希望利用日数》

○目的別にみると、就学前児童の「保護者や家族の病気の際に利用したい」では「3泊～5泊」が最も高く、その他の目的では「1泊～2泊」が最も高くなっている。

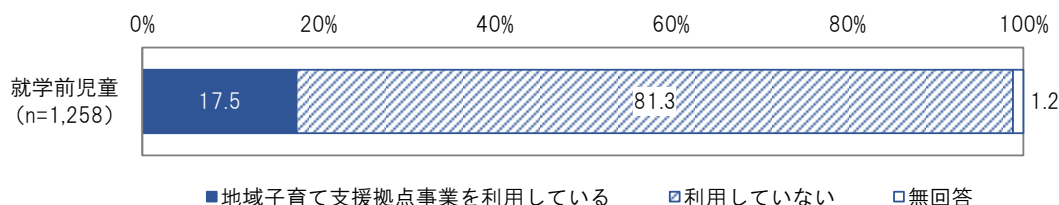
			(%)						
		回答者数 (人)	1泊 ～ 2泊	3泊 ～ 5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 20泊	21泊 ～ 30泊	31泊 以上	無回答
就学前児童	保護者や家族の病気の際に利用したい	237	34.6	38.4	13.1	3.0	1.3	1.3	8.4
	保護者や家族の育児疲れ・不安の際に利用したい	188	38.3	27.1	13.8	11.7	2.1	1.6	5.3
	冠婚葬祭の際に利用したい	105	57.1	26.7	4.8	1.0	－	－	10.5
	その他	9	22.2	11.1	11.1	11.1	－	11.1	33.3
小学生	保護者や家族の病気の際に利用したい	239	36.4	34.7	15.9	3.3	0.8	0.4	8.4
	保護者や家族の育児疲れ・不安の際に利用したい	108	38.0	31.5	16.7	4.6	3.7	－	5.6
	冠婚葬祭の際に利用したい	84	71.4	19.0	4.8	1.2	－	－	3.6
	その他	21	28.6	23.8	14.3	－	－	－	33.3

※1 番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

9. 地域の子育て支援サービスの利用状況について

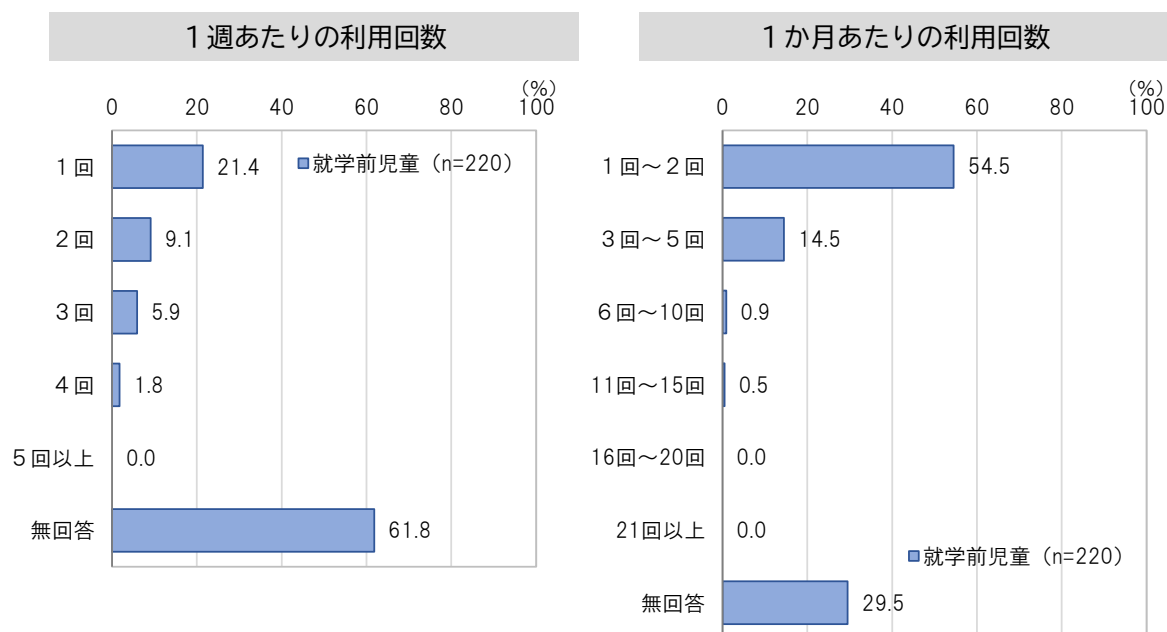
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況【就学前／問 33 単数回答】

○地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が81.3%と大半を占め、「地域子育て支援拠点事業を利用している」は17.5%となっている。



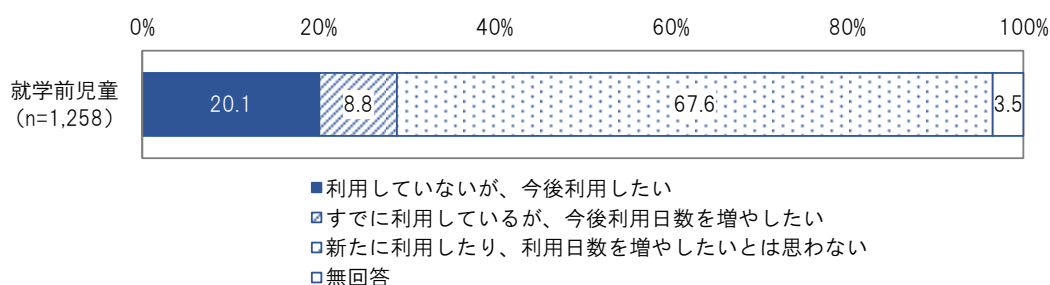
《1週あたりの利用回数・1か月あたりの利用回数》

○1週あたりの利用回数は、「1回」が21.4%と高く、1か月あたりの利用回数では「1回～2回」が54.5%と最も高くなっている。



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向【就学前／問 34 単数回答】

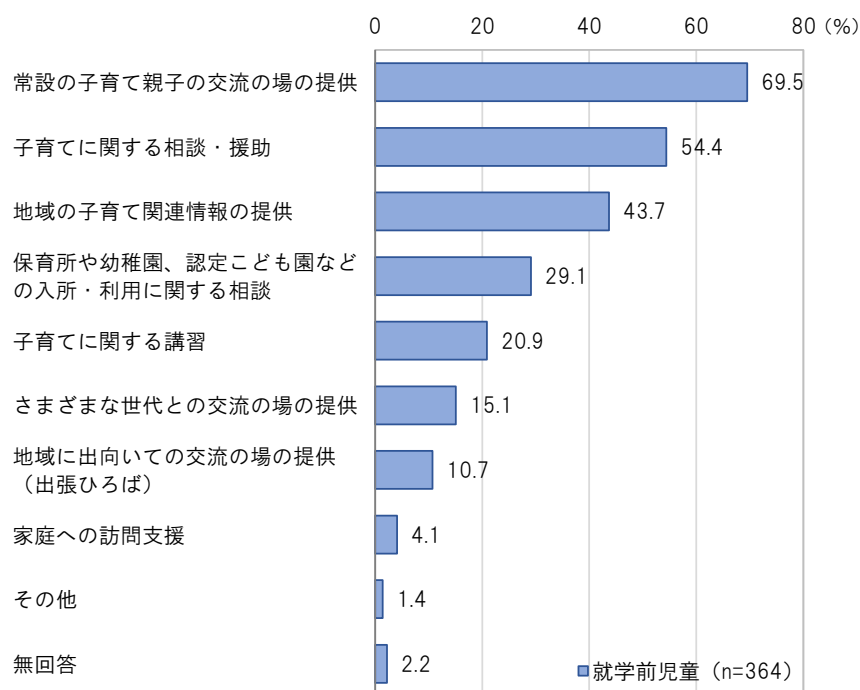
○地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が67.6%と大半を占め、「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせた『利用したい』が3割近くとなっている。



（２－１）地域子育て支援拠点事業の利用にあたって利用したいサービス【就学前／問 34-1 複数回答】

※（２）で「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人のみ

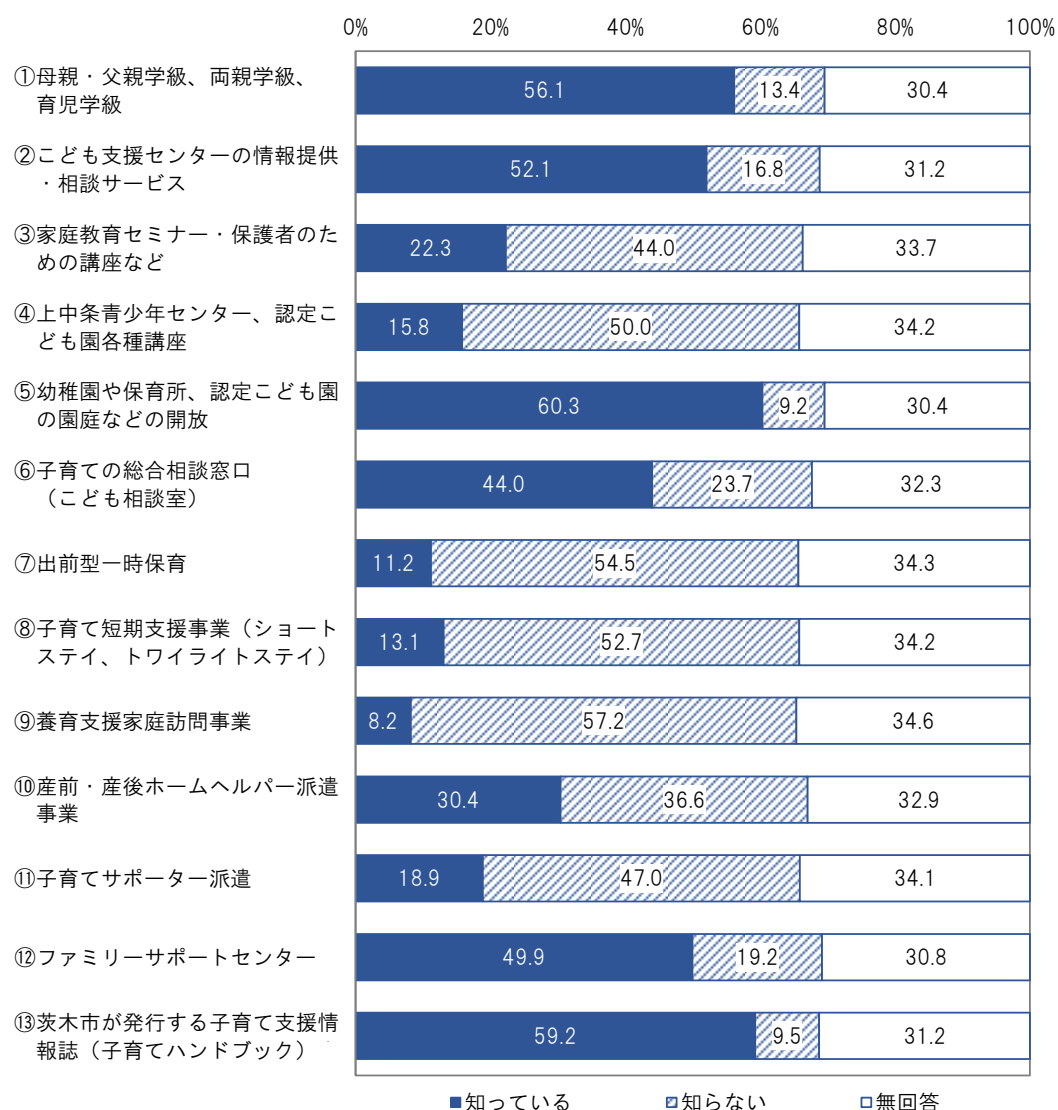
○地域子育て支援拠点事業の利用にあたって利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流の場の提供」が 69.5%と最も高く、次いで「子育てに関する相談・援助」（54.4%）、「地域の子育て関連情報の提供」（43.7%）となっている。



(3) 子育て支援サービスの認知度【就学前／問35(1) 単数回答】

○子育て支援サービスの認知度は、「知っている」の割合をみると、“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”で60.3%と最も高く、次いで“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌(子育てハンドブック)”(59.2%)、“①母親・父親学級、両親学級、育児学級”(56.1%)、“②こども支援センターの情報提供・相談サービス”(52.1%)となっている。

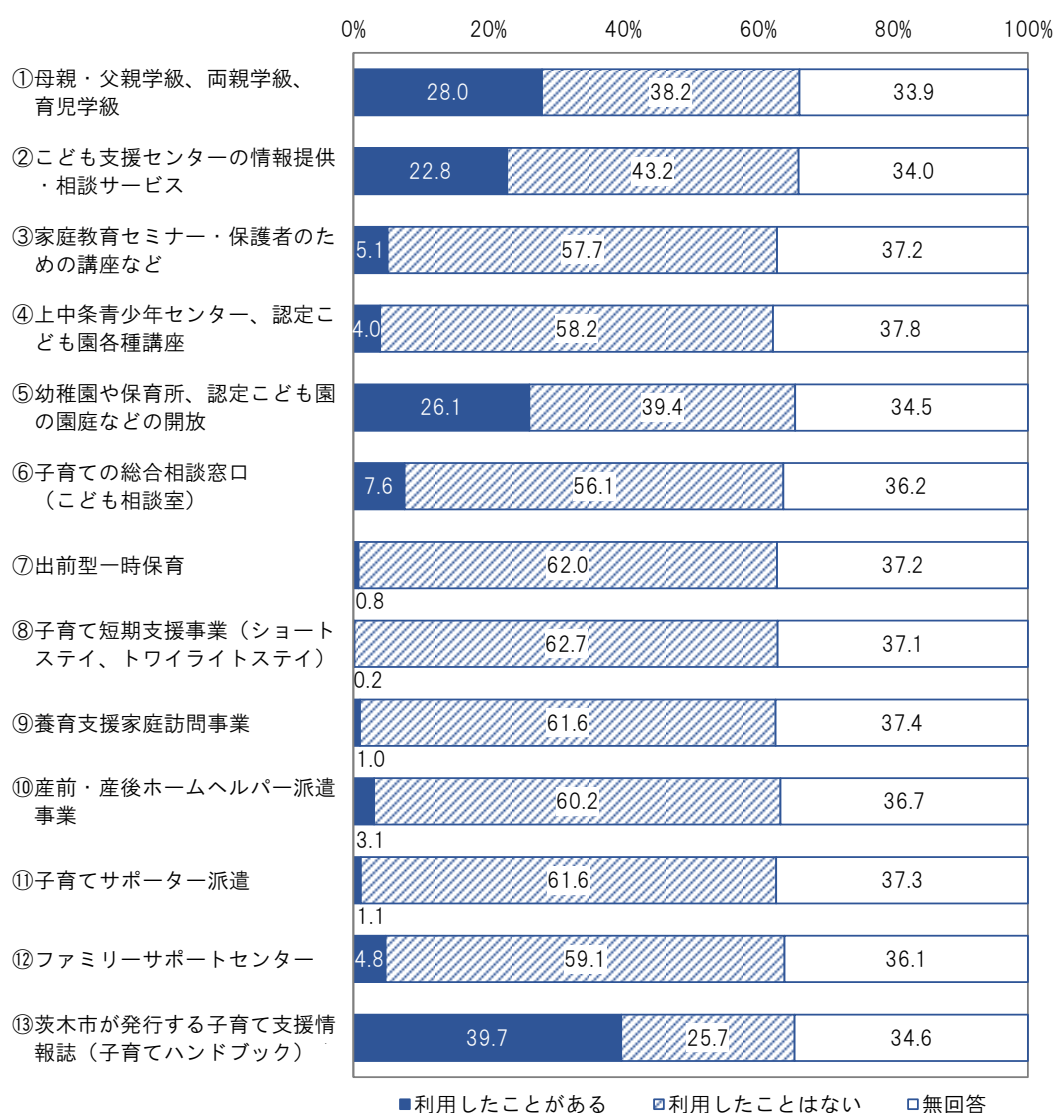
○“⑦出前型一時保育”、“⑧子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ)”、“⑨養育支援家庭訪問事業”では、「知っている」が1割程度と低くなっている。



(4) 子育て支援サービスの利用状況【就学前／問 35（2） 単数回答】

○子育て支援サービスの利用状況は、「利用したことがある」の割合をみると、“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”で39.7%と最も高く、次いで“①母親・父親学級、両親学級、育児学級”（28.0%）、“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”（26.1%）、“②こども支援センターの情報提供・相談サービス”（22.8%）となっている。

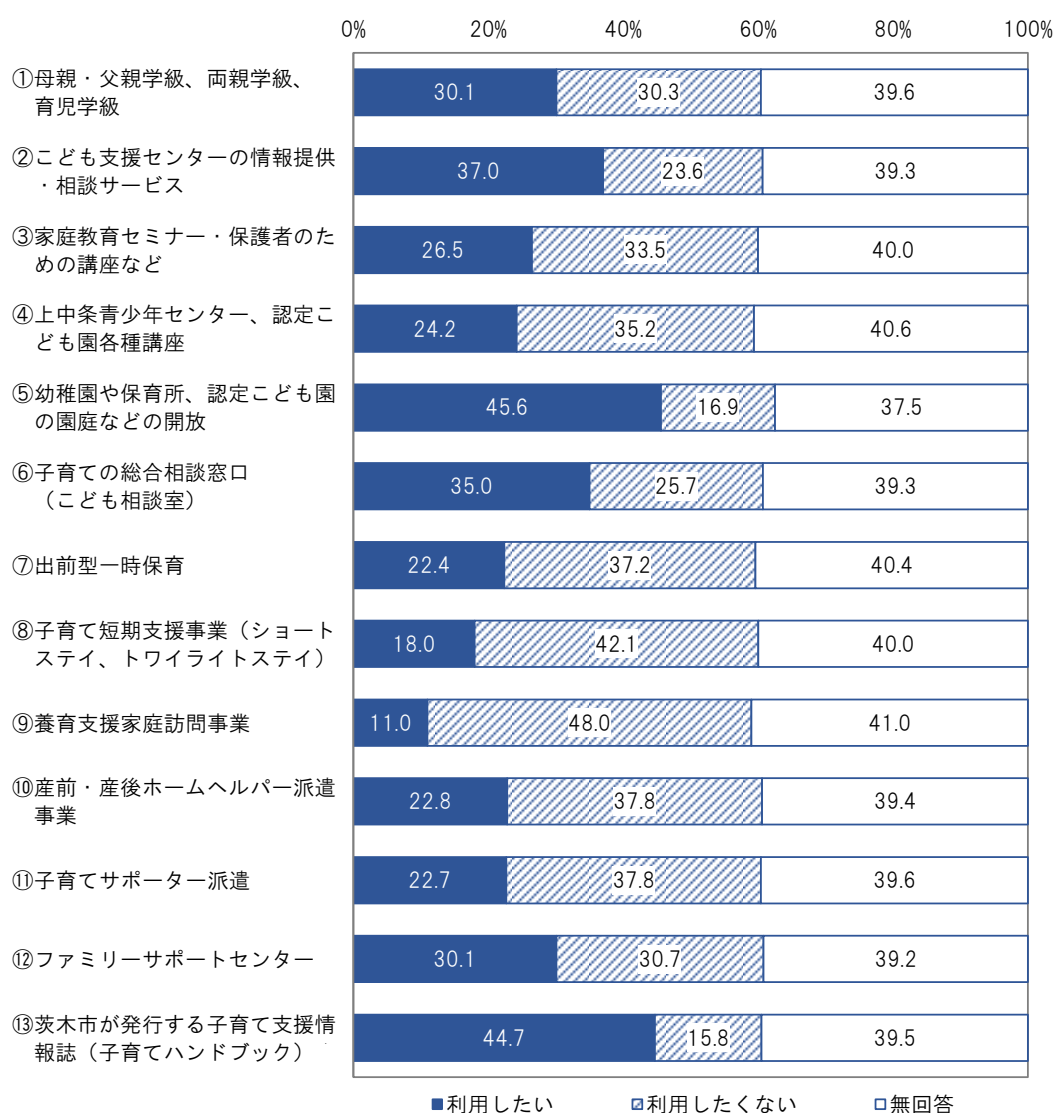
○その他のサービスでは、「利用したことがある」が1割未満と低くなっている。



(5) 子育て支援サービスの今後の利用意向【就学前／問 35（3） 単数回答】

○子育て支援サービスの今後の利用意向は、「利用したい」の割合をみると、“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”で45.6%と最も高く、次いで“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”（44.7%）、“②こども支援センターの情報提供・相談サービス”（37.0%）、“⑥子育ての総合相談窓口（こども相談室）”（35.0%）となっている。

○その他のサービスでは、「利用したくない」が「利用したい」を上回っている。



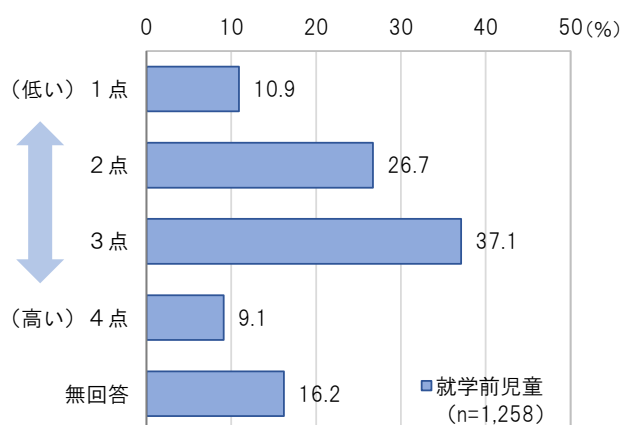
10. 市役所などへの要望について

(1) 取り組みに対する満足度【就学前／問 36 単数回答、小学生／問 23 単数回答】

① 茨木市における子育て環境や子育て支援（就学前児童のみ）

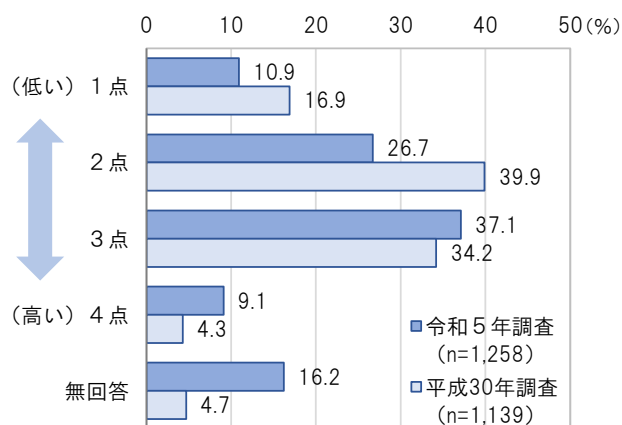
○茨木市における子育て環境や子育て支援に関する満足度は、「3点」が37.1%と最も高く、次いで「2点」(26.7%)となっており、平均点は2.53点となっている。

○①～⑤・⑩の就学前児童対象の項目の中では、最も高い点数となっている。



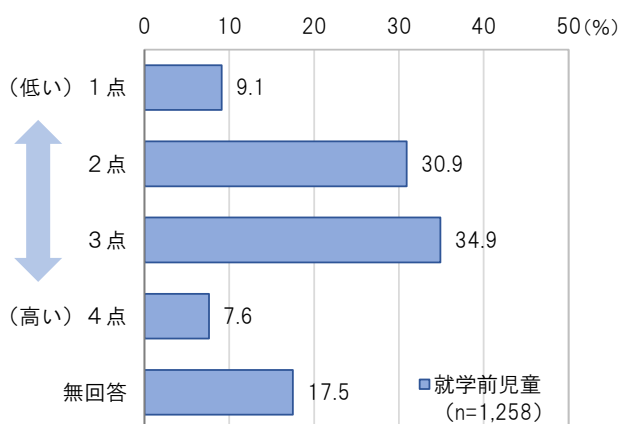
《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「3点」・「4点」で高くなっており、茨木市における子育て環境や子育て支援に関する満足度は高まっている。



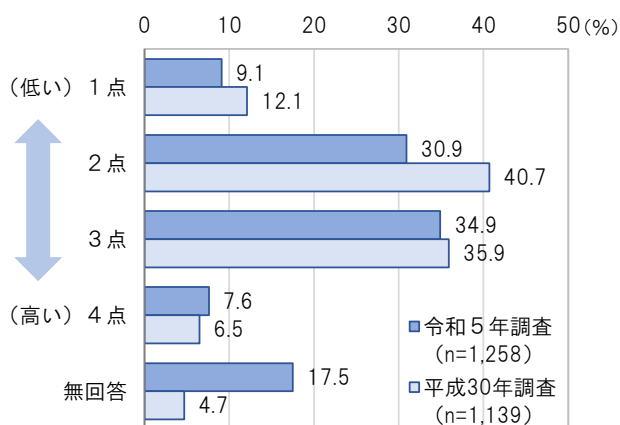
② 地域における子育て支援サービスの充実（就学前児童のみ）

○地域における子育て支援サービスの充実に関する満足度は、「3点」が34.9%と最も高く、次いで「2点」（30.9%）となっており、平均点は2.50点となっている。



《経年比較》

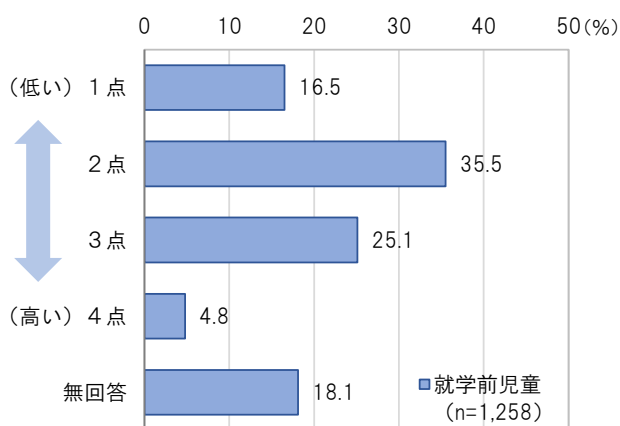
○平成30年調査と比較すると、「2点」で約10ポイント低くなっているものの、「3点」および「4点」では大きな差異はみられない。



③ 仕事と子育ての両立ができる職場環境や保育サービス（就学前児童のみ）

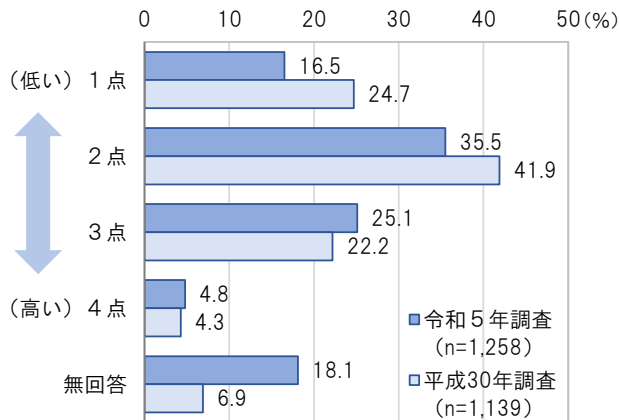
○仕事と子育ての両立ができる職場環境や保育サービスに関する満足度は、「2点」が35.5%と最も高く、次いで「3点」（25.1%）となっており、平均点は2.22点となっている。

○①～⑤・⑩の就学前児童対象の項目の中では、最も低い点数となっている。



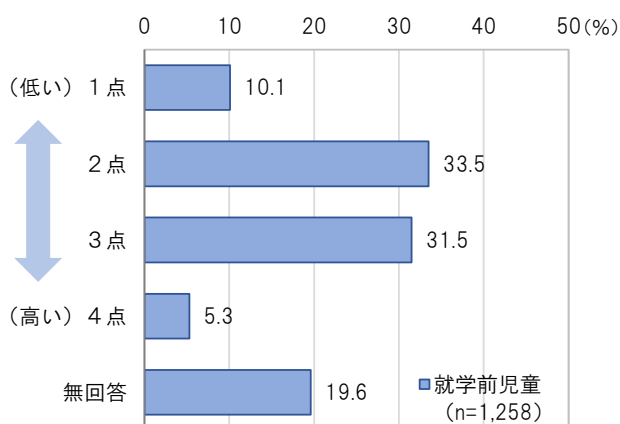
《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「1点」および「2点」ではともに5ポイント以上低くなっているものの、「3点」および「4点」では大きな差異はみられない。



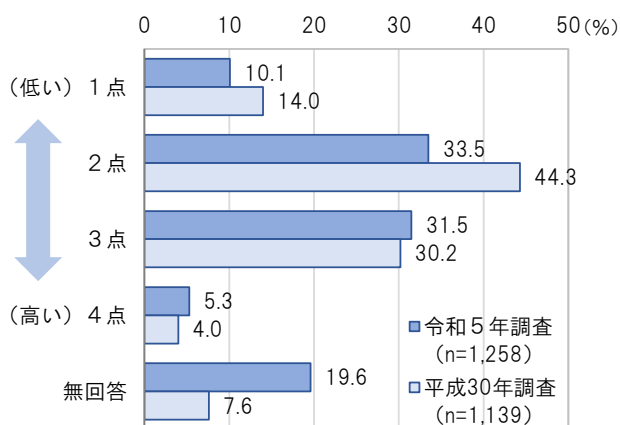
④ 学校教育などの充実、こどもの視点を取り入れた社会づくり（就学前児童のみ）

○学校教育などの充実、こどもの視点を取り入れた社会づくりに関する満足度は、「2点」が33.5%と最も高く、次いで「3点」（31.5%）となっており、平均点は2.40点となっている。



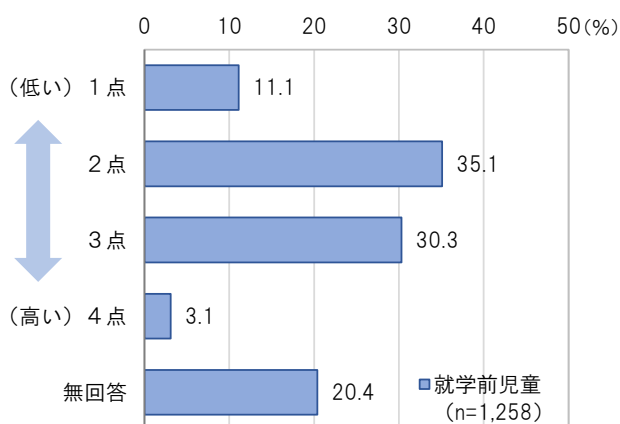
《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「2点」で10ポイント以上低くなっているものの、「3点」および「4点」では大きな差異はみられない。



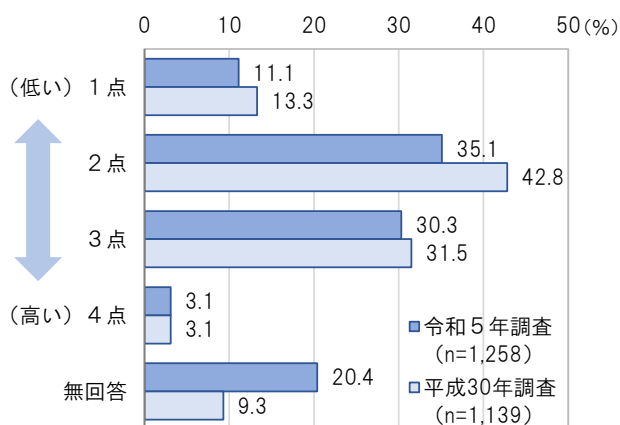
⑤ 保育・医療の充実や、さまざまな課題を抱える家庭への支援（就学前児童のみ）

○保育・医療の充実や、さまざまな課題を抱える家庭への支援に関する満足度は、「2点」が35.1%と最も高く、次いで「3点」（30.3%）となっており、平均点2.32点となっている。



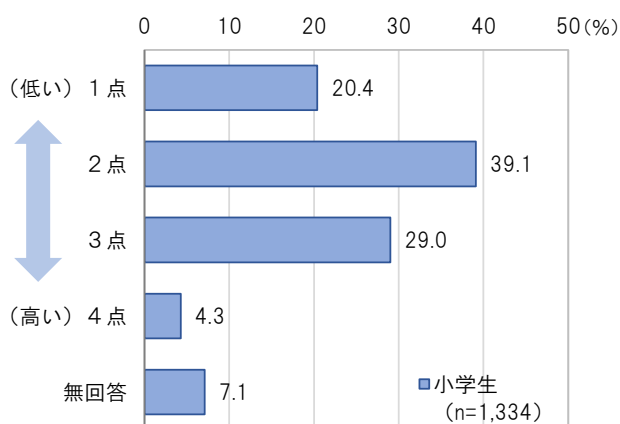
《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「2点」で5ポイント以上低くなっているものの、「3点」および「4点」では大きな差異はみられない。



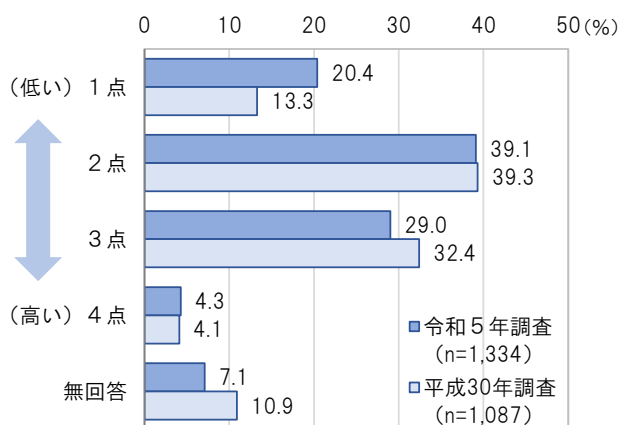
⑥ 教育相談や家庭教育支援の充実（小学生のみ）

○教育相談や家庭教育支援の充実に関する満足度は、「2点」が39.1%と最も高く、次いで「3点」（29.0%）となっており、平均点は2.19点となっている。



《経年比較》

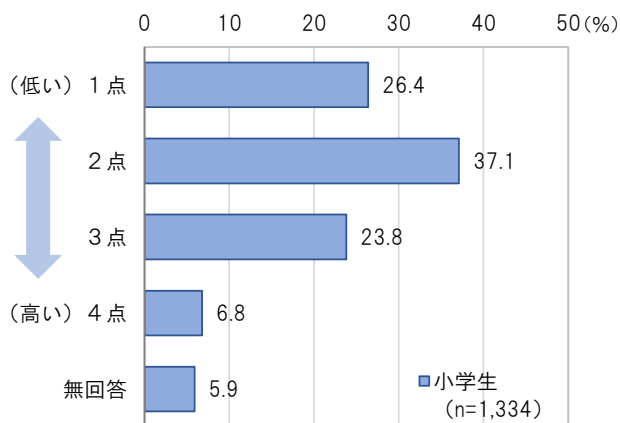
○平成30年調査と比較すると、「1点」で5ポイント以上高くなっており、教育相談や家庭教育支援の充実に関する満足度は低くなっている。



⑦ 放課後におけるこどもの居場所の確保・充実（小学生のみ）

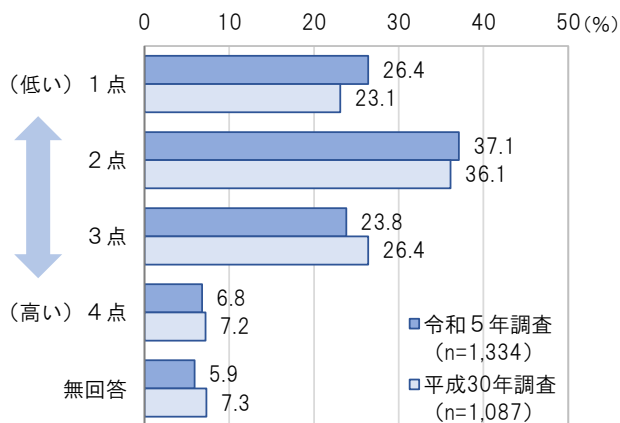
○放課後におけるこどもの居場所の確保・充実に関する満足度は、「2点」が37.1%と最も高く、次いで「1点」（26.4%）となっており、平均点は2.12点となっている。

○⑥～⑩の小学生対象の項目の中では、最も低い点数となっている。



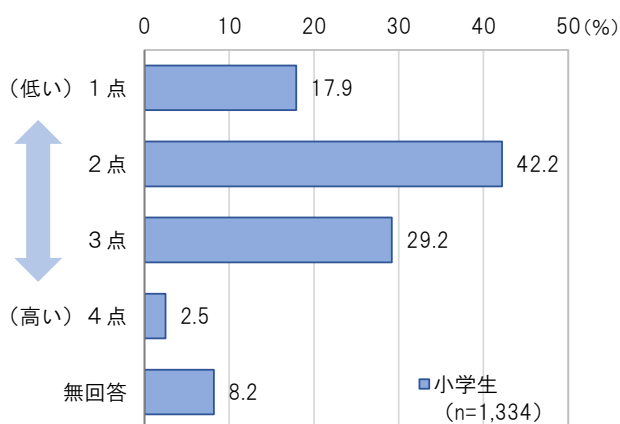
《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「1点」および「2点」でやや高く、「3点」および「4点」でやや低くなっており、放課後におけるこどもの居場所の確保・充実に関する満足度はやや低くなっている。



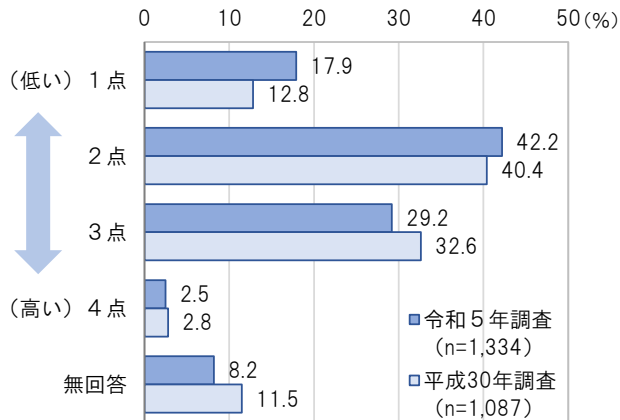
⑧ 「生きる力」を育む教育の推進、こどもの健全育成（小学生のみ）

○「生きる力」を育む教育の推進、こどもの健全育成に関する満足度は、「2点」が42.2%と最も高く、次いで「3点」（29.2%）となっており、平均点は2.18点となっている。



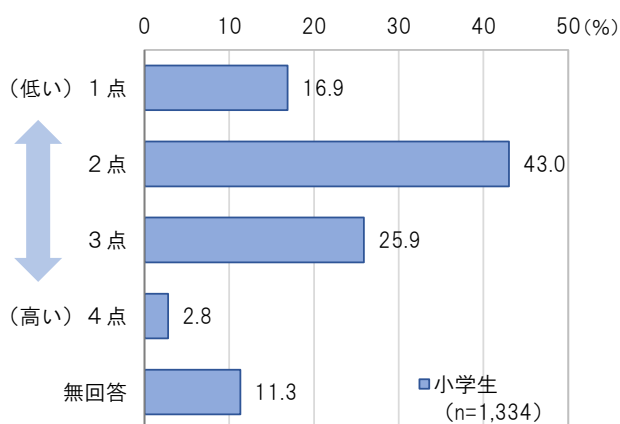
《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「1点」および「2点」でやや高く、特に「1点」では約5ポイント高くなっている。また、「3点」および「4点」でやや低くなっており、「生きる力」を育む教育の推進、こどもの健全育成に関する満足度はやや低くなっている。



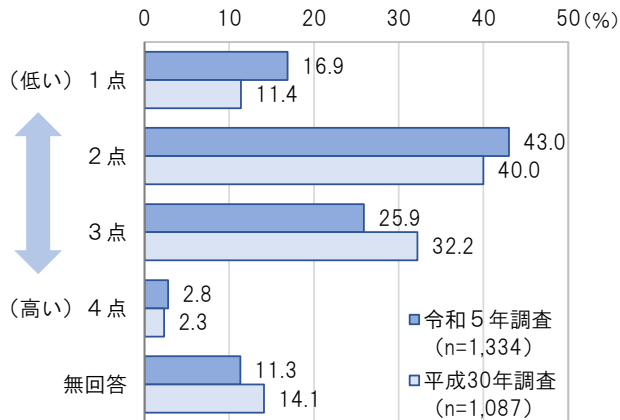
⑨ 障害・虐待など、さまざまな課題を抱えるこども・家庭への支援（小学生のみ）

○障害・虐待など、さまざまな課題を抱えるこども・家庭への支援に関する満足度は、「2点」が43.0%と最も高く、次いで「3点」（25.9%）となっており、平均点は2.16点となっている。



《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、「1点」および「2点」でやや高く、特に「1点」では5ポイント以上高くなっている。また、「3点」で5ポイント以上低くなっており、障害・虐待など、さまざまな課題を抱えるこども・家庭への支援に関する満足度はやや低くなっている。

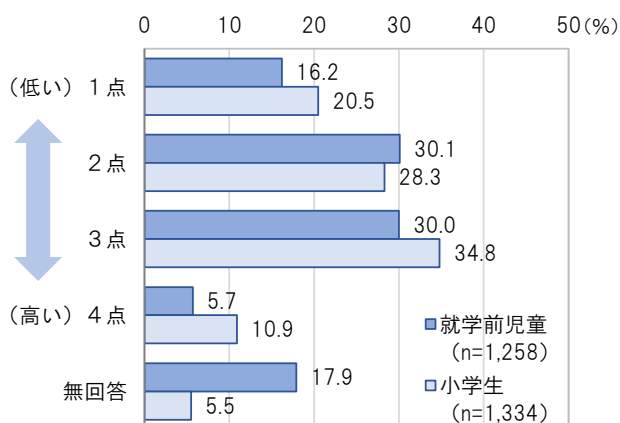


⑩ 教育・保育や医療への経済的な助成

○教育・保育や医療への経済的な助成に関する満足度は、就学前児童では「2点」が30.1%と最も高く、次いで「3点」(30.0%)となっており、平均点は2.31点となっている。

○小学生では、「3点」が34.8%と最も高く、次いで「2点」(28.3%)となっており、平均点は2.38点となっている。

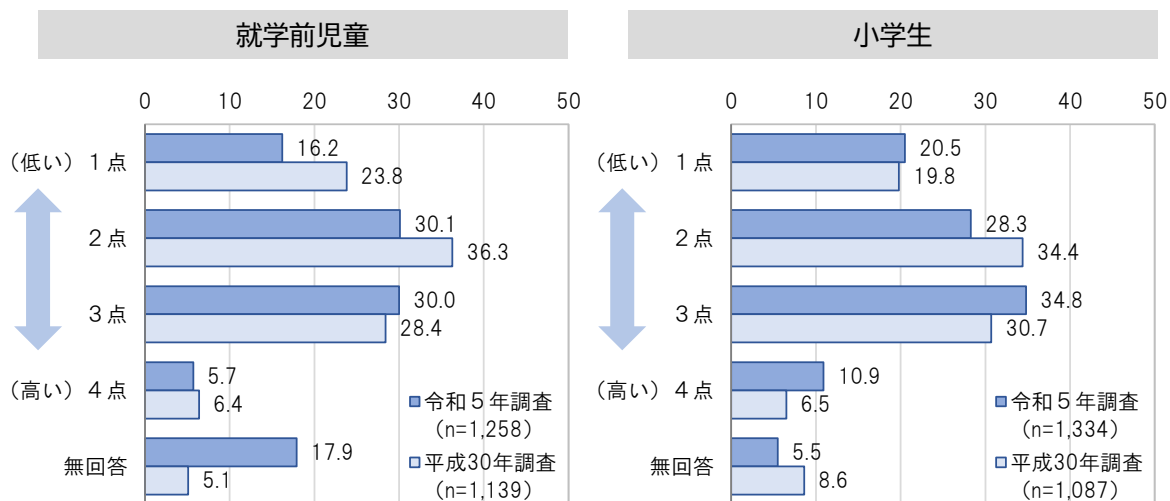
○⑥～⑩の小学生対象の項目の中では、最も高い点数となっている。



《経年比較》

○平成30年調査と比較すると、就学前児童では「1点」および「2点」ではともに5ポイント以上低くなっているものの、「3点」および「4点」では大きな差異はみられない。

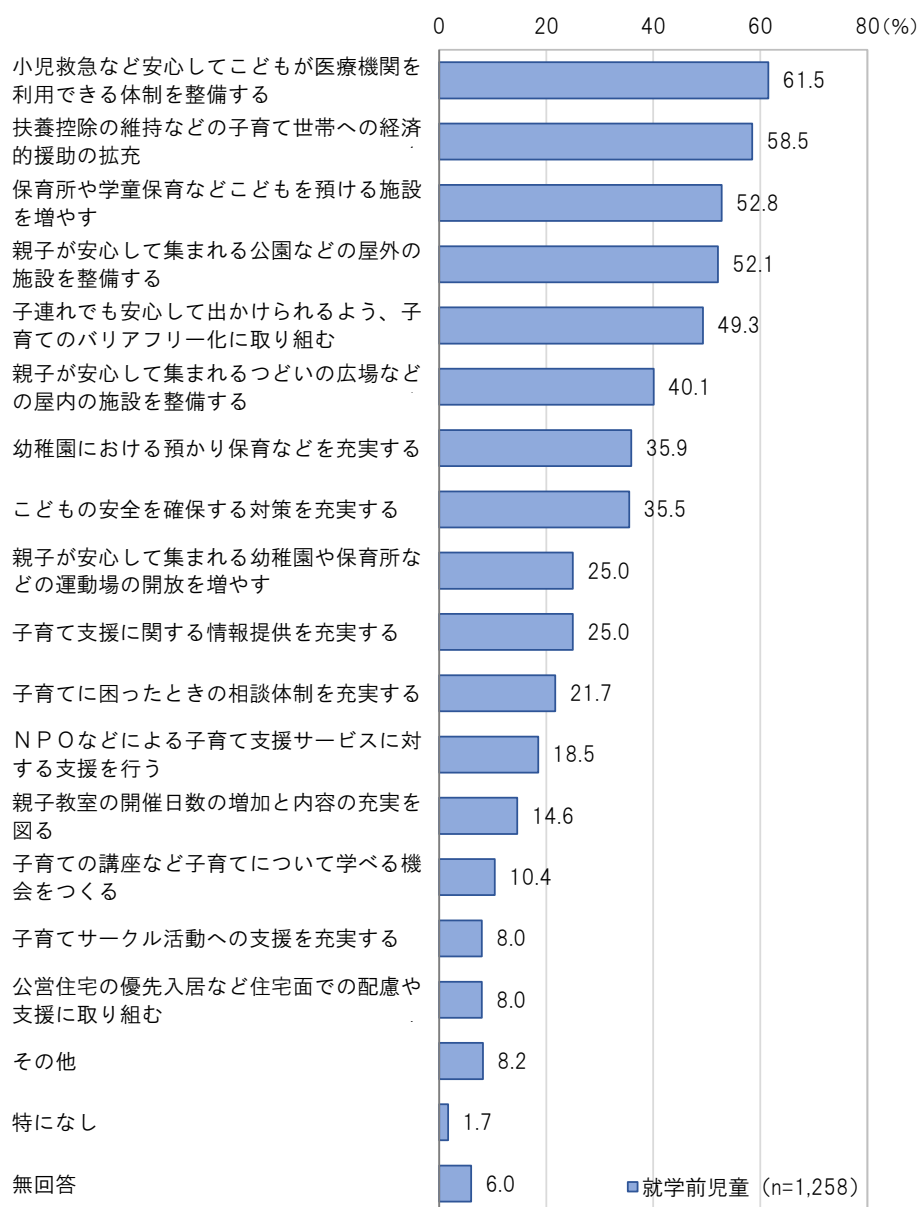
○小学生では、「2点」で5ポイント以上低く、「3点」および「4点」で高くなっており、満足度が高まっている。



(2) 市に充実してほしい子育て支援サービス【就学前／問 37 複数回答、小学生／問 22 複数回答】

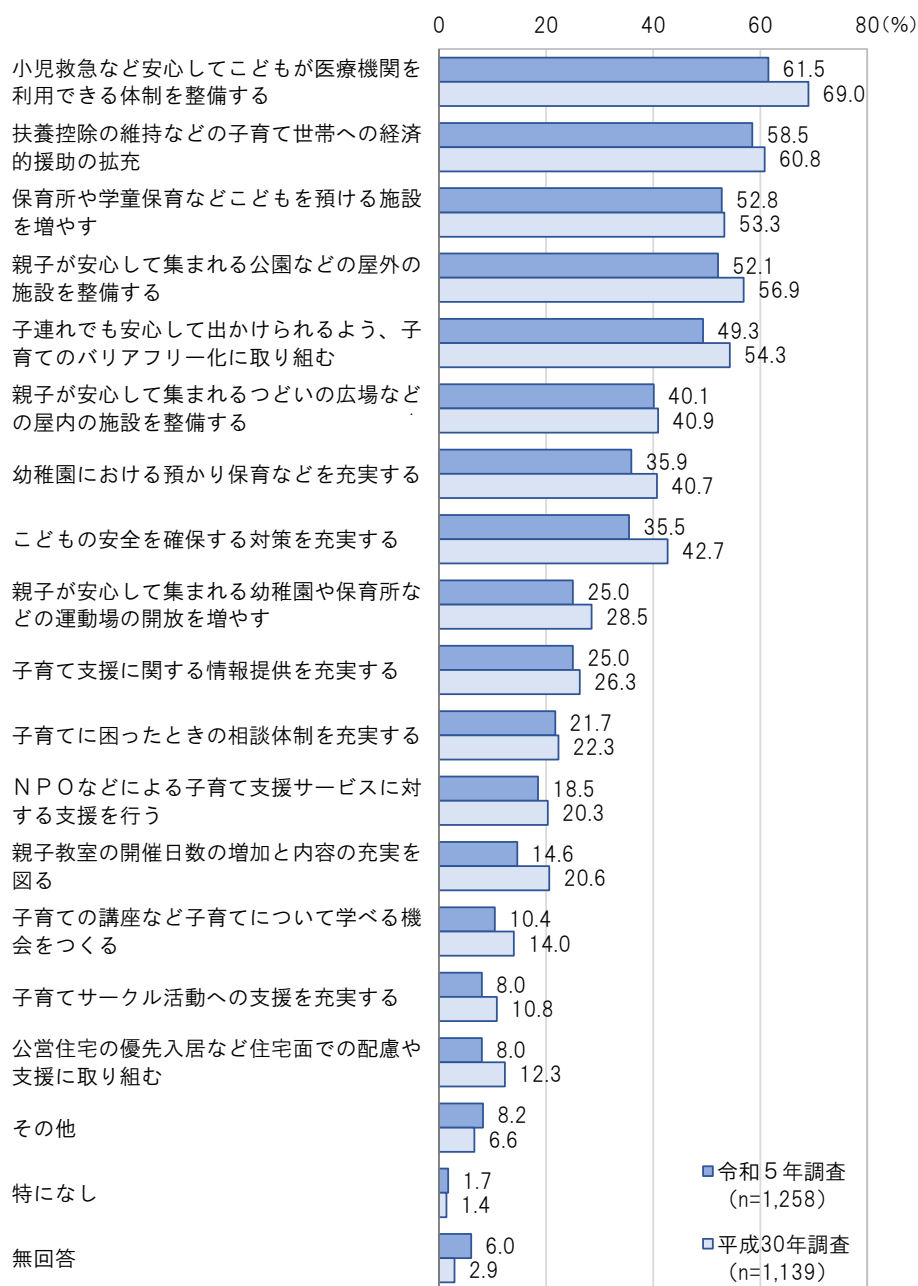
① 就学前児童

○就学前児童の市に充実してほしい子育て支援サービスは、「小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」が61.5%と最も高く、次いで「扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」(58.5%)、「保育所や学童保育などこどもを預ける施設を増やす」(52.8%)、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」(52.1%)となっている。



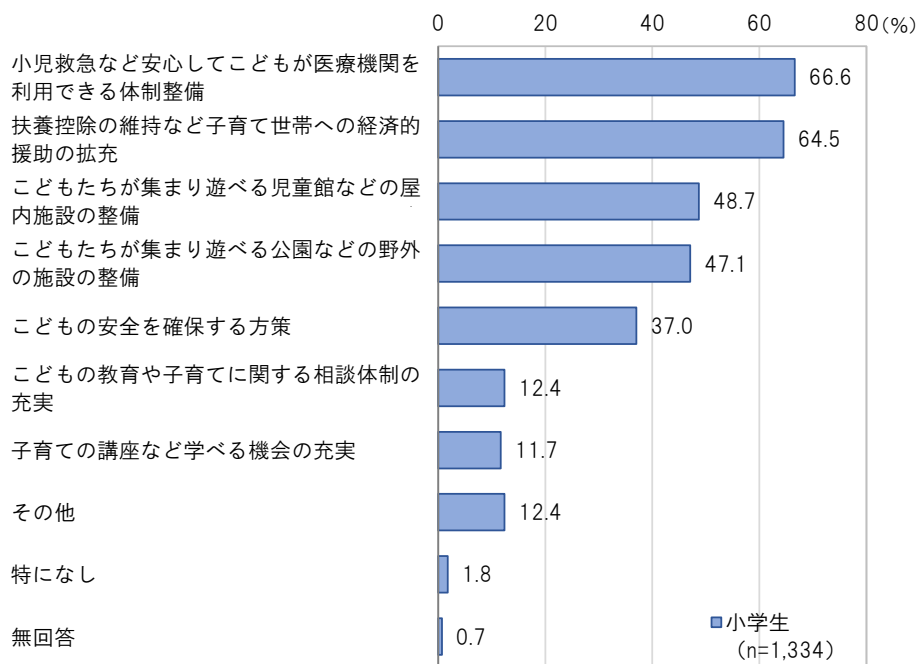
《経年比較》

- 平成30年調査と比較すると、ほとんどの項目で割合が低くなっており、特に「小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」や「子連れでも安心して出かけられるよう、子育てのバリアフリー化に取り組む」、「こどもの安全を確保する対策を充実する」、「親子教室の開催日数の増加と内容の充実を図る」などでは5ポイント以上低くなっている。
- 一方で、「扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」や「保育所や学童保育などこどもを預ける施設を増やす」、「親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する」、「子育て支援に関する情報提供を充実する」、「子育てに困ったときの相談体制を充実する」などでは大きな差異はみられない。



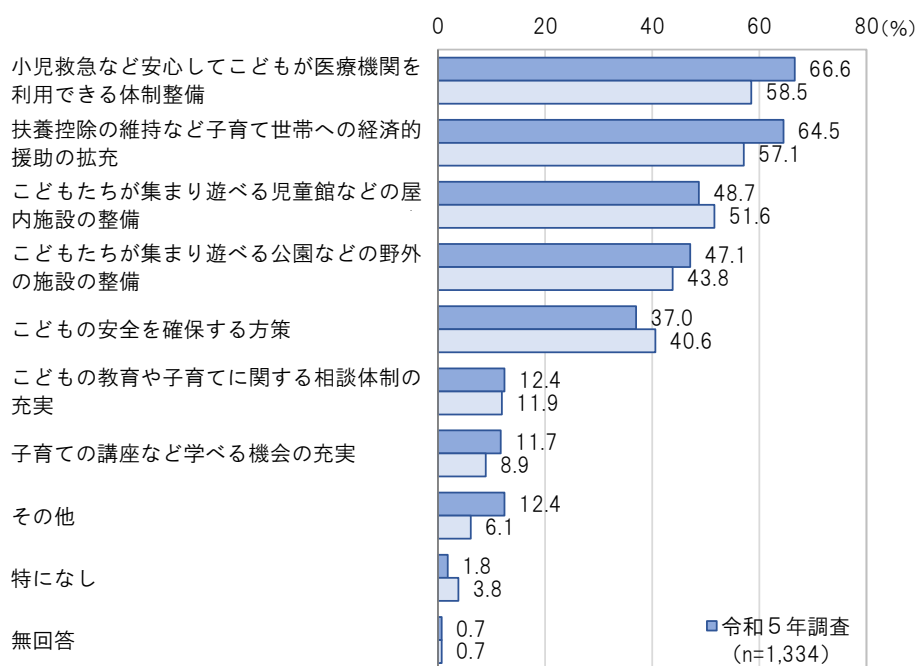
② 小学生

○小学生の市に充実してほしい子育て支援サービスは、「小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」が66.6%と最も高く、次いで「扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」(64.5%)、「こどもたちが集まり遊べる児童館などの屋内施設の整備」(48.7%)、「こどもたちが集まり遊べる公園などの野外の施設の整備」(47.1%)となっている。



《経年比較》

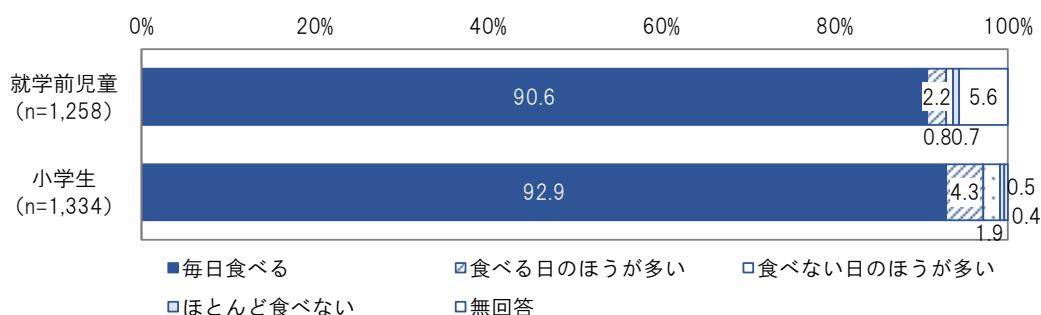
○平成30年調査と比較すると、「小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」や「扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」で高くなっている。



11. こどもの生活習慣について

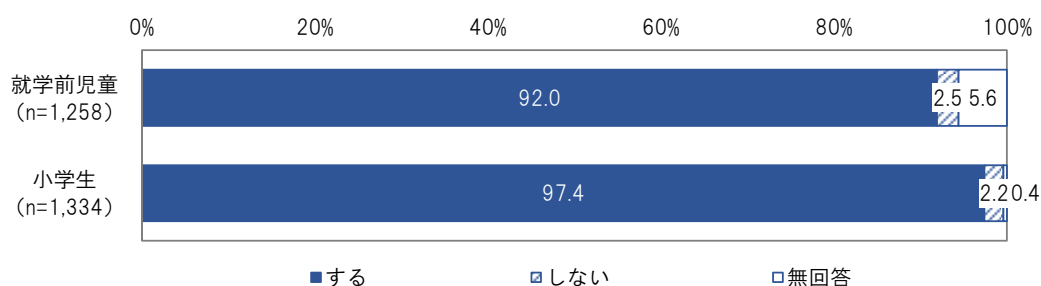
(1) 朝食の摂取状況【就学前／問 38 (1) 単数回答、小学生／問 24 (1) 単数回答】

○朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が就学前児童で 90.6%、小学生で 92.9%と最も高くなっている。



(2) 1日1回以上の家族と一緒に食事【就学前／問 38 (2) 単数回答、小学生／問 24 (2) 単数回答】

○1日1回以上の家族と一緒に食事は、「する」が就学前児童で 92.0%、小学生で 97.4%と高くなっている。

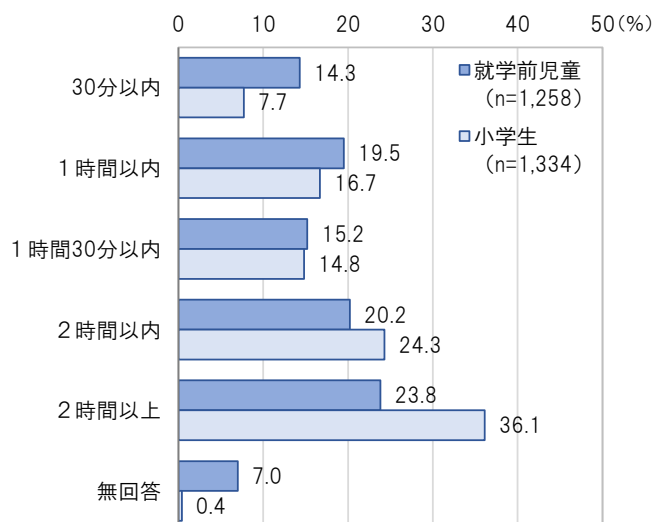


(3) 平日のテレビ・ビデオ等の1日あたりの平均視聴時間

【就学前／問 38 (3) 単数回答、小学生／問 24 (3) 単数回答】

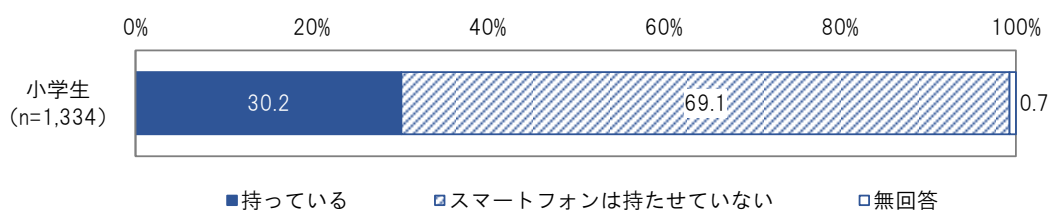
○平日のテレビ・ビデオ等の1日あたりの平均視聴時間は、「2時間以上」が就学前児童で 23.8%、小学生で 36.1%と最も高くなっている。

○また、就学前児童に比べて小学生で視聴時間が長くなっている。



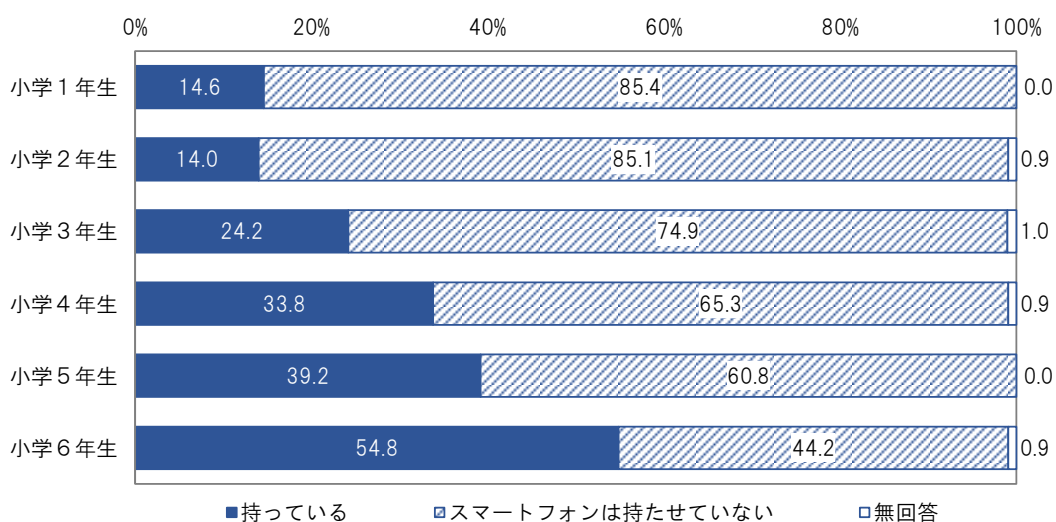
（４）こども専用のスマートフォンの所持状況【小学生／問 24（４） 単数回答】

○こども専用のスマートフォンの所持は、「スマートフォンは持たせていない」が 69.1%と約 7 割を占め、「持っている」は 30.2%となっている。



《学年別比較》

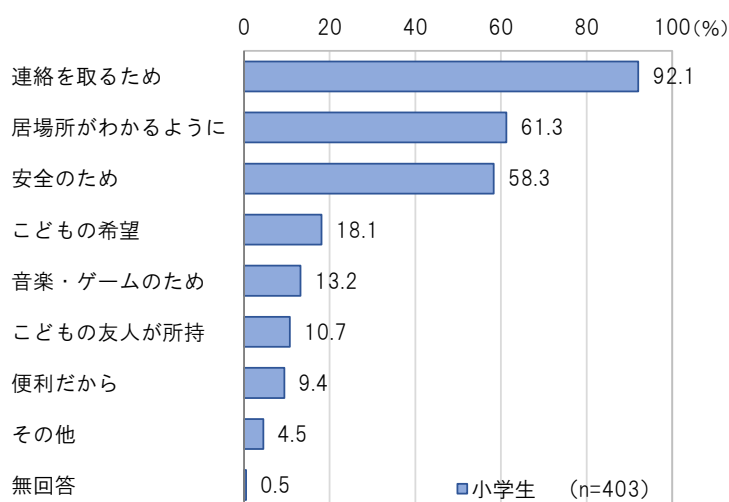
○学年別にみると、学年が上がるにつれて「持っている」が高くなる傾向がみられ、[小学 6 年生]では「持っている」が半数以上となっている。



（４-１）こども専用のスマートフォンを持たせている理由【小学生／問 24（４） 複数回答】

※（４）で「持っている」と回答した人のみ

○こども専用のスマートフォンを持たせている理由は、「連絡を取るため」が 92.1%と最も高く、次いで「居場所がわかるように」(61.3%)、「安全のため」(58.3%)となっている。

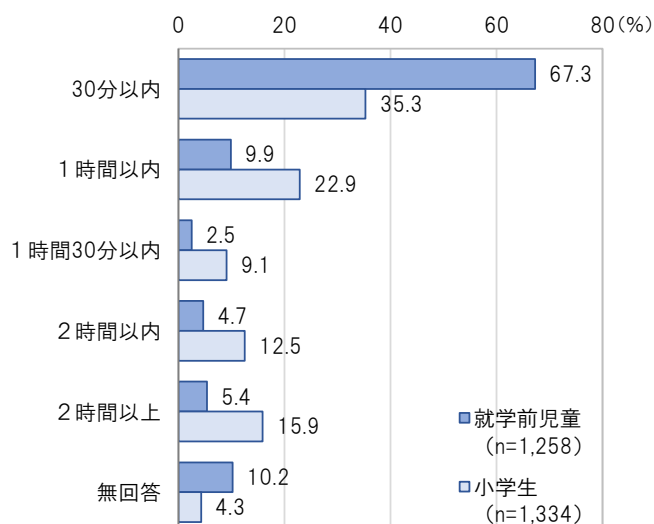


(5) 平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間

【就学前／問 38（4） 単数回答、小学生／問 24（5） 単数回答】

○平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間は、「30 分以内」が就学前児童で 67.3%、小学生で 35.3%と最も高くなっている。

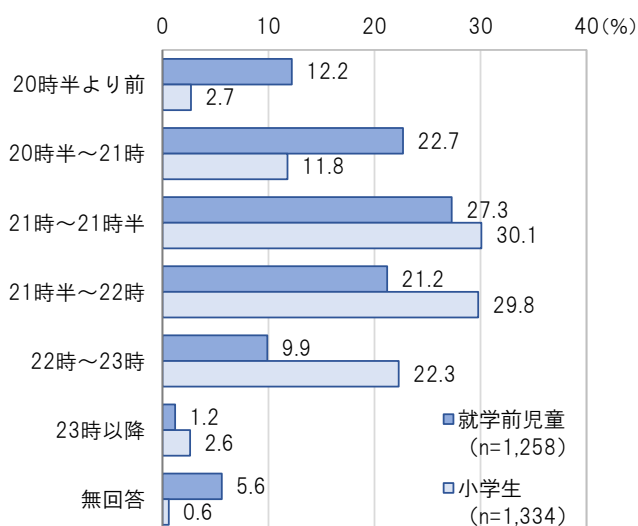
○また、就学前児童に比べて小学生で利用時間が長くなっている。



(6) 就寝時刻【就学前／問 38（5） 単数回答、小学生／問 24（6） 単数回答】

○就寝時刻は、「21 時～21 時半」が就学前児童で 27.3%、小学生で 30.1%と最も高くなっている。

○また、就学前児童に比べて小学生で就寝時刻が遅くなっている。

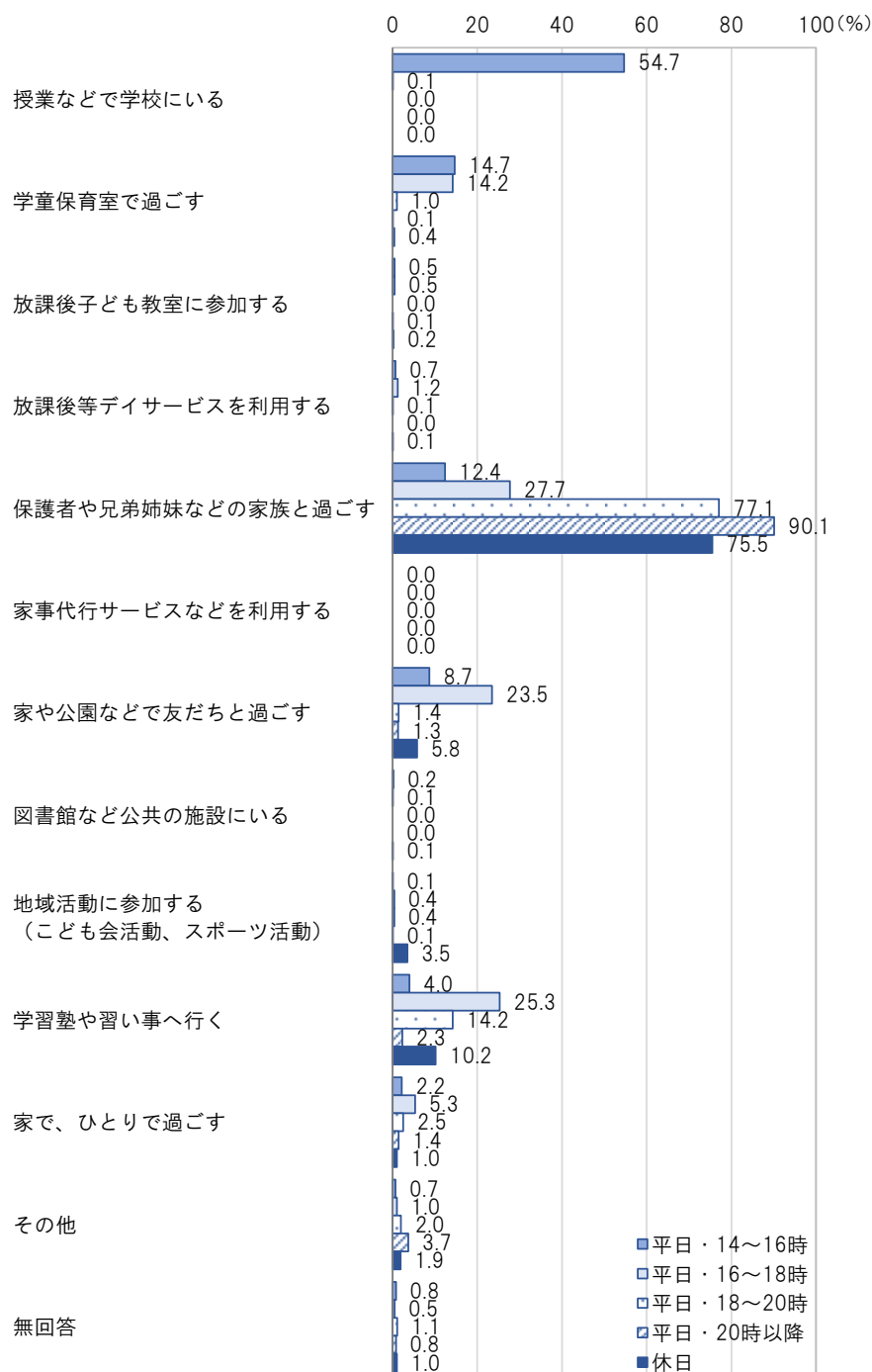


12. こどものふだんの過ごし方について

(1) こどものふだんの過ごし方【小学生／問 25 単数回答】

○こどものふだんの過ごし方は、[平日・14～16 時] では「授業などで学校にいる」が 54.7%と最も高く、[平日・16 時以降][休日] は「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が最も高くなっている。

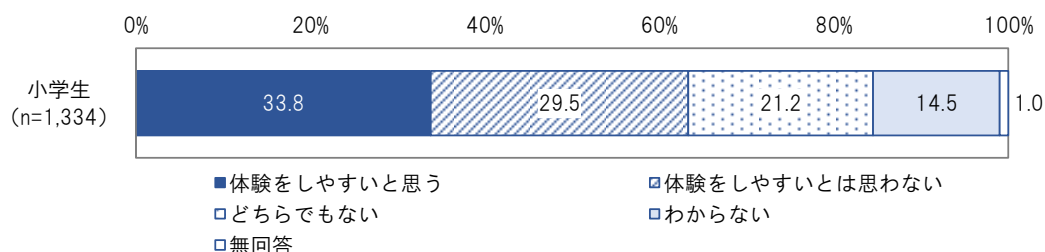
○また、[平日・16～18 時] では「家や公園などで友だちと過ごす」や「学習塾や習い事へ行く」が2割を超えて高くなっている。



13. 地域での自然体験などへの参加について

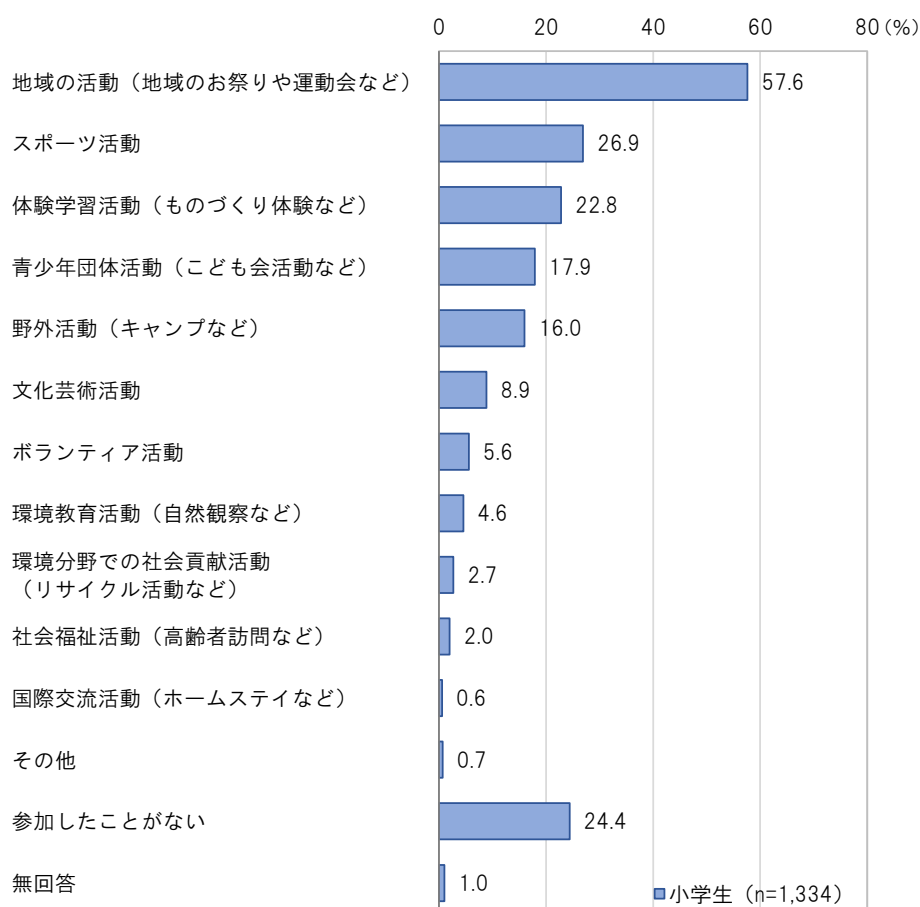
(1) こどもが自然・社会・文化などを体験しやすい環境と思うか【小学生／問 26 単数回答】

○こどもが自然・社会・文化などを体験しやすい環境と思うかは、「体験しやすいと思う」が 33.8% と 3 割を超えて最も高くなっているものの、「体験しやすいとは思わない」が 29.5% と約 3 割を占めている。



(2) 参加したことがある地域での自然体験・社会参加・文化活動【小学生／問 27 複数回答】

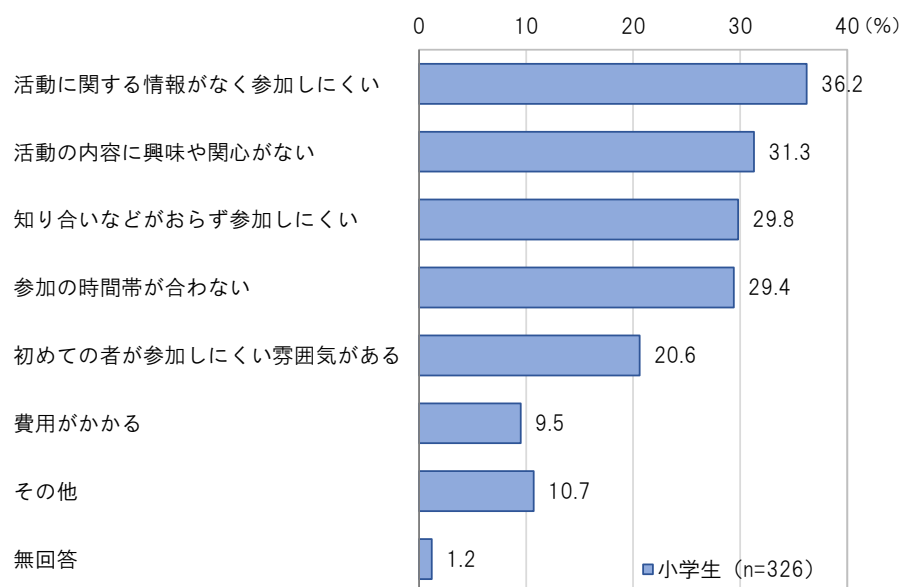
○参加したことがある地域での自然体験・社会参加・文化活動は、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が 57.6% と最も高く、次いで「スポーツ活動」（26.9%）、「体験学習活動（ものづくり体験など）」（22.8%）、「青少年団体活動（こども会活動など）」（17.9%）となっている。



(2-1) 地域での自然体験・社会参加・文化活動に参加していない理由【小学生／問 27-1 複数回答】

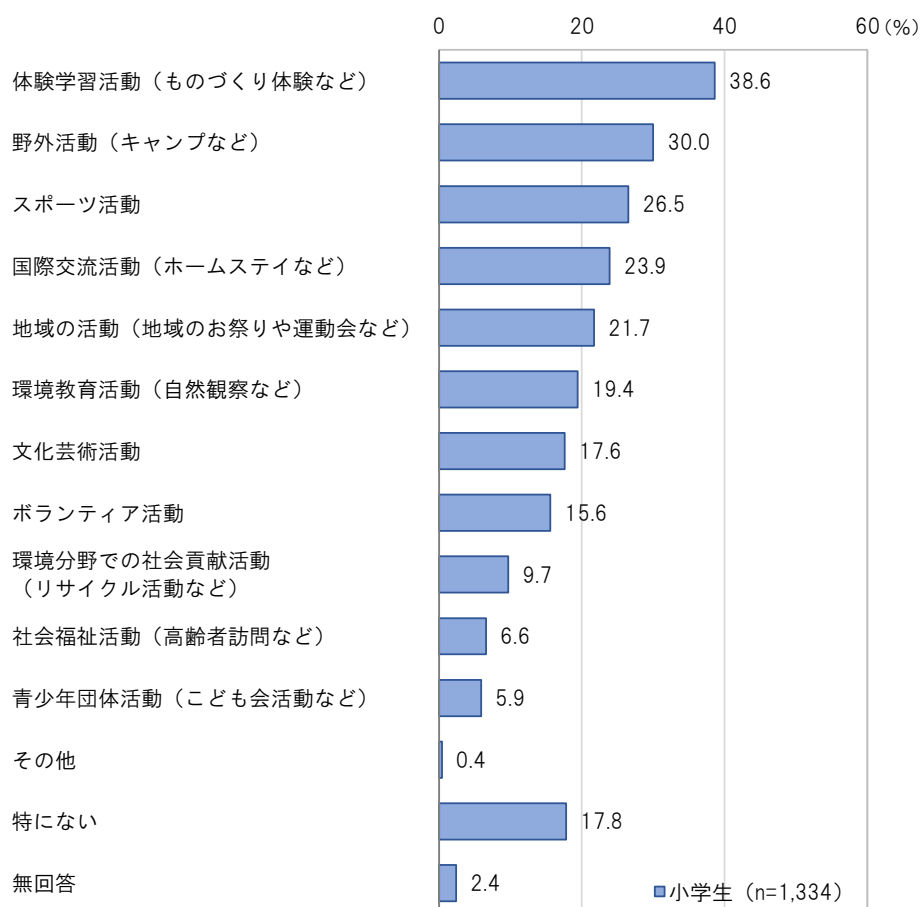
※(2)で「参加したことがない」と回答した人のみ

○地域での自然体験・社会参加・文化活動に参加していない理由は、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が36.2%と最も高く、次いで「活動の内容に興味や関心がない」(31.3%)、「知り合いなどがおらず参加しにくい」(29.8%)、「参加の時間帯が合わない」(29.4%)となっている。



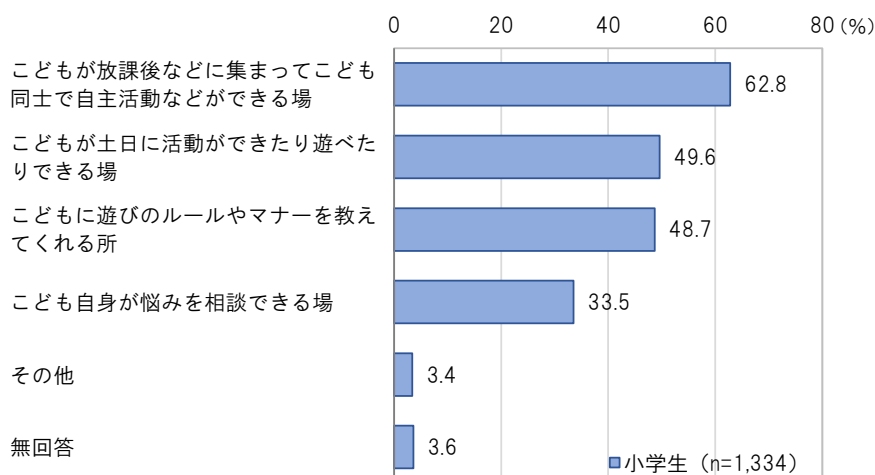
(3) 今後参加させたい地域での自然体験・社会参加・文化活動【小学生／問28 複数回答】

- 今後参加させたい地域での自然体験・社会参加・文化活動は、「体験学習活動（ものづくり体験など）」が38.6%と最も高く、次いで「野外活動（キャンプなど）」(30.0%)、「スポーツ活動」(26.5%)、「国際交流活動（ホームステイなど）」(23.9%)となっている。
- (2) 参加したことがある地域での自然体験・社会参加・文化活動と比較すると、「体験学習活動（ものづくり体験など）」や「野外活動（キャンプなど）」、「国際交流活動（ホームステイなど）」などへの参加意向が高くなっている。



(4) こども同士が交流等を行える身近な場として望ましいこと【小学生／問 29 複数回答】

○こども同士が交流等を行える身近な場として望ましいことは、「こどもが放課後などに集まってこども同士で自主活動などができる場」が62.8%と最も高く、次いで「こどもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」(49.6%)、「こどもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所」(48.7%)となっている。



《学年別比較》

○学年別にみると、すべての学年で「こどもが放課後などに集まってこども同士で自主活動などができる場」が最も高く、次いで「1年生」「2年生」では「こどもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所」、その他の学年では「こどもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」となっている。

○また、「こどもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所」では、学年が下がるにつれて高くなる傾向がみられる。

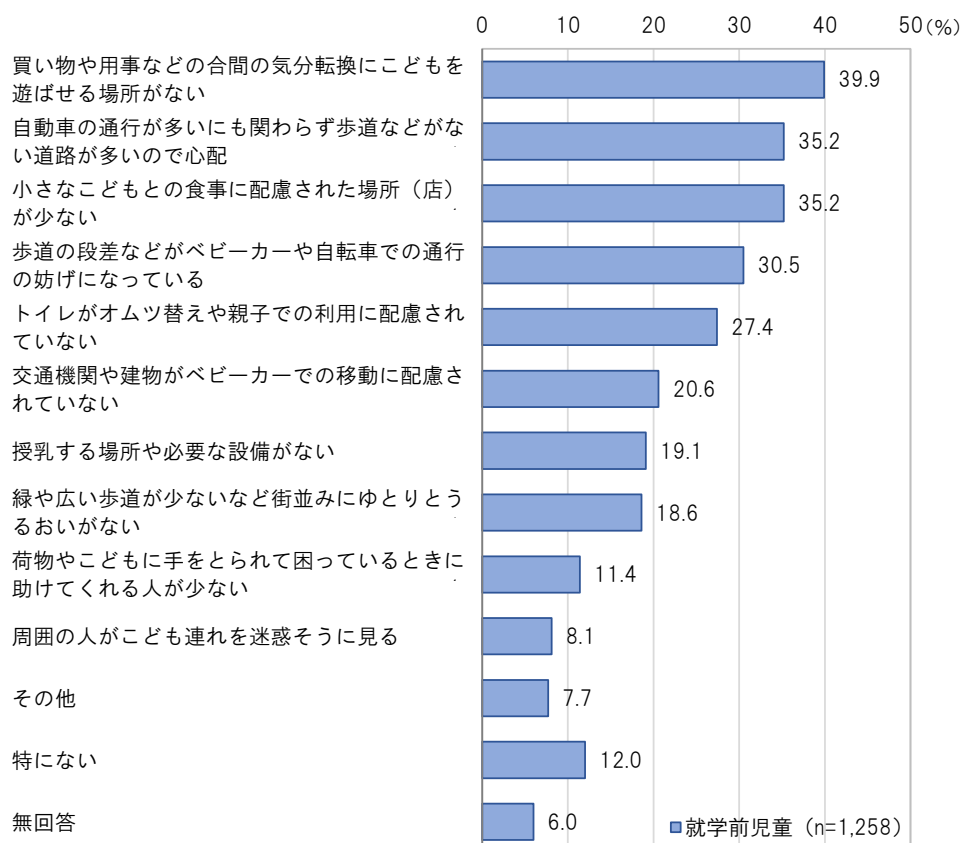
		回答者数 (人)	こどもが放課後などに集まってこども同士で自主活動などができる場	こどもが土日に活動ができたり遊べたりできる場	こどもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所	こども自身が悩みを相談できる場	その他	無回答
学年別	1年生	213	64.3	54.9	58.7	37.1	2.3	2.8
	2年生	228	66.7	49.6	51.3	31.1	3.1	2.6
	3年生	207	66.7	49.8	46.9	31.9	4.3	3.4
	4年生	216	62.0	51.9	48.6	32.9	2.8	3.2
	5年生	227	57.7	44.1	43.6	33.0	4.4	5.7
	6年生	217	61.3	46.5	41.9	35.9	3.2	3.7

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

14. 子育てを支援する生活環境の整備やこどもの安全の確保について

(1) 外出したときに困ること・困ったこと【就学前／問 39 複数回答】

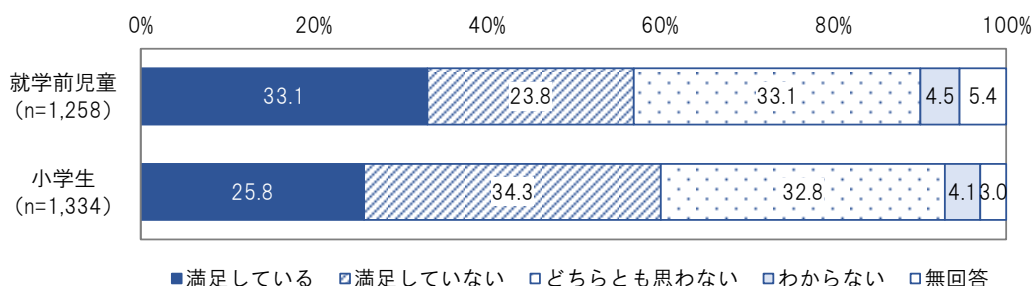
○外出したときに困ること・困ったことは、「買い物や用事などの合間の気分転換にこどもを遊ばせる場所がない」が39.9%と最も高く、次いで「自動車の通行が多いにも関わらず歩道などがない道路が多いので心配」および「小さなこどもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」(35.2%)、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」(30.5%)となっている。



(2) こどもの遊び場に関する満足度【就学前／問 40 単数回答、小学生／問 30 単数回答】

○こどもの遊び場に関する満足度は、就学前児童では「満足している」が33.1%と3割を超え、「満足していない」(23.8%)を約10ポイント上回っている。

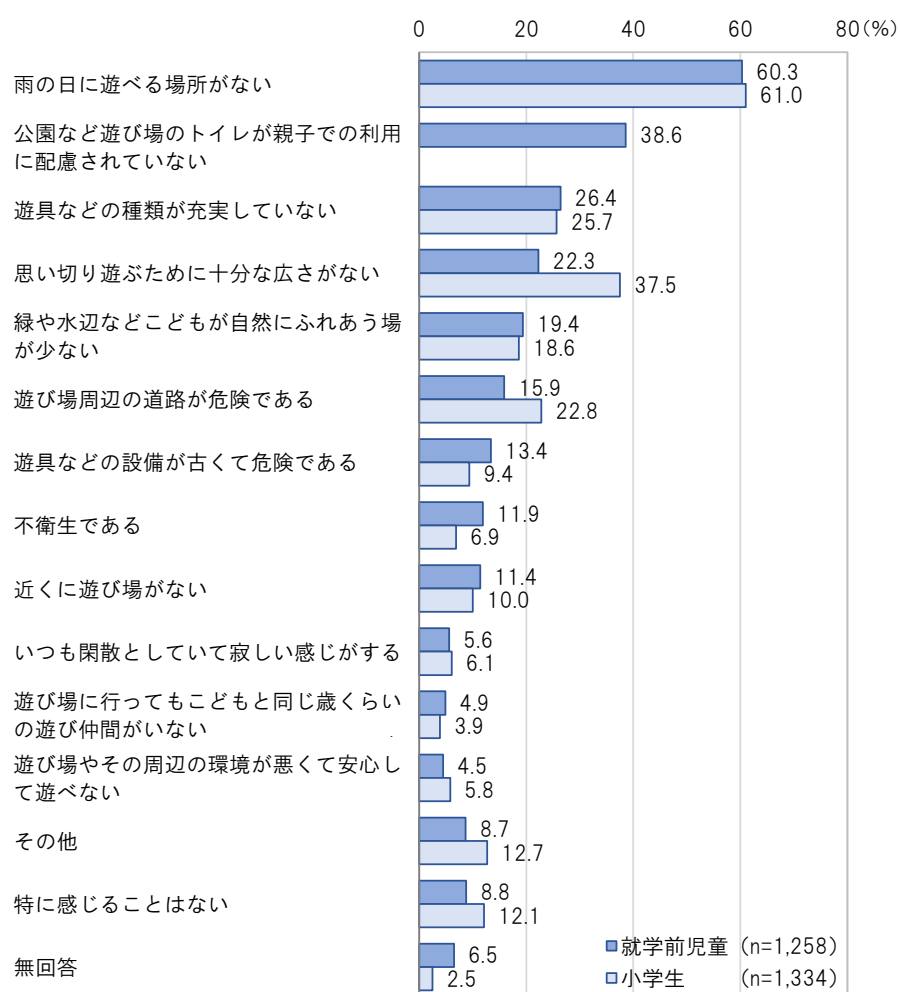
○一方、小学生では「満足していない」が34.3%と3割を超えて最も高く、「満足している」(25.8%)を10ポイント近く上回っている。



(3) こどもの遊び場について日ごろ感じること【就学前／問 41 複数回答、小学生／問 31 複数回答】

○こどもの遊び場について日ごろ感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が就学前児童で 60.3%、小学生で 61.0%と最も高く、次いで、就学前児童では「公園など遊び場のトイレが親子での利用に配慮されていない」が 38.6%、小学生では「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 37.5%となっている。

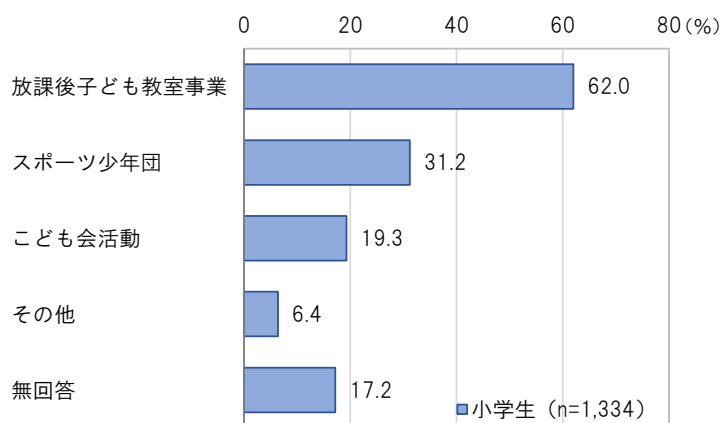
○就学前児童では「遊具などの設備が古くて危険である」や「不衛生である」などが小学生に比べて高く、小学生では「思い切り遊ぶために十分な広さがない」や「遊び場周辺の道路が危険である」が就学前児童に比べて高くなっている。



(4) 地域において子育てを支援する生活環境のために必要・効果があると思うもの

【小学生／問 32 複数回答】

○地域において子育てを支援する生活環境のために必要・効果があると思うものは、「放課後子ども教室事業」が62.0%と最も高く、次いで、「スポーツ少年団」(31.2%)、「こども会活動」(19.3%)となっている。

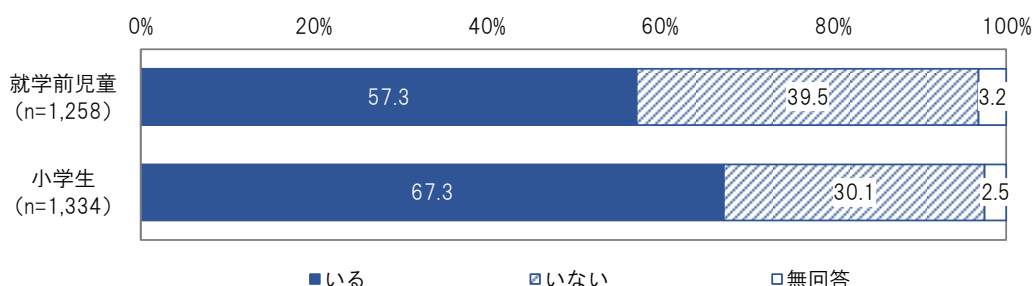


15. 子育てに関する意識について

(1) 近所で日常的にこどもの話や世間話をする人の有無

【就学前／問 42 単数回答、小学生／問 33 単数回答】

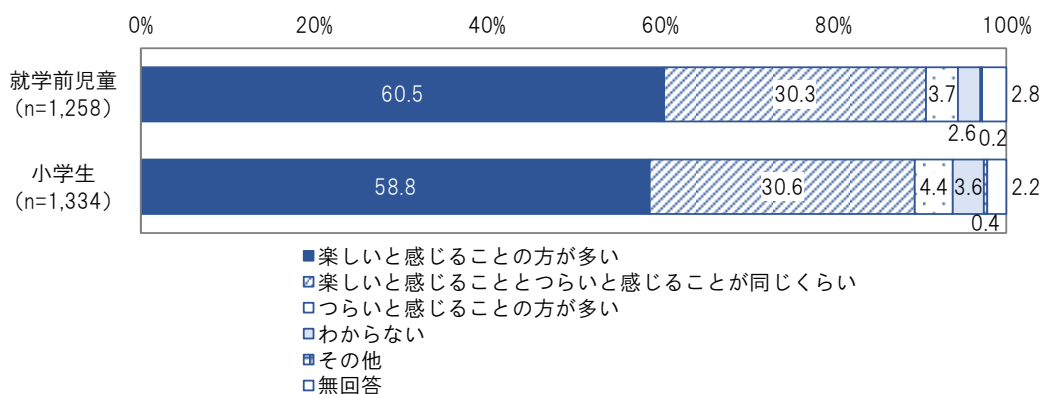
○近所で日常的にこどもの話や世間話をする人の有無は、「いる」が就学前児童で 57.3%、小学生で 67.3%と最も高くなっている。また、就学前児童では「いない」が 39.5%と約 4 割を占め、小学生に比べて高くなっている。



(2) 子育てへの楽しさ・つらさの感じ方【就学前／問 43 単数回答、小学生／問 34 単数回答】

○子育てへの楽しさ・つらさの感じ方は、「楽しいと感じることの方が多い」が就学前児童で 60.5%、小学生で 58.8%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」（就学前児童：30.3%、小学生：30.6%）となっており、『楽しいと感じている』人が 9 割程度を占めている。

○一方で、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」と「つらいと感じることの方が多い」（就学前児童：3.7%、小学生：4.4%）を合わせた『つらいと感じている』人は 3 割以上となっている。

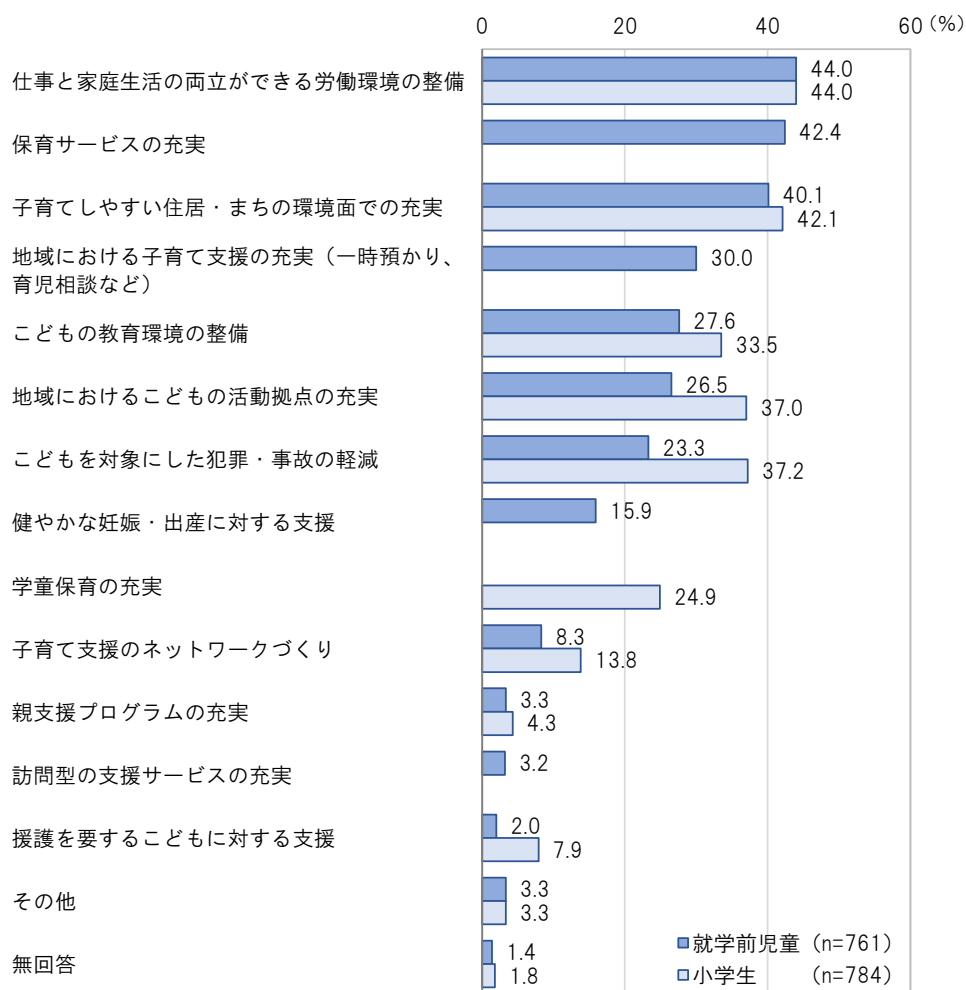


(2-1) 子育てをする中で有効と感じている支援・対策

【就学前／問 43-1 複数回答、小学生／問 34-1 複数回答】

※(2)で「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人のみ

○子育てをする中で有効と感じている支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が就学前児童・小学生ともに44.0%と最も高く、次いで、就学前児童では「保育サービスの充実」が42.4%、小学生では「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が42.1%となっている。

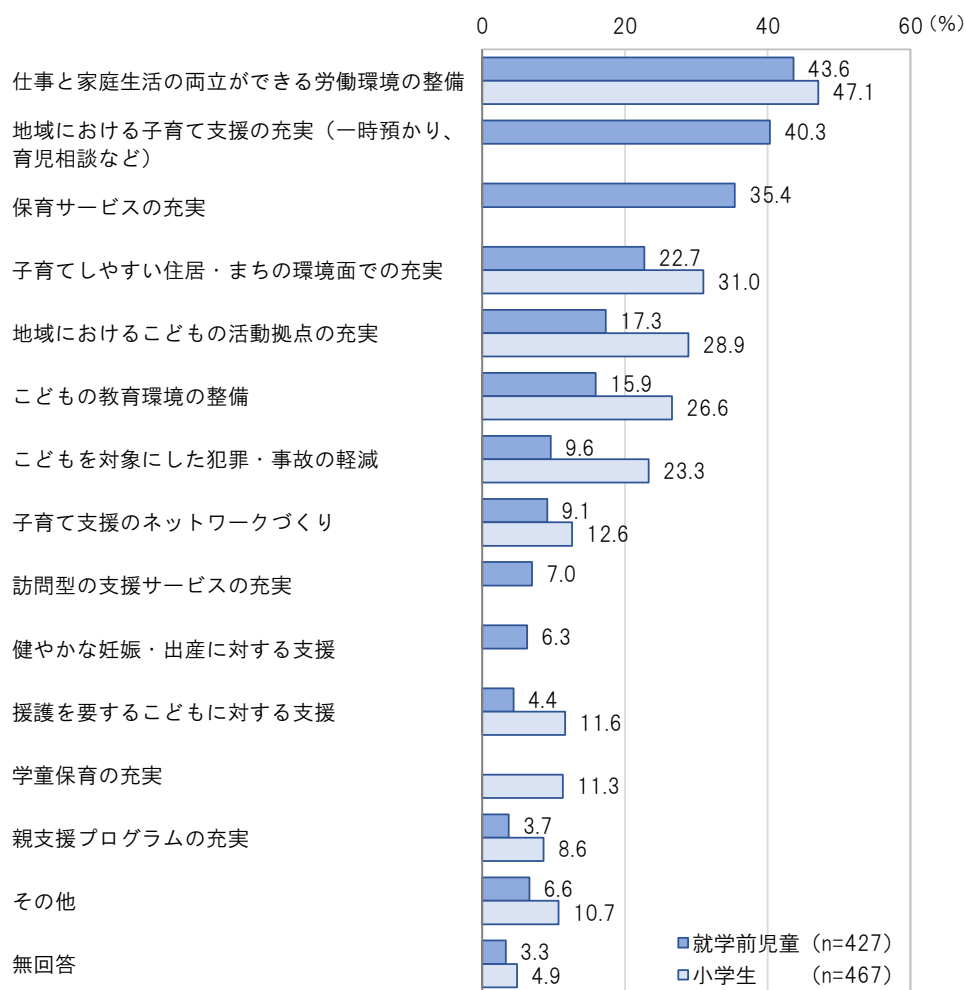


(2-2) 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

【就学前／問 43-2 複数回答、小学生／問 34-2 複数回答】

※(2)で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多い」と回答した人のみ

○子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が就学前児童で43.6%、小学生で47.1%と最も高く、次いで、就学前児童では「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が40.3%、小学生では「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が31.0%となっている。

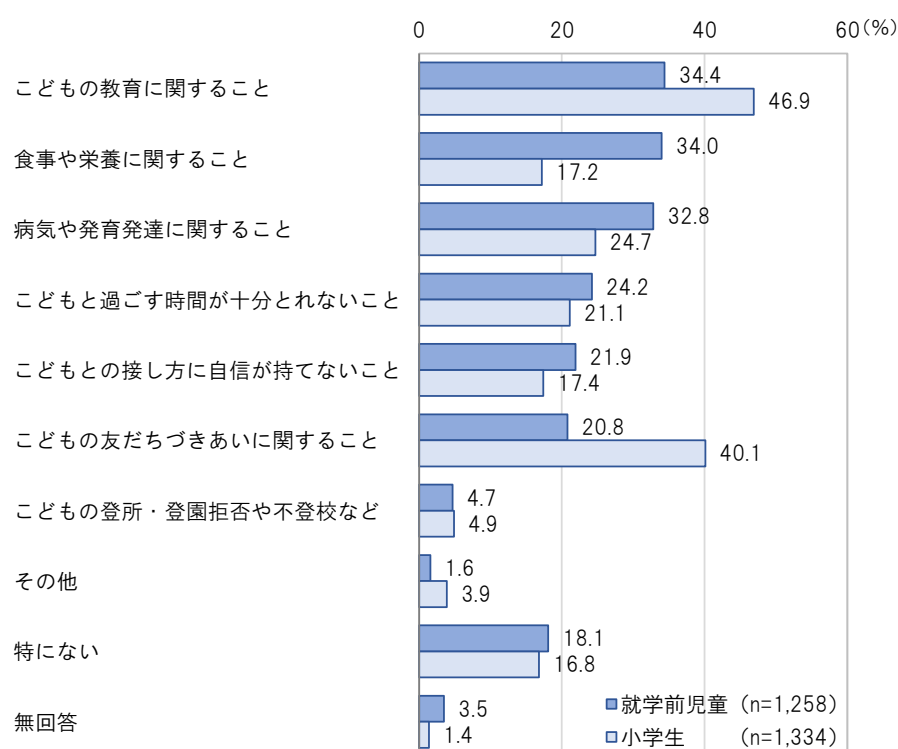


(3) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること【就学前／問 44 複数回答、小学生／問 35 複数回答】

① こどもに関すること

○子育てに関して日常悩んでいること・気になることで、こどもに関することでは、「こどもの教育に関すること」が就学前児童で 34.4%、小学生で 46.9%と最も高く、次いで、就学前児童では「食事や栄養に関すること」が 34.0%、小学生では「こどもの友だちづきあいに関すること」が 40.1%となっている。

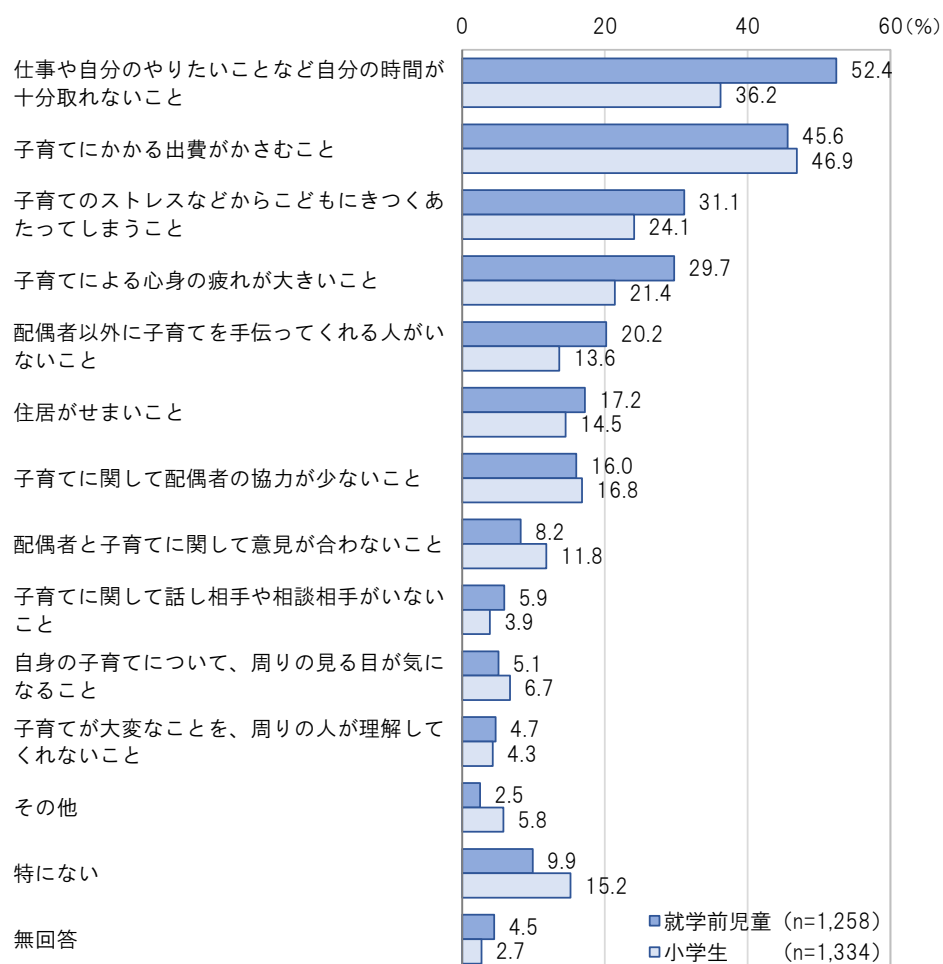
○就学前児童では「食事や栄養に関すること」や「病気や発育発達に関すること」などの発達や発育に関する項目で小学生に比べて高く、小学生では「こどもの教育に関すること」や「こどもの友だちづきあいに関すること」などの教育や社会性に関する項目で就学前児童に比べて高くなっている。



② 自身に関すること

○子育てに関して日常悩んでいること・気になることで、自身に関することでは、就学前児童では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が52.4%と最も高く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」(45.6%)となっているのに対し、小学生では「子育てにかかる出費がかさむこと」が46.9%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(36.2%)となっている。

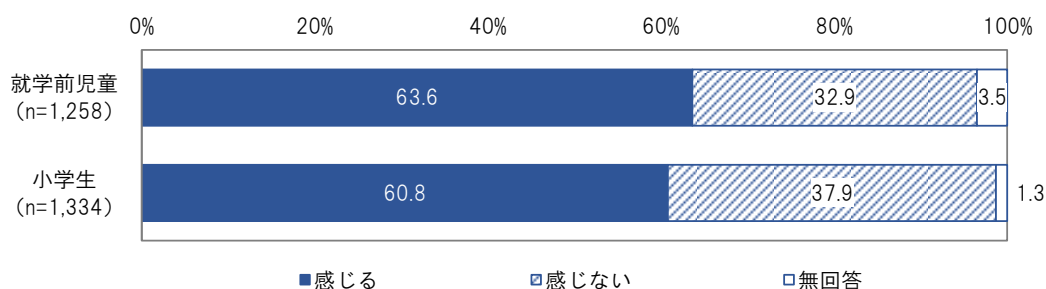
○就学前児童では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」や「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」、「子育てによる心身の疲れが大きいこと」、「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」などで小学生に比べて高く、小学生では「子育てにかかる出費がかさむこと」や「配偶者と子育てに関して意見が合わないこと」などで就学前児童に比べてやや高くなっている。



(4) 子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるか

【就学前／問 45 単数回答、小学生／問 36 単数回答】

○子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかは、「感じる」が就学前児童で 63.6%、小学生で 60.8%と最も高くなっている。また、小学生では「感じない」が 37.9%と4割近くを占め、就学前児童に比べて高くなっている。

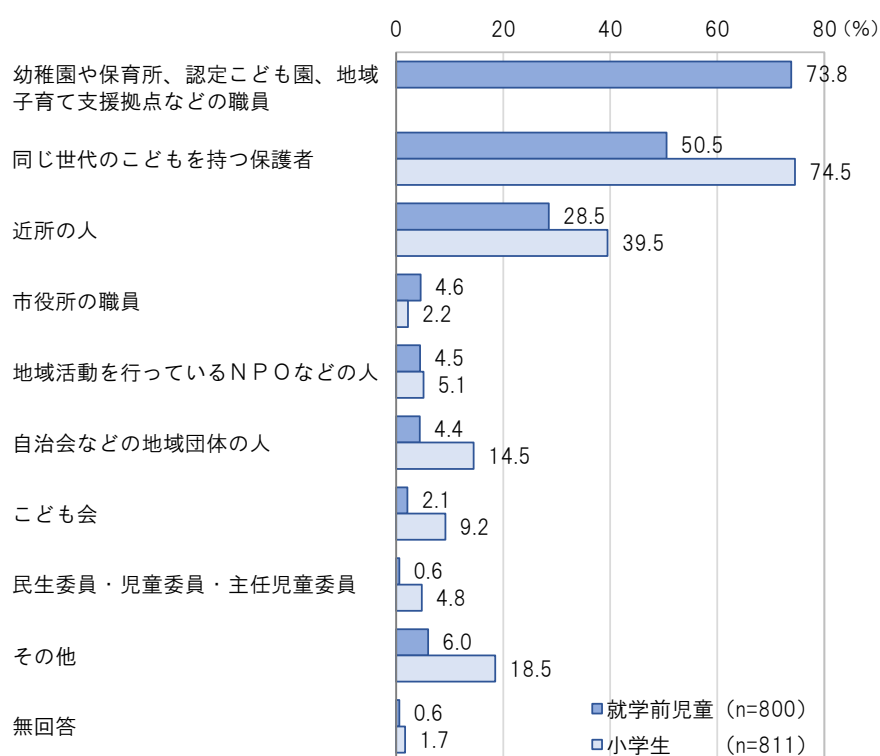


(4-1) 子育てを支えてもらっていると感じる人【就学前／問 45-1 複数回答、小学生／問 36-1 複数回答】

※(4)で「感じる」と回答した人のみ

○子育てを支えてもらっていると感じる人は、就学前児童では「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が73.8%と最も高く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」(50.5%)となっており、小学生では、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が74.5%と最も高く、次いで「近所の人」(39.5%)となっている。

○小学生では「同じ世代のこどもを持つ保護者」や「近所の人」、「自治会などの地域団体の人」、「こども会」などで就学前児童に比べて高くなっている。

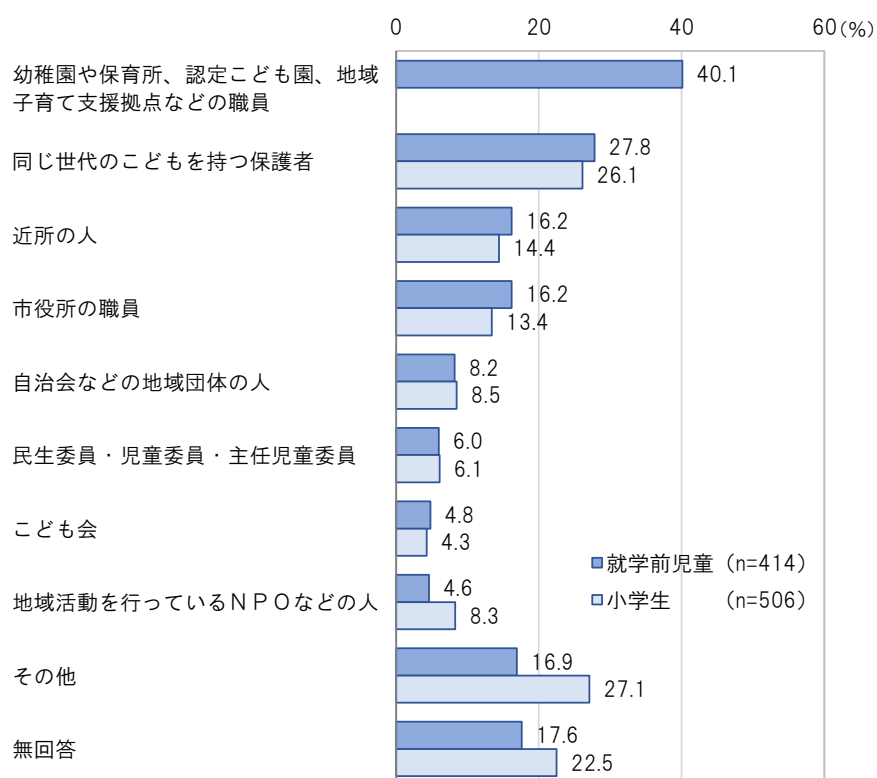


(4-2) 子育てを支えてほしいと感じる人【就学前／問 45-2 複数回答、小学生／問 36-2 複数回答】

※(4)で「感じない」と回答した人のみ

○子育てを支えてほしいと感じる人は、就学前児童では「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が40.1%と最も高く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」(27.8%)となっており、小学生では、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が26.1%と最も高く、次いで「近所の人」(14.4%)となっている。

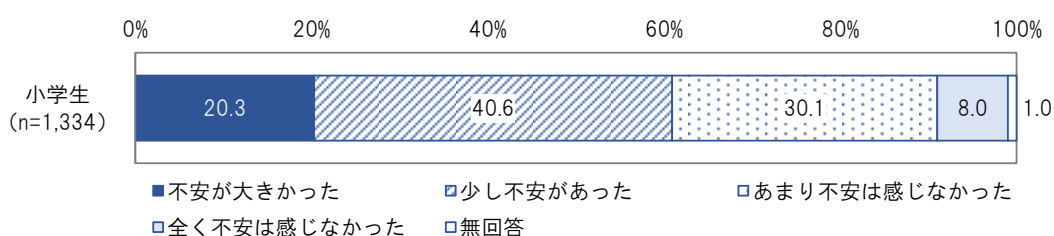
○(4-1) 支えてもらっていると感じる人と比べると、「自治会などの地域団体の人」や「民生委員・児童委員・主任児童委員」、「こども会」などの地域の団体等から支えてほしいと望む人が多い結果となっている。



（５）就学前から小学校入学にあたって不安だったこと【小学生／問 37 単数回答】

○就学前から小学校入学にあたって不安だったことは、「少し不安があった」が 40.6%と約４割を占めて最も高く、「不安が大きかった」(20.3%)と合わせると、『不安があった』が約６割を占めている。

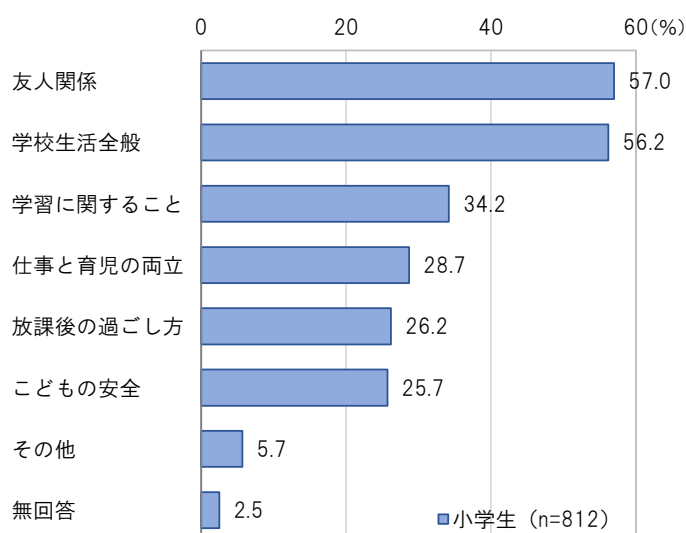
○「あまり不安は感じなかった」(30.1%)と「全く不安は感じなかった」(8.0%)を合わせた『不安は感じなかった』は４割未満となっている。



（５-１）不安に感じていた内容【小学生／問 37-1 複数回答】

※（５）で「不安が大きかった」または「少し不安があった」と回答した人のみ

○不安に感じていた内容は、「友人関係」が 57.0%、「学校生活全般」が 56.2%と、ともに半数を超えて高く、次いで「学習に関すること」(34.2%)、「仕事と育児の両立」(28.7%)となっている。

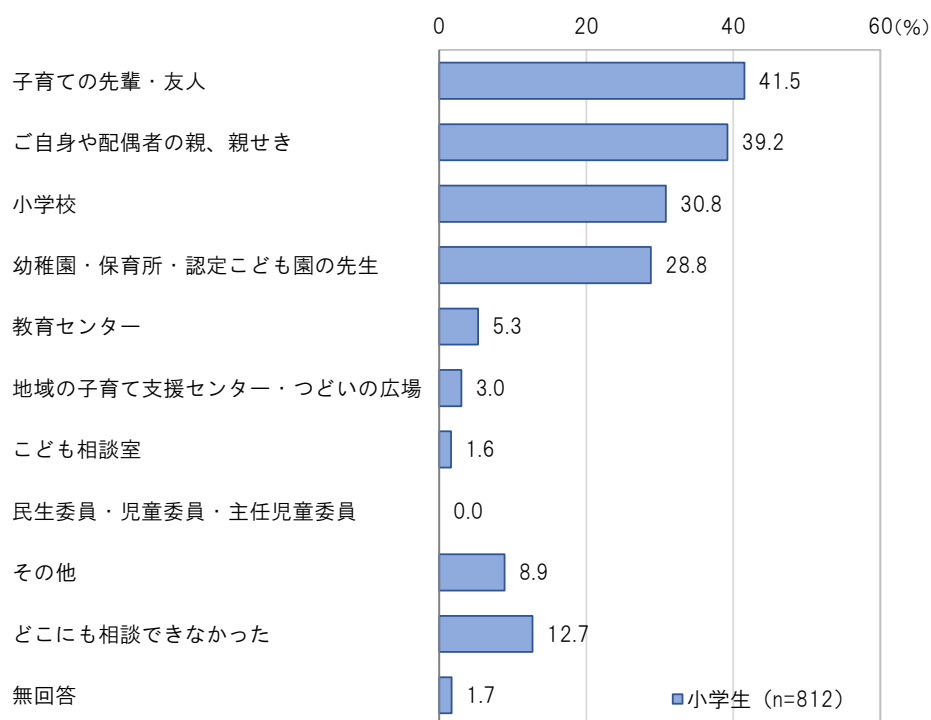


（５-２）不安を感じて相談した人・場所【小学生／問 37-2 複数回答】

※（５）で「不安が大きかった」または「少し不安があった」と回答した人のみ

○不安を感じて相談した人・場所は、「子育ての先輩・友人」が 41.5%と 4 割を超えて最も高く、次いで「自身や配偶者の親、親せき」(39.2%)、「小学校」(30.8%)、「幼稚園・保育所・認定こども園の先生」(28.8%) となっている。

○一方で、「どこにも相談できなかった」が 12.7%と 1 割を超えている。



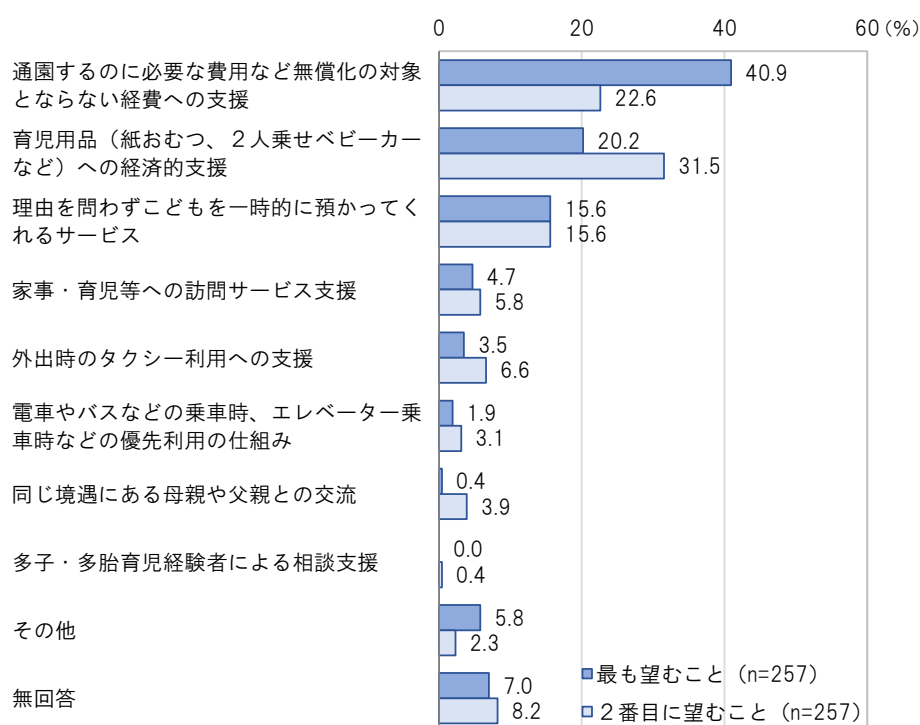
(6) 多子世帯の子育ての負担軽減のための施策

【就学前／問 46・問 46-1 複数回答、小学生／問 38・問 38-1 複数回答】

※1(4)でこどもが3人以上いる、もしくは1(4-1)で「はい」と回答した人のみ

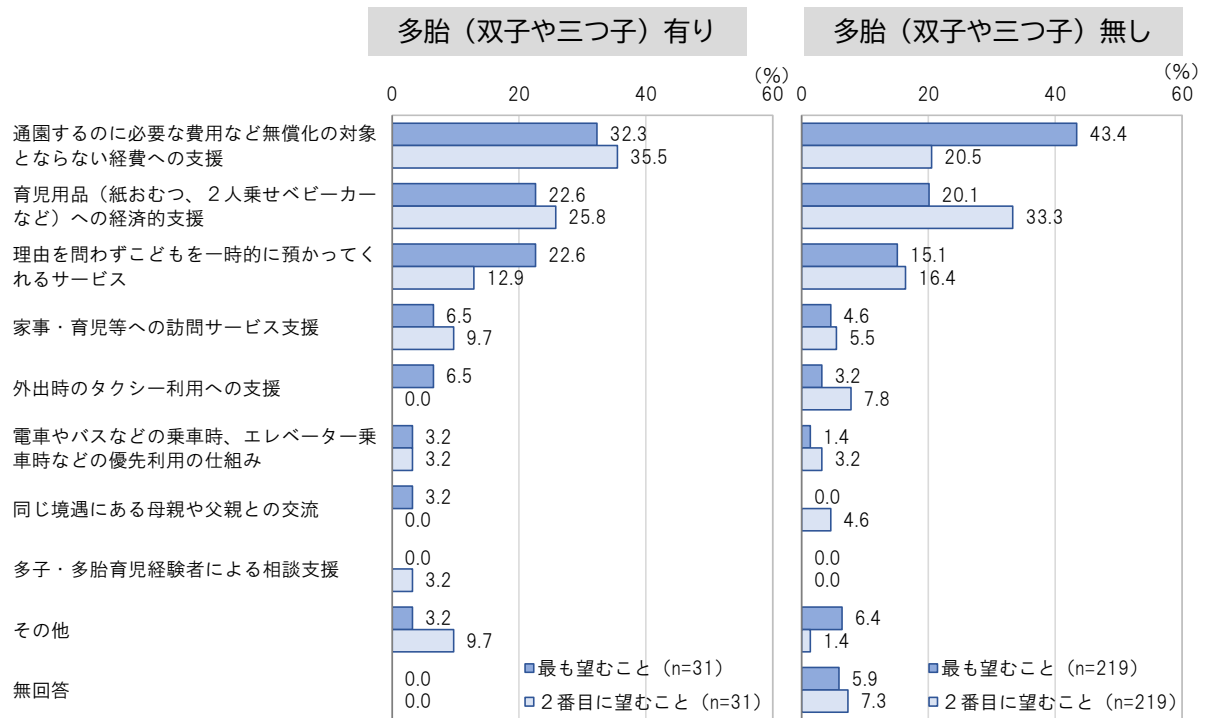
① 就学前児童

○就学前児童の多子世帯の子育ての負担軽減のための施策は、最も望むこととしては「通園するのに必要な費用など無償化の対象とならない経費への支援」が40.9%と約4割を占めて最も高く、次いで「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」（20.2%）、「理由を問わずこどもを一時的に預かってくれるサービス」（15.6%）となっており、経済的支援への要望が高い結果となっている。



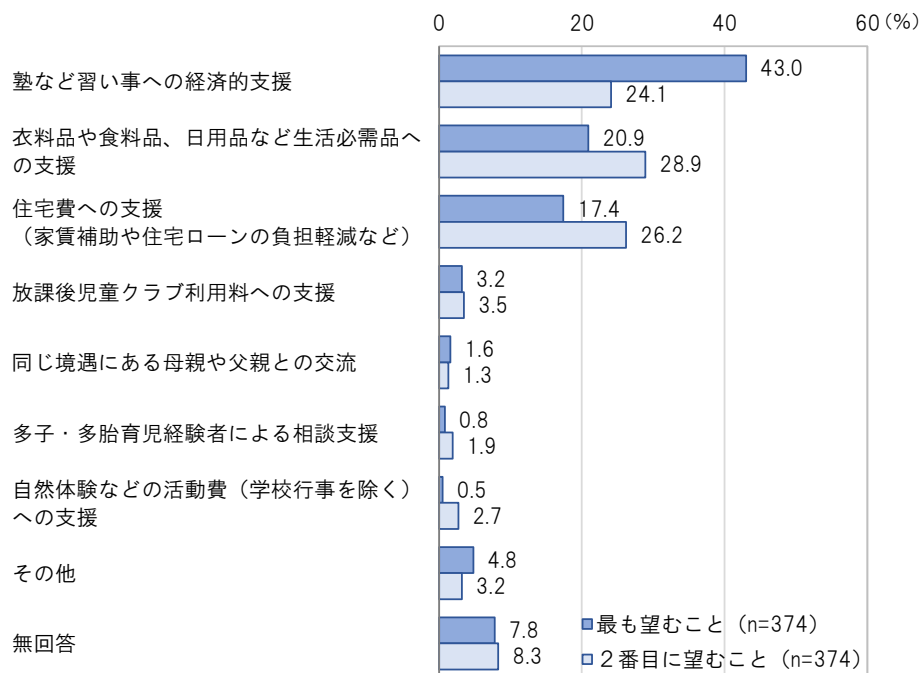
《多胎（双子や三つ子）の有無比較》

○多胎（双子や三つ子）の有無別にみると、多胎有りの多子世帯では、多胎無しの多子世帯に比べて、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」を望む人が多くなっている。



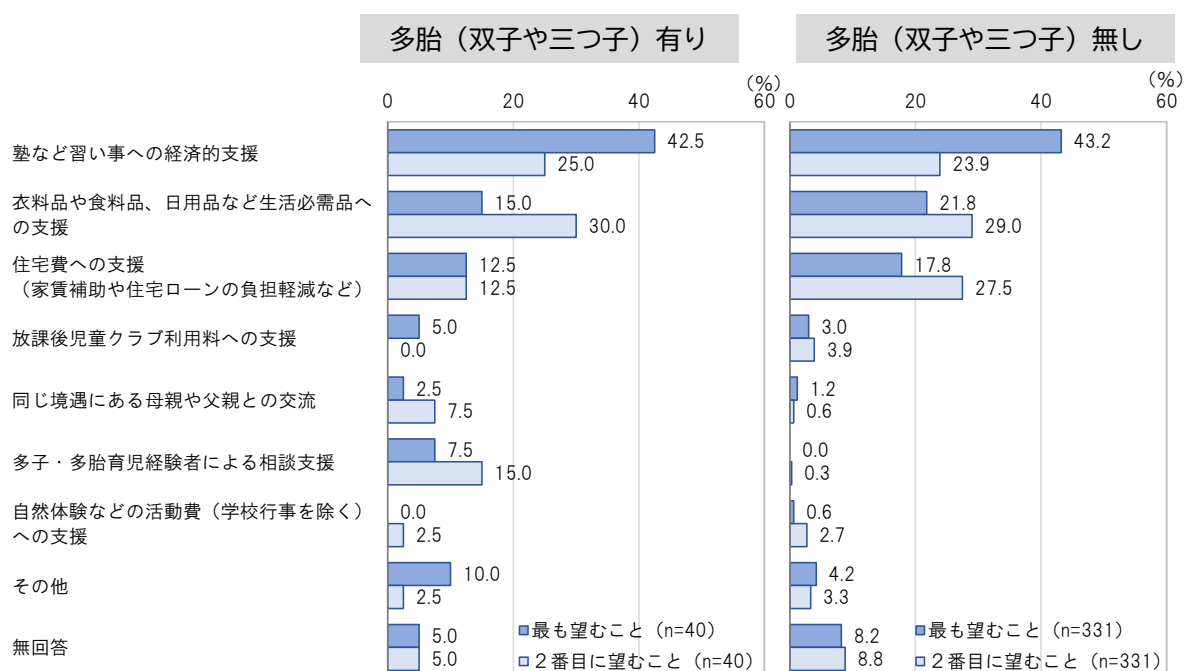
② 小学生

○小学生の多子世帯の子育ての負担軽減のための施策は、最も望むこととしては「塾など習い事への経済的支援」が43.0%と4割を超えて最も高く、次いで「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」(20.9%)、「住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)」(17.4%)となっており、教育費や生活費などの経済的支援への要望が高い結果となっている。



《多胎(双子や三つ子)の有無比較》

○多胎(双子や三つ子)の有無別にみると、多胎有りの多子世帯では、多胎無しの多子世帯に比べて、「同じ境遇にある母親や父親との交流」や「多子・多胎育児経験者による相談支援」を望む人が多くなっている。



16. 自由意見

(1) 就学前児童

664 件（記入率：52.8%） 回答総数 1,037 件

意見の要点等	
① 施設の整備について（344 件）	
	小さい子が遊べる屋内フリースペースがもっとあれば良かったと思う。
	公園が不衛生で、もっと管理してほしい。
	室内で遊べる無料の施設があったら嬉しい。
	ボール使用可の公園を増やしてほしい。
	公園に駐車場を併設してほしい。
② 生活環境について（320 件）	
	駅の近くは色々と整備されているが、駅から離れた場所は公園の遊具も古く危なく感じる。
	道路も横断歩道がないけれど、誰もが渡る場所などがある。事故が起きる前に整備してほしい。
	双子ベビーカーで買い物に行くのですが、歩道がない道が多く、少し怖い。
	道幅が狭い場所が多く、自転車も歩道をかなりのスピードで行き交うので、こどもが歩くにはとても危ない。
	とにかく道路が混む(渋滞が酷い)ので、改善は難しいと思うが、何とかしてほしい。
③ 子育て支援について（91 件）	
	こどもを産みたいが、こどもが育つ未来が明るいものとは思えない。
	つどいの広場や一時預かりの場に偏りがあると思う(市内の中心部に集りすぎ)。夏休みの長期休暇中に親が仕事したい時に、こどもを預ってくれる所が増えてほしい。
	茨木市がやっている子育ての取組みはたくさんあると思うが、情報にたどりつけない。
	子育てしながらでも働きやすい環境にしてほしい。
	共働き家庭への支援がとても脆弱。
④ 保育について（75 件）	
	保育園待機児童の解消、保育園の設備更新予算の増額。
	保育園を増やす。幼稚園の安い預かり保育料を値上げすべき。
	育休中でも一時利用できる保育施設が充実すると、母親の心身の負担が軽減されると思う。
	緊急時などに小一時間程でも、予約なしで安心して預かってもらえる場所がほしい。
	保育園や保育士さんの質の確保に向けた取組みをさらに充実させていただきたい。
⑤ 防犯について（46 件）	
	夜になると暗くなる道が多々あるので街灯をもっとつけてほしい。
	公園に防犯カメラを付けてほしい。
	保護者やボランティアの方にのみ見守りを頼るのではなく、警察との連携や街灯、防犯カメラの増設をしてほしい。
	保育園や小学校の周りの柵が場所によって低く、大人なら簡単に飛び越えて侵入できそうなので、防犯上よくないと思う。

⑥ 保健・医療について (43 件)	
	近くに休日・夜間に診てもらえる病院がほしい。
	夜間診療について、サポートを充実させてほしい。サポートダイヤルは親切ではないし、意味を感じない。
	こどもの医療費負担は、もっと軽減しても良いと思う。
	インフルエンザ予防接種の助成金の継続、経済的サポートをお願いしたい。
	小児科は近くにあるが、産婦人科がないので子育てには良いが、出産には優しくない。
⑦ 幼稚園・学校について (33 件)	
	幼稚園や小中学校の教室に防犯カメラを設置してほしい。イジメ防止にもつながる。
	小学校の給食を無料にしてほしい。
	彩都に幼稚園をつくることを検討していただきたい。
	幼稚園（公立）が減ってきているのが気になる。経済的に、私立へは行かせにくいので公立の幼稚園やこども園の定員が増やされることを願う。
⑧ 学童について (27 件)	
	4 年生以降の居場所確保に苦慮した。拡大予定とは聞いているが、自分の子はもう大丈夫と親が思えるまで安心して預けられる（過ごせる）居場所があればと思う。
	学童は、働いているすべての人が利用できるようにするべき。
	高学年でも学童保育が使用できるようにしてほしい。特に夏休み。
	学童保育の条件緩和。16 時までや 15 時までの勤務の人でも預けられたり、長期休みも希望すれば預けられるようにしてほしい。
⑨ 経済的支援について (16 件)	
	経済的な負担を本当に減らしてほしい。経済的な支援が少ないので、3 人目がほしいけど悩んでいる。本当によろしくをお願いします。
	所得制限などなく、平等にこどもが恩恵を受けられるよう金銭面での支援をしてほしい。
	低所得者以外にもある程度の経済支援や物資支援がほしい。
⑩ アンケートについて (12 件)	
	アンケートの質問量が多い。もう少し簡略化してほしい。
	アンケートの回答を、政策立案や推進に役立ててほしい。
⑪ その他 (31 件)	
	住宅に関する支援やサービスの強化。
	保育園や学校からの書類送付の電子化、教科書等の電子化。
	親同士がもっと気軽に何でも話せる場所(機会)を作してほしい。

(2) 小学生

531 件（記入率：39.8%） 回答総数 764 件

意見の要点等	
① 施設の整備について（125 件）	
	おにクルができて、こどもたちが自由に使える、行ける場所ができて非常にありがたい。これから、こどもたちが参加しやすいイベントなど期待する。
	自習スペース（宿題する場）の提供。
	ボール遊びができる公園がない。スポーツをしている小学生や中学生が自主練習をする場所がない。
	児童館があれば良いと思う。こどもが安心・安全に集まれる場所がほしい。雨の日なども室内で遊べるし、こども達が気軽に集まって遊べる場所ができればいいと思う。
② 経済的支援について（95 件）	
	こども手当の拡充。
	塾（習い事）助成をしてほしい。
	低所得者などの支援はすごくあるのに、多子には少ないと感じる。
	ひとり親手当など、収入上限を撤廃してほしい。
	1 世帯当たりの支援でなく、こどもの人数での支援が助かる。
③ 小学校について（84 件）	
	学校での勉強時間が少ないと感じる。茨木市全体で学力アップするような支援が必要。
	生徒 1 人に 1 台タブレットが支給されたが、小学校によって使用頻度に格差がある。
	小学校の 1 クラス当たりの人数を減らす。30 人学級。
	学校の先生方のレベルUP を。コミュニケーション能力に欠けている人や、明らかに流れ作業のような対応をされ、相談する気にもなれない人が多い。
	小学校の校庭を放課後に開放してほしい。
	P T A 活動の軽減。
④ 学童保育について（82 件）	
	学童保育は小学 4 年生以降も必要に応じて通えるとありがたい。
	長期休暇中の学童保育を小 3 まででなく小 6 まで行ってほしい。
	長期休み中の学童に給食があればうれしい。
	学童保育室は 19 時までなので通勤時間まで考えて迎えに行けないと仕事を辞めるか転職するしかない。
	学童等での小学校開始前の預かりがあると助かる。
	長期休暇中の学童は、朝のスタートがもう少し早いと良い。
⑤ 保健・医療について（64 件）	
	病児の託児を単発的に幼稚園児・小中学生でも受け入れてくれる施設があればと思う。
	市内の中心部に、こどもの夜間緊急の病院を作してほしい
	こどもの医療費を無料にしてほしい。
	障害児の相談がしづらい。

⑥ 生活環境について (43 件)	
	ポイ捨てや、歩きたばこを取り締まったり、看板を設置してほしい。
	道路の整備をしてほしい。道の狭いところに自転車専用レーンを作ったりしているが、実際こどもを自転車に乗せて通れるものではなし、かなり危ないので歩道を走るしかない。
	ドライバーへの教育と、一方通行や時間通行止めなど、事故からこどもを守る施策を期待する。
	公園を危なくないように柵があって広々とボール遊びができるようにしてほしい。
	交通安全面での対策をしていただき、大人がお手本となるようなまちづくりができればと思う。
⑦ 保育について (36 件)	
	希望する保育園に入れない。こどもを産んでも育てるために働かないといけないのに入れないのは矛盾している。こどもが多いほど加点してほしい。
	保育料が第1子が卒園したら、第2子は全額かかることに納得できない。
	祝日、お正月、年末、GWなど、仕事が休めない時のための保育などの環境があれば良いと思う。
	ひとり親で身内も誰もいない中、色々な理由から夜勤の仕事をしたい時に24時間保育の施設がないのが本当に悔やまれる。
⑧ 中学校について (31 件)	
	教職員を増やしたり、部活動を外部に委託したりするなど、一人ひとりの職員の負担が減れば、一人のこどもに対応できる時間も増やせるのではないのかと思う。
	中学校の給食、クラブ活動など早く体制を整えてほしい。
	中学の自転車通学、ヘルメットさせるべき。
	中学校も理解度に応じたクラス分けで授業した方がよいのではと思う。
⑨ 地域の子育て支援について (24 件)	
	地域活動やこども会等に参加すると必ず親も参加か協力を求められるので、負担に感じる。
	P T Aの参加が負担になる方が多い。
	共働きが増えているので、「こどもは地域で育てる」という目線で考えてもらえたらありがたい。
⑩ 防犯について (16 件)	
	不審者も多いので見守りの施設があるといい。
	学校からの不審者情報が多くて不安。校区の通学路範囲内の安全確保を強く望む。
	登下校の見守りの方がもっと増えるとうれしい。
⑪ アンケートについて (12 件)	
	質問量が多い。
⑫ その他 (152 件)	
	こどもワークショップ、体験活動等の充実。
	こどもが通えるようなスポーツ教室をしてほしい。
	ひとり親世帯への勉強等をサポートする場所がほしい。
	気軽にできる、電話相談、WEB 相談などあれば利用しやすい

Ⅲ 調査結果からみえてきた今後の課題

1. 仕事と子育ての両立支援

母親の就労状況をみると、フルタイムで就労している母親の割合が増加しており、就労形態での家庭類型を分類すると、「フルタイム×フルタイム」または「フルタイム×パート」の共働き家庭が7割程度を占めており、前回調査と比較しても共働き家庭が増加している傾向がみられる。また、パート就労の母親のフルタイムへの転換希望が4割程度を占め、現在就労していない母親においては、就学前児童では約4人に1人、小学生児童では3人に1人以上が「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」と回答しており、今後も共働き家庭が増加していくことが推測される。

育児休業の取得率をみると、母親では「育児休業を取った、あるいは、今取っている」割合は59.6%、父親は16.0%と、前々回調査・前回調査と比較すると大きく増加しているものの、父親の取得率は低い傾向となっている。育児休業を取得しなかった理由は、父親では「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入源となり、経済的に苦しくなる」などが高く、子育てと仕事の両立支援に対する職場の理解が必ずしも十分でないなど、育児休業を取得するための職場環境が整っていない状況がうかがえる。企業・事業所における仕事と子育ての両立支援に対する理解の一層の促進が必要である。

また、育児休業を取った後、職場に復帰した人では、希望の復帰時期より早く復帰した人が母親では約半数、父親では3割以上となっている。その理由としては、母親では「保育所の入所のタイミングに合わせるため」、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が高くなっている。現在、教育・保育施設やサービスを利用していない理由として「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」が〔ひとり親家庭〕や〔フルタイム×フルタイム〕家庭で多いことから、希望した時期に入所できるよう就学前の教育・保育施設やサービスの充実や休業・求職中における柔軟な対応に努めることが必要である。

子育てを楽しんでいる人の子育て支援策として有効と感じている支援・対策は「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」、子育てをつらいと感じている人の子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策においても「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が就学前児童・小学生ともに最も高くなっている。その他、市の取り組みに関する満足度においても、就学前児童を対象とした項目の中では、仕事と子育ての両立ができる職場環境や保育サービスでの満足点が最も低くなっており、子育てを行う保護者にとって仕事と子育ての両立支援が最も望まれている結果となっている。

仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは、就学前児童では「こどもや自分が病気等をしたときにこどもをみてくれる人がいないこと」や「こどもを預かってくれる学童保育などがみつからないこと」などの、こどもの預かり先のことでの課題が高くなっている。学童保育においては、「保護者が働いている」ことを理由に利用する人が多く、特に小学校低学年での利用に対するニーズが高いことから、共働き家庭の増加の背景を踏まえると今後も一層の利用ニーズの高まりが見込まれる。就学前から就学期に至る切れ目のない保育の提供体制の充実が必要である。

2. 理想とするこどもの数が持てるための対策の充実

理想とするこどもの人数が現在のこどもの人数より多い人が約半数を占めており、そのうちこどもをもう1人以上持ちたいと「思わない」人が3割以上を占めている。持ちたいと思うために必要な環境では、「収入が増えれば持ちたい」が最も高く、経済的な負担がネックになっている人が多いことがうかがえる。

子育てに関して日常悩んでいること・気になることで、自身に関することでは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が上位項目となっており、多子世帯において子育ての負担軽減のために必要な施策では、就学前児童では「通園するのに必要な費用など無償化の対象とならない経費への支援」や「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」、小学生では「塾など習い事への経済的支援」や「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」が高く、こどもを生み育てるにあたっては依然として経済的な面での支援が課題となっている。

また、市に充実してほしい子育て支援サービスは、「小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する」(61.5%)、「扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」(58.5%)、「保育所や学童保育などこどもを預ける施設を増やす」(52.8%)、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」(52.1%)などが上位項目となっており、経済的援助の拡充に合わせ、仕事と子育ての両立を支援する各種サービスの拡充や医療機関・遊び場等の環境整備など、子育て支援に関してソフト面・ハード面など多岐にわたる支援や環境整備が必要である。

3. 地域での子育て支援サービスの充実

就学前児童で平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用しているこどもが病気やけがなどをしたことがあった家庭では、父親や母親が休んで対応する場合が多く、そのうち約3人に1人以上が病児保育施設を利用しなかったと回答している。利用しなかった理由では「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」「病気のこどもは家族がみるべきである」といった意見もあるが、病児保育を利用する場合に望ましいサービスでは、「幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設した施設でこどもをみてるサービス」や「小児科に併設した施設でこどもをみてるサービス」等を望む人が多く、安心してこどもを預けられる施設を確保し、子育てと仕事の両立ができる支援の充実が必要である。

保護者の通院や不定期な仕事などを理由にこどもを不定期に預かるサービスは「利用していない」人が大半を占めるものの、保育所やこども支援センターの一時預かりの利用希望のある人が半数近くを占め、「買物、こどもたちや自身の習い事、リフレッシュ」を目的とした利用希望が高くなっている。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望においては「利用する必要はない」が最も高くなっているものの、「保護者や家族の病気」や「保護者や家族の育児疲れ・不安」などを目的に利用を望む人も一定数みられる。核家族化や共働き家庭の増加が進む中で、家庭や地域での子育ての協力者が少ないことが推測されることから、今後の就労ニーズに対応していくためには、一時預かりに対する提供体制の充実を図ることが必要である。

一方、地域子育て支援拠点事業については、利用状況は2割未満となっているものの、「利用していないが、今後利用したい」が約2割、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と合わせた『利用したい』人は3割近くとなっていることから、利用ニーズが高いことがうかがえる。利用希望者が利用したいと思うサービスは「常設の子育て親子の交流の場の提供」、「子育てに関する相談・援助」、「地域の子育て関連情報の提供」などが上位項目となっており、交流機能や情報提供を充実させるなど、保護者の子育てに関する不安や悩みの軽減につなげる必要がある。

4. 相談・情報提供体制の充実

子育てや教育について気軽に相談できる人は就学前児童・小学生とともに9割程度が「いる／ある」と回答しており、その相談先では「配偶者（パートナー）」「自身や配偶者（パートナー）の親、親せき、（同居している）家族」「友人や知人」が上位を占め、関係機関等への相談は少ない結果となっている。また、「いない／ない」が就学前児童で7.0%、小学生で8.7%と、ともに1割近くとなっている。

本市で実施をしている各種子育て支援サービスについては、認知度が高い事業もあるものの、大半の事業で「知らない」が「知っている」を上回っている。また、利用状況では大半の事業で1割未満の利用率となっているのに対し、今後の利用意向は概ね2割以上を占め、認知度と比べても高い事業もみられることから、各種サービスについて情報が届いていない人がいることがうかがえる。相談したいとき、最初にどこに相談すればよいのか窓口の明確化を図ることのほか、各種事業の紹介や利用の仕方を含め、必要な人に必要な情報がとどくよう、より一層の広報が必要である。

5. 子育て家庭の孤立を防ぐ支援策の充実

近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとしたこどもの話や世間話をする人がいる保護者の割合は、就学前児童では6割近く、小学生では7割近くとなり、前回調査と比較すると減少している。

また、日頃こどもをみてくれる人が「いずれもない」人は2割程度を占めており、前回調査と比較すると増加している。

子育てが地域の人や社会に支えられていると感じる割合は就学前児童・小学生ともに6割程度となっており、前回調査と比較すると減少している。地域とのつながりの希薄化や核家族化、少子化などの背景もあり、孤立している子育て家庭が一定数みられる。

子育て家庭の孤立は、育児不安や困難などの問題だけでなく、各種支援の必要性の気づきの遅れや虐待につながるおそれもあることから、子育てのつらさを軽減するためにも、地域で子育て家庭を見守り、支えることができるコミュニティづくりが必要である。

IV 資料（調査票）

1. 就学前児童保護者

茨木市 次世代育成支援に関するニーズ調査
（就学前児童の保護者）

日頃より、本市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
 茨木市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした「茨木市次世代育成支援行動計画」を策定し、子どもを安心して生み育てられる環境づくりを推進しています。

また、この計画と、平成27(2015)年度から始まった「子ども・子育て支援法」に基づき、保育所や幼稚園、認定こども園などの教育・保育施設をはじめ、つどいの広場等の地域子ども・子育て支援事業の整備・充実など、こどもの育ちや子育て家庭を支援するための様々な施策を展開しています。

現在の「茨木市次世代育成支援行動計画」が令和6(2024)年度まで終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画（第5期）」を策定することとしています。

本調査は、この新たな計画策定にあたって、市民のみなさんのことも・子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望を把握するためのものです。ご回答いただいた内容は、行動計画の策定のみに利用させていただきますので、他の目的に利用することはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年12月 茨木市

【ご協力のお願いとお約束】

1 この調査は、インターネットでの回答（回答にかかる通信費はご自身の負担になります）も可能です。
 下記のURLもしくは右の二次元コードからアクセスしていただき、アンケートフォームに直接回答を入力してください。
※回答にはWEB上回答用のID【librk50001m】の入力が必要です。
 <URL> <https://src.webcas.net/form/pub/src2/272116j>
 （回答途中での一時保存も可能です。なお保存期間は1週間となります。）

2 回答はあて名のお子さんのことについてお答えください。お名前は無記入でお願いします。

3 この調査は、令和5年12月1日を基準日として記入してください。

4 ご回答は、回答欄のあてはまる番号を○で囲んでください。ご回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、（ ）内に具体的に記入してください。

5 ○をつける数は、設問ごとに示してあります。「○は1つ」「○は3つまで」「あてはまるものすべてに○」などの○をつける数にご注意ください。

ご記入いただいた調査票は、令和5年12月25日(月)までに、同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご返送くださるようお願いいたします。



※ ※ ※ 調査についてのお問い合わせ ※ ※ ※
茨木市 ども育成部 ども政策課 電話：072-620-1625
※受付時間：午前8時45分～午後5時15分(土・日・祝日除く)

ご家族の構成や保護者の働いている状況などについてお聞きます

問1 お住まいの地域の小学校区名を記入してください。
 () 小学校区
 →小学校区がわからない場合は、町名を記入してください。()

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
 封筒のあて名のお子さんからみられた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月日について、「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、()内に数字を入れてください。

平成・令和・西暦 () 年 () 月 生 日

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）を記入してください。

() 人 末子の年齢 () 歳

問4-1 多胎（双子や三つ子）のお子さんはいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問5 希望として子どもを何人持ちたいですか。

() 人

【希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方に】

問6 現在の家庭・教育環境等においても、もう1人以上の子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

1 持ちたいと思う ⇒ 問7へ	2 持ちたいとは思わない ⇒ 問6-1へ
-----------------	----------------------

【問6で「2 持ちたいとは思わない」を選ばれた方に】

問6-1 どのような環境を整えればもう1人以上の子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

1 保育所など子どもを預かってくれる環境を整えたい	2 収入が増えれば持ちたい	3 働くところが見つかれば持ちたい
4 子どもを教育してくれる施設が充実していれば持ちたい	5 家族の理解（パートナーの子育てへの積極的参加など）が進めば持ちたい	6 その他 ()

すべての方にお聞きます。

問7 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。

また、近所に祖父母が住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

※選択肢は封筒のあて名のお子さんから見えた関係です。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 父と母と一緒に住んでいる | 2 父と一緒に住んでいる (父子家庭) |
| 3 母と一緒に住んでいる (母子家庭) | 4 祖父と一緒に住んでいる |
| 5 祖母と一緒に住んでいる | 6 祖父が近所に住んでいる |
| 7 祖母が近所に住んでいる | 8 その他 () |

問8 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主にやっている方はどなたですか。(○は1つ)

※選択肢は封筒のあて名のお子さんから見えた関係です。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 父とともに | 2 主に母親 |
| 3 主に父親 | 4 主に祖父母 |
| 5 その他 () | |

問9 就学前の子育てについて、どのような子育てを希望しますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内には具体的な数字を入れてください。

なお、「自宅で子育て」には、産後休暇を含みません。

- | | |
|--|--|
| 1 自宅で子育てをしたい | |
| 2 (歳) まで自宅で子育てをした後、公立幼稚園※1に通わせたい | |
| 3 (歳) まで自宅で子育てをした後、私立幼稚園に通わせたい | |
| 4 (歳) まで自宅で子育てをした後、公立幼稚園 (預かり保育※2を利用) に通わせたい | |
| 5 (歳) まで自宅で子育てをした後、私立幼稚園 (預かり保育を利用) に通わせたい | |
| 6 (歳) まで自宅で子育てをした後、保育所※3に通わせたい | |
| 7 (歳) まで自宅で子育てをした後、認定こども園※4に通わせたい | |
| 8 産後休暇終了後、すぐに保育所に通わせたい | |
| 9 産後休暇終了後、すぐに認定こども園に通わせたい | |
| 10 その他 () | |

※1「幼稚園」…小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う施設

※2「預かり保育」…教育時間前後に、こどもを預かってもらうサービス

※3「保育所」…保護者が働いていたり病気等のため、家庭でお子さんを保育できないときに、保護者に代わって保育する福祉施設

※4「認定こども園」…保育所機能と幼稚園機能の両方を一体的に提供するとともに、地域の子育て家庭向けの支援事業を実施する施設

問10 日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事のあるときには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 3 日常的にこどもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 4 緊急のときや用事があるときにこどもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 5 いずれもない |

問11 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 いる/ある ⇒ 問11-1ハ | 2 いない/ない ⇒ 問12ハ |
|------------------|-----------------|

【問11で「1 いる/ある」と回答した方に】

問11-1 気軽に相談できる人や場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 配偶者・パートナー |
| 2 ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族 |
| 3 友人や知人 |
| 4 近所の人 |
| 5 子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体 |
| 6 こどもの健診などを行ってくれるこども健康センター |
| 7 幼稚園の先生 |
| 8 保育所の先生 |
| 9 認定こども園の先生 |
| 10 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 11 かかりつけの医師 |
| 12 市役所の子育て支援担当の窓口 |
| 13 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 14 キンダーカウンセラー (子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等) |
| 15 スマイルサポーター (私立保育園・私立認定こども園における知事認定を受けた地域貢献支援員) |
| 16 その他 () |

すべての方にお聞きます。

問12 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。

自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。(○は1つ)

【父子家庭の場合は記入不要です。⇒ 問13ハ】

- | | |
|--|----------|
| 1 フルタイム※で働いている | ⇒ 問12-1ハ |
| 2 フルタイムで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中) | |
| 3 パート・アルバイト※などで働いている | |
| 4 パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中) | |
| 5 以前は働いていたが、今は働いていない | ⇒ 問13ハ |
| 6 これまで働いたことがない | |

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の勤務
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の勤務

【問2-1・問2-2は、問2で「1」～「4」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に】

問2-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。
() 内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンを
お答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

問2-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず (18:00) のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 (:)	帰宅時間 (:)
--------------	------------

すべての方にお聞きます。

問13 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についてお答えください。

自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。(○は1つ)

【母子家庭の場合は記入不要です】

1 フルタイム※で働いている	⇒ 問13-1へ
2 フルタイムで働いているが、今は休んでいる (育児・介護休業中)	
3 パート・アルバイト※などで働いている	
4 パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (育児・介護休業中)	
5 以前は働いていたが、今は働いていない	⇒ 問14へ
6 これまで働いたことがない	

※「フルタイム」…1週間に8時間程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

【問3-1・問3-2は、問3で「1」～「4」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に】

問3-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。
() 内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンを
お答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

問3-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず (18:00) のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 (:)	帰宅時間 (:)
--------------	------------

【母親または父親が、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に】

問14 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親

1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4 パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4 パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 次のページへ

【母親または父親が、仕事をお持ちでない方に】

問15 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内に具体的な数字を入れてください。

(1) 母親

1 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
2 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったころに働きたい
3 すぐにも、もしくは1年以内に働きたい →希望する働き方
ア フルタイム
イ パート・アルバイトなど →1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(2) 父親

1 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
2 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったころに働きたい
3 すぐにも、もしくは1年以内に働きたい →希望する働き方
ア フルタイム
イ パート・アルバイトなど →1週当たり () 日 1日当たり () 時間

【問15で「2」または「3」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方に】

問15-1 働きたい理由は何か。(あてはまるものをすべてに○)

1 働かないと、暮らしていけなくなるため
2 将来への備えのため (こどもの教育費、老後の備えなど)
3 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4 人間関係を広げたいため
5 その他 ()

封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについてお聞きします

問 16 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設（問 16-2 に記載の施設）やサービスを「定期的に」利用されていますか。（○は1つ）

1 利用している ⇒ 問16-2へ 2 利用していない ⇒ 問16-1へ

【問 16 で「2 利用していない」を選ばれた方に】

問 16-1 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※「8」を選択した方は（ ）内に具体的な数字を入れてください。

- 1 ご自身や配偶者がこどもの面倒をみているため、利用する必要がない
- 2 ご自身や配偶者の親、親せきがみている
- 3 近所の人や友人・知人がみている
- 4 利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で利用できない
- 6 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所、認定こども園がない
- 8 こどもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
- 9 その他（ ）

【問 16-2 ～問 16-6 は、問 16 で「1 利用している」を選ばれた方に】

問 16-2 封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。

※年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に「定期的に」利用されているサービスについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
- 2 幼稚園・幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう）
- 3 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）
- 4 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）
- 5 小規模保育事業所（主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの）
- 6 家庭的保育（保育士の自宅などで子どもを預かるサービス）
- 7 事業所内保育事業所（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
- 8 待機児童保育室（あゆみ・みらい）や企業主導型保育事業所
- 9 その他の認可外の保育施設
- 10 居宅訪問型保育（ベビージッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）
- 11 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場（親子が集まって過ごしたり、相談したり情報提供を受けたりする場「つどいの広場」「地域子育て支援センター」など）
- 12 ファミリー・サポート・センター（センターに登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス）
- 13 その他（ ）

【問 16-3 ～問 16-6 は、問 16 で「1 利用している」を選ばれた方に】

問 16-3 保育の必要性の有無や保育の必要量について認定（「教育・保育給付認定」）を受けていますか。（○は1つ）

- 1 1号認定※1〔教育標準時間認定〕
- 2 2号認定※2〔保育標準時間認定（1日あたり最長1時間）〕
- 3 2号認定〔保育短時間認定（1日あたり最長8時間）〕
- 4 3号認定※3〔保育標準時間認定（1日あたり最長1時間）〕
- 5 3号認定〔保育短時間認定（1日あたり最長8時間）〕
- 6 認定を受けていない

※1「1号認定」…お子さんの年齢が3歳～5歳までで、保育を必要としない方が対象です。

※2「2号認定」…お子さんの年齢が3歳～5歳までで、保育を必要とする方が対象です。

※3「3号認定」…お子さんの年齢が3歳未満で、保育を必要とする方が対象です。

問16-4 現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについてもっと多いパターンとして、1週間に何日利用し、1日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

（ ）内に具体的な数字を入れてください。

※時間は、必ず（9：00～18：00）のように24時間制でお答えください。

（1）現在

1 週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）～（ ）

（2）希望

1 週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）～（ ）

問16-5 現在、利用されている施設などはどこにありますか。（○は1つ）

※「2」を選択された方は、その市町村名についても（ ）内に記入してください。

- 1 茨木市内（自宅を訪問するサービスも含む）
- 2 他の市町村（ ）

問16-6 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 こどもの教育や発達のため
- 2 保護者が働いている
- 3 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
- 4 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
- 5 保護者に病気や障害がある
- 6 保護者が学生である
- 7 その他（ ）

封筒のあて名のお子さんが病気になることでの対応についてお聞きます
(平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園を利用している方のみ)

問17 封筒のあて名のお子さんが病気になることでの対応についてお聞きます。
この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気がけがで、幼稚園や保育所、認定こども園な
どを休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

1 あった ⇒ 問17-1ハ 2 なかった ⇒ 問18ハ

【問17で「1」があった】を選ばれた方に】

問17-1 この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などを
休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。

(あてはまるものすべてに○)

※それぞれの日数について()内に具体的な数字を入れてください。

(半日程度についても1日としてカウントしてください)

対処方法	日数 (年間)	
1 父親が仕事を休んだ	() 日	⇒ 問17-2ハ
2 母親が仕事を休んだ	() 日	
3 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日	
4 働いていない父親が母親が子どもをみた	() 日	
5 保育所や病院に併設する病気のこどものための保育施設を 利用した	() 日	
6 家事育児代行サービスを利用した	() 日	
7 ファミリー・サポート・センター※を利用した	() 日	
8 仕方なくこどもだけで留守番をさせた	() 日	
9 その他()	() 日	

※「ファミリー・サポート・センター」…センターに登録している近所の人をみてくれるサービス

【問17-1で「1」または「2」を選ばれた、こどもの病気のため仕事を休んだ方に】

問17-2 そのときに「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」と思われまし
たか。利用実態にかかわらず、希望がある場合は「1」を選択ください。(○は1つ)
また、希望がある方は()内に具体的な数字を入れてください。

なお、病気のこどものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、
利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要
です。

1 できれば病気のこどものための保育施設などを利用したかった ⇒ 年() 日
2 利用したいと思わなかった

【問17-2で「1」を選ばれた方に】

問17-3 利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われませんか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設した施設で子どもをみてくれるサービス
- 2 小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス
- 3 ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもを
みてくれるサービス
- 4 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
- 5 その他()

【問17-2で「1」を利用したかった】が実際利用しなかった方、「2」を利用したいと思わなかった」
を選ばれた方に】

問17-4 利用しなかった理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
- 2 病気のこどもは家族がみるべきである
- 3 サービスの質に不安がある
- 4 施設のある場所が不便
- 5 利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
- 6 利用料がかかる、高い
- 7 利用料がわからない
- 8 父母が仕事を休んで対応できるため
- 9 その他()
- 10 特に理由はない



平日（月曜日から金曜日）に、封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについてお聞きます

問18 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が「定期的に」利用したいと考える施設やサービスをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

なお、これらのサービスを利用するためには、一定の利用料が必要となります。

- | | |
|----|---|
| 1 | 幼稚園（通常の放課後時間だけ利用） |
| 2 | 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう） |
| 3 | 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園） |
| 4 | 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設） |
| 5 | 小規模保育事業所（主に3歳未満の子どもをおむね6～19人収める施設で、市役所が認可したもの） |
| 6 | 家庭的保育（保育士の自宅などで子どもを預かるサービス） |
| 7 | 事業所内保育事業所（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設） |
| 8 | 待機児童保育室（あゆみ・みらい）や企業主導型保育事業所 |
| 9 | その他の認可外の保育施設 |
| 10 | 居宅訪問型保育（ベビージッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス） |
| 11 | 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場（親子が集まって過ごしたり、相談したり情報提供を受けたりする場「つどいの広場」「地域子育て支援センター」など） |
| 12 | ファミリー・サポート・センター（センターに登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス） |
| 13 | その他（ |
| 14 | 特になし |

問18-1 利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。（○は1つ）

※「2」を選択された方は、その市町村名についても（ ）内に記入してください。

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 茨木市内（自宅を訪問するサービスも含む） |
| 2 | 他の市町村（ |

【問18で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3」～「12」にも○をつけた方に】

問18-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

- | | |
|---|-------|
| 1 | 希望する |
| 2 | 希望しない |

封筒のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望についてお聞きます

問19 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）（○は1つ）

なお、これらのサービスを利用するには、一定の利用料が必要となります。ただし、すでに保育所等を利用している場合は、土曜日の利用料は不要です。

※希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。

※時間は、必ず（9：00～18：00）のように24時間制でお答えください。

（1）土曜日

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 利用する必要はない |
| 2 | ほぼ毎週利用したい |
| 3 | 月に1～2回は利用したい |
- ⇒ 利用したい時間帯（ ）～（ ）

（2）日曜日・祝日

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 利用する必要はない |
| 2 | ほぼ毎週利用したい |
| 3 | 月に1～2回は利用したい |
- ⇒ 利用したい時間帯（ ）～（ ）

【問19で「2」または「3」を選ばれた方に】

問19-1 利用したい理由は何か。（それぞれあてはまるものすべてに○）

（1）土曜日

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 仕事のため |
| 2 | 平日にすまされない用事をまとめてすませるため |
| 3 | ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため |
| 4 | 息抜きのため |
| 5 | その他（ |

（2）日曜日・祝日

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 仕事のため |
| 2 | 平日にすまされない用事をまとめてすませるため |
| 3 | ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため |
| 4 | 息抜きのため |
| 5 | その他（ |

【問21で「2」を選ばれた方に】

問21-2 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。(それぞれ○は1つ)

母親		父親	
1	育児休業を取ったあと、職場に復帰した	1	育児休業を取ったあと、職場に復帰した
2	現在も育児休業中である	2	現在も育児休業中である
3	育児休業中に仕事をやめた	3	育児休業中に仕事をやめた

【問21-3・問21-4は、問21-2で「1」を選ばれた、育児休業を取ったあと職場復帰された方に】

問21-3 育児休業を取ったあと、封筒のあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内のことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。()内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

母親		父親	
実際の復帰時期	() 歳 () ヶ月	実際の復帰時期	() 歳 () ヶ月
希望の復帰時期	() 歳 () ヶ月	希望の復帰時期	() 歳 () ヶ月
1 満1歳まで		1 満1歳まで	
2 出生以後最初の4月の一斉入所時		2 出生以後最初の4月の一斉入所時	
3 出生以後2度目の4月の一斉入所時		3 出生以後2度目の4月の一斉入所時	
4 その他 ()		4 その他 ()	

※「一斉入所」…毎年4月に保育所等へ入所することをいいます。

問21-4 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては封筒のあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に具体的な数字を入れてください。

母親		父親	
() 歳 () ヶ月		() 歳 () ヶ月	

【問21-4で実際の復帰と希望が異なる方に】

問21-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何か。(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1)「希望」より早く復帰した方

母親		父親	
1	保育所などの入所に合わせたため	1	保育所などの入所に合わせたため
2	配偶者や家族の希望があったため	2	配偶者や家族の希望があったため
3	経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3	経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5	その他 ()	5	その他 ()

(2)「希望」より遅く復帰した方

母親		父親	
1	保育所などの入所に合わせたため	1	保育所などの入所に合わせたため
2	自分や子どもなどの体調が悪くなかったため	2	自分や子どもなどの体調が悪くなかったため
3	配偶者や家族の希望があったため	3	配偶者や家族の希望があったため
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	5	子どもをみてくれる人がいなかったため
6	その他 ()	6	その他 ()

すべての方にお聞きします。

問22 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日及び休日の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。

		1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間		子どもと過ごす時間について (○は1つ)	
		十分だと思う	あまり十分だと思わない	まあまあ十分だと思える	もう少し足りないと思う
母親	平日 () 時間	1	2	3	4
	休日 () 時間	1	2	3	4
父親	平日 () 時間	1	2	3	4
	休日 () 時間	1	2	3	4

問23 1日当たり家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

母親		父親	
1 週あたり () 時間		1 週あたり () 時間	

問24 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	残業や出張が入ること
2	子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
3	配偶者の協力が得られないこと
4	ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと (子どもの看護休暇、短時間勤務など)
5	職場に子育てを支援する制度がないこと (子どもの看護休暇、短時間勤務など)
6	職場の理解や協力が得られないこと
7	子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならぬこと
8	子どもを預かってくれる学童保育などがみつからないこと
9	子どもと接する時間が少ないこと
10	その他 ()

封筒のあて名のお子さんが5歳以上である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方や入学に関するお問い合わせをお願いします

問25 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場
所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）
また、それぞれ希望する1週あたりの利用日数について（ ）内に数字を入れてください。
※「3」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（ ）内に具体的な数字を
入れてください。時間は、必ず（18：00）のように24時間制でお答えください。

1 自宅	週（ ）日くらい
2 ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（ ）日くらい
3 学童保育※1 ⇒ 下校時から（ ）まで	週（ ）日くらい
4 放課後子ども教室※2	週（ ）日くらい
5 児童館※3	週（ ）日くらい
6 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
7 ファミリー・サポーター・センター※4	週（ ）日くらい
8 その他（公園など）	週（ ）日くらい

※1「学童保育」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、こどもの生活の場を提供するも
の。小学校内にある学童保育及び市の補助する民間の学童保育で、サービスの利用にあたっては、一定の利用
料が必要となります。

※2「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校で、学習、スポーツ、文化芸術活動な
どを校区的実情に合わせて体験するものです。すべての小学生が利用できます。（教室により実施状況は異なります）

※3「児童館」…児童の遊びの指導をする指導員がいて、遊びを通して心身ともに健全な成長を助ける施設です。なお、
茨木市には現在設置されていませんが、需要把握のため選択肢として設定しています。

※4「ファミリー・サポーター・センター」…センターに登録している近所の人がかつてくれるサービス

問26 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような
場所ですごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

また、それぞれ希望する1週あたりの利用日数について（ ）内に数字を入れてください。
※「3」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（ ）内に具体的な数字を
入れてください。時間は、必ず（18：00）のように24時間制でお答えください。
※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	週（ ）日くらい
2 ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	週（ ）日くらい
3 学童保育 ⇒ 下校時から（ ）まで	週（ ）日くらい
4 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
5 児童館	週（ ）日くらい
6 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
7 ファミリー・サポーター・センター	週（ ）日くらい
8 その他（公園など）	週（ ）日くらい

【問25 または問26 で「3 学童保育」を選ばれた方に】

問27 土曜日・日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。（それぞれ○は1つ）
なお、サービスの利用にあたっては、利用料が必要となります。
※利用したい時間帯を、（ ）内に（9：00～18：00）のように24時間制でお答えください。

(1) 土曜日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	（ ）：（ ）～（ ）：（ ）
3 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	（ ）：（ ）～（ ）：（ ）
3 利用する必要はない	

すべての方にお聞きします。

問28 封筒のあて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学
童保育の利用希望はありますか。（○は1つ）
なお、サービスの利用にあたっては、利用料が必要となります。

※利用したい時間帯を、（ ）内に（9：00～18：00）のように24時間制でお答えください。

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	（ ）：（ ）～（ ）：（ ）
3 利用する必要はない	

問29 就学前から小学校入学にあたり、何か不安はありませんか。（○は1つ）

1 強く感じている ⇒ 問29-1・問29-2へ	2 少し感じている ⇒ 問29-1・問29-2へ
3 あまり感じない	4 全く感じない

【問29-1・問29-2は、問29で「1」または「2」を選ばれた、不安があった方に】

問29-1 その内容はどんなものですか。（特に不安を感じることには○は3つまで）

1 学校生活全般	2 学習に関すること	3 友人関係
4 放課後の過ごし方	5 こどもの安全	6 仕事と育児の両立
7 その他（ ）		

問29-2 不安を感じて相談する人や場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

1 幼稚園・保育所・認定こども園の先生	2 小学校
3 地域の子育て支援センター・ついで場の広場	4 こども相談室
5 教育センター	6 子育ての先輩・友人
7 ご自身や配偶者の親、親せき	8 その他（ ）
9 相談する人・場所がない	

封筒のあて名のお子さんの幼稚園や保育所、認定こども園などの
不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてお聞きします

問30 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、こどもを預かるサービス
を「不定期に」利用しましたか。(幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や
こどもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。)(あてはまるものすべてに○)
また、1年間のおおよその利用日数について()内に具体的な数字を入れてください。

	利用したサービス	日数(年間)
1	一時預かり (私用などの理由で、保育所やこども支援センターなどで一時的にこどもを保育する サービス)	()日
2	幼稚園の預かり保育 (幼稚園に通うこどもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不 定期に利用している場合)	()日
3	ファミリー・サポート・センター (市役所の委託を受けたセンターに登録している近所の人がこどもをみてくれる サービス)	()日
4	つどいの広場 (親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)	()日
5	トワイライトステイ (仕事などの理由により、児童養護施設などで夜間にこどもを一時的に預かるもの)	()日
6	ベビーシッター	()日
7	その他()	()日
8	利用していない ⇒ 問30-1へ	

【問30で「8 利用していない」を選ばれた方に】

問30-1 現在利用していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1	特に利用する必要がない
2	利用したいサービスが近くにない
3	サービスの質に不安がある
4	施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5	利用料がかかる、高い
6	利用料がわからない
7	自身がサービスの対象になるのかがわからない
8	手続きなどサービスの利用方法がわからない
9	その他()

すべての方にお聞きします。

問31 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保
育所やこども支援センターなどで実施されている「一時預かり」を利用したいと思えますか。
なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。(○は1つ)
※利用したい場合、利用したい目的別に()内に日数を記入してください。

1	利用したい ⇒ 問31-1へ	合計	年()日
	ア、買物、こどもたちやご自身の習い事、リフレッシュ		年()日
	イ、冠婚葬祭、学校行事、こどもたちや親の通院など		年()日
	ウ、不定期な仕事		年()日
	エ、その他()		年()日
2	利用する必要はない		

【問31で「1 利用したい」を選ばれた方に】

問31-1 問31の目的で封筒のあて名のお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービ
スが望ましいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

1	幼稚園や保育所、認定こども園、こども支援センター、すこやかセンターなどの施設でこ どもをみてくれるサービス
2	つどいの広場などの小規模な施設でこどもをみてくれるサービス
3	ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などでこどもを みてくれるサービス
4	民間事業者などが自宅を訪問し、こどもをみてくれるサービス
5	その他()

すべての方にお聞きします。

問32 封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)
の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必
要があると思えますか。(あてはまるものすべてに○)

短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する
事業)の利用希望と、それぞれ必要な泊数をご記入ください。
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	対処方法	泊数(年間)
1	冠婚葬祭の際に利用したい	()泊
2	保護者や家族の育児疲れ・不安の際に利用したい	()泊
3	保護者や家族の病気の際に利用したい	()泊
4	その他()	()泊
5	利用する必要はない	-

封筒のあて名のお子さんの
地域の子育て支援サービスの利用状況についてお聞きします

問33 地域子育て支援拠点事業（親が集まったり、相談をする場）についてお聞きします。

現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。（○は1つ）

※利用している人は、おおよその利用回数について、（ ）内に数字を入れてください。

1 地域子育て支援拠点事業※を利用している

⇒ 1週間あたり（ ）回 または 1ヶ月あたり（ ）回 程度

2 利用していない

※「地域子育て支援拠点事業」…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「地域子育て支援センター」などと呼ばれています。

問34 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が必要となる場合があります。

※希望がある方は（ ）内に具体的な数字を入れてください。

1 利用していないが、今後利用したい

⇒ 1週間あたり（ ）回 または 1ヶ月あたり（ ）回 程度

2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

⇒ 1週間あたり、さらに（ ）回 または 1ヶ月あたり、さらに（ ）回 程度

3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない ⇒ 問37へ

【問34で「1」または「2」を選ばれた方に】

問34-1 地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。

（利用したいサービスについて○は3つまで）

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が必要となる場合があります。

1 常設の子育て親子の交流の場の提供

2 子育てに関する相談・援助

3 地域の子育て関連情報の提供

4 子育てに関する講習

5 地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）

6 保育所や幼稚園、認定こども園などの入所・利用に関する相談

7 さまざまな世代との交流の場の提供

8 家庭への訪問支援

9 その他（ ）

すべての方にお聞きします。

問35 子育て支援サービスの認知度・利用度についてお聞きいたします。下記の①～⑬のサービスについて、（1）知っているものはありますか。

（2）これまでに利用したことがあるものはありますか。

（3）今後、利用したいと思うものはありますか。（それぞれ○は1つずつ）

	(1)		(2)		(3)	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことがない	利用したい	利用したくない
① 母親・父親学級、両親学級、育児学級	1	2	1	2	1	2
② こども支援センター（旧こども健康センター）の情報提供・相談サービス	1	2	1	2	1	2
③ 家庭教育セミナー・保護者のための講座など	1	2	1	2	1	2
④ 上中条青少年センター、認定こども園各種講座	1	2	1	2	1	2
⑤ 幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放	1	2	1	2	1	2
⑥ 子育ての総合相談窓口（こども相談室）	1	2	1	2	1	2
⑦ 出前型一時保育	1	2	1	2	1	2
⑧ 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）	1	2	1	2	1	2
⑨ 養育支援家庭訪問事業※	1	2	1	2	1	2
⑩ 産前・産後ホームヘルパー派遣事業	1	2	1	2	1	2
⑪ 子育てサポーター派遣	1	2	1	2	1	2
⑫ ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑬ 茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）	1	2	1	2	1	2

※「養育支援家庭訪問事業」…さまざまな原因で子育ての支援が必要な家庭に子育て経験者による家事や子育ての援助、保健師等による訪問指導などを実施する。

市役所などへの要望についてお聞きします

問36 それぞれの満足についてあてはまる番号に1つだけHOをつけ、さらにその番号を選択した理由をご記入ください。

	満足度 (○は1つ)				左記の満足度を選んだ理由
	低い			高い	
茨木市における子育て環境や子育て支援	1	2	3	4	
地域における子育て支援サービスの充実 (子育てに関する相談機能や情報提供や、子育てサークルなどへの支援等)	1	2	3	4	
仕事と子育ての両立ができる職場環境、延長保育・休日保育や学童保育などの保育サービス	1	2	3	4	
就学前教育・保育・学校教育の充実、こどもの視点を取り入れた社会づくり	1	2	3	4	
保健・医療体制の充実や障害・虐待など、さまざまな課題を抱えるこども・家庭への支援	1	2	3	4	
教育・保育や医療への経済的な助成	1	2	3	4	

問37 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

1	親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2	親子が安心して集まれる幼稚園や保育所、認定こども園の運動場の開放を増やす
3	親子が安心して集まれるつどの広場などの屋内の施設を整備する
4	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5	子育てに困ったときの相談体制を充実する
6	子育て支援に関する情報提供を充実する
7	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8	子育てサークル活動への支援を充実する
9	保育所や学童保育などこどもを預ける施設を増やす
10	幼稚園における早期、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12	小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する
13	こどもの安全を確保することでもが医療機関を利用できる体制を整備する
14	子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15	児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16	公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17	その他 ()
18	特になし

封筒のあて名のお子さんの生活習慣についてお聞きします

問38 お子さんの生活習慣について、教えてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。(○は1つ)

1	毎日食べる	2	食べる日のほうが多い
3	食べない日のほうが多い	4	ほとんど食べない

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。(○は1つ)

1	する	2	しない
---	----	---	-----

(3) 平日のテレビ・ビデオ (ゲームを含む) の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。(○は1つ)

1	30分以内	2	1時間以内	3	1時間30分以内
4	2時間以内	5	2時間以上		

(4) 平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間は何時間ですか。(○は1つ)

1	30分以内	2	1時間以内	3	1時間30分以内
4	2時間以内	5	2時間以上		

(5) 就寝時刻は何時ですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 20時半より前 | 2 20時半～21時 | 3 21時～21時半 |
| 4 21時半～22時 | 5 22時～23時 | 6 23時以降 |

子育てを支援する生活環境の整備やこどもの安全の確保についてお聞きます

問39 封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配 |
| 2 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている |
| 3 交通機関や建物でベビーカーでの移動に配慮されていない |
| 4 トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 5 授乳する場所や必要な設備がない |
| 6 小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない |
| 7 買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない |
| 8 緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない |
| 9 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る |
| 10 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない |
| 11 その他() |
| 12 特にない |

問40 お住まいの地域におけるこどもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 満足している | 2 満足していない |
| 3 どちらとも思わない | 4 わからない |

問41 お住まいの地域のこどもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 近くに遊び場がない |
| 2 雨の日に遊べる場所がない |
| 3 思い切り遊ぶために十分な広さがない |
| 4 遊具などの種類が充実していない |
| 5 不衛生である |
| 6 いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない |
| 10 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 11 遊び場周辺の道路が危険である |
| 12 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいらない |
| 13 その他() |
| 14 特に感じることはない |

子育てに対する意識についてお聞きます

問42 近所(お住まいの近く)で日常的にちょっとしたこどもの話や世間話をする人はいますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問43 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1 楽しいと感じることの方が多い | ⇒ 問43-1へ |
| 2 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい | ⇒ 問43-2へ |
| 3 つらいと感じることの方が多い | ⇒ 問43-2へ |
| 4 わからない | |
| 5 その他() | |

【問43で「1」を選ばれた、子育てを楽しんでいる感じる方に】

問43-1 子育てをすす中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1 地域における子育て支援の充実
(一時預かり、育児相談など) | 2 保育サービスの充実 |
| 3 子育て支援のネットワークづくり | 4 地域におけるこどもの活動拠点の充実
(児童館など) |
| 5 訪問型の支援サービスの充実 | 6 健やかな妊娠・出産に対する支援 |
| 7 こどもの教育環境の整備 | 8 子育てしやすい住居・まちの環境での充実 |
| 9 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 | 10 こどもを対象にした犯罪・事故の軽減 |
| 11 保護を要することにもに対する支援 | 12 親支援プログラム [※] の充実 |
| 13 その他() | |

※「親支援プログラム」…同じ子育て中のパパママが、自分たちが抱えている悩みや不安を、グループで話し合いながら解決していきます。子育てのスキルを高めるとともに、親同士のつながりを深め、サポートし合える関係をつくら

【問43で「2」または「3」を選ばれた方に】

問43-2 あなたの子育てでのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1 地域における子育て支援の充実
(一時預かり、育児相談など) | 2 保育サービスの充実 |
| 3 子育て支援のネットワークづくり | 4 地域におけるこどもの活動拠点の充実
(児童館など) |
| 5 訪問型の支援サービスの充実 | 6 健やかな妊娠・出産に対する支援 |
| 7 こどもの教育環境の整備 | 8 子育てしやすい住居・まちの環境での充実 |
| 9 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 | 10 こどもを対象にした犯罪・事故の軽減 |
| 11 保護を要することにもに対する支援 | 12 親支援プログラム(上記参照)の充実 |
| 13 その他() | |

2. 小学生児童保護者

茨木市 次世代育成支援に関するニーズ調査
(小学生の保護者)

【ご協力のお願いとお約束】

日頃より、本市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
茨木市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした「茨木市次世代育成支援行動計画」を策定し、子どもを安心して生み育てられる環境づくりを推進しています。

また、この計画と、平成27(2015)年度から始まった「子ども・子育て支援法」に基づき、保育所や幼稚園・認定こども園などの教育・保育施設をはじめ、つどいの広場等の地域子ども・子育て支援事業の整備・充実など、子どもの育ちや子育て家庭を支援するための様々な施策を展開しています。

現行の「茨木市次世代育成支援行動計画」が令和6(2024)年度まで終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画(第5期)」を策定することとしています。

本調査は、この新たな計画策定にあたって、市民のみなさんのことも、子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望を把握するためのものです。ご回答いただいた内容は、行動計画の策定のみに利用させていただくもので、他の目的に利用することは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年12月 茨木市

***** アンケートの回答にあたって *****

1 この調査は、インターネットでの回答(回答にかかる通信費はご自身の負担になります)も可能です。

下記のURLもしくは右の二次元コードからアクセスしていただき、アンケートフォームに直接回答を入力してください。



※回答にはWEB回答用のID【ibrk70001s】の入力が必要です。

<URL> <https://src.webcas.net/form/pub/src/27216c>

(回答途中での一時保存も可能です。なお保存期間は1週間となりますのでご注意ください。)

2 回答はあて名のお子さんのことについてお答えください。お名前は無記入でお願いします。
3 この調査は、令和5年12月1日を基準日として記入してください。ご回答が「その他」の場合は、

4 ご回答は、回答欄のあてはまる番号を○で囲んでください。ご回答が「その他」の場合は、

番号に○をつけ、() 内に具体的に記入してください。

5 ○をつける数は、設問ごとに示してあります。「○は1つ」「○は3つまで」「あてはまるものすべてに○」などの○をつける数にご注意ください。

ご記入いただいた調査票は、**令和5年12月25日(月)まで**に、

同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご返送くださるようお願いいたします。

***** 調査についてのお問い合わせ *****

茨木市 ども育成部 ども政策課 電話：072-620-1625

※受付時間：午前8時45分～午後5時15分(土・日・祝日除く)

ご家族の構成や保護者の働いている状況などについてお聞きます

問1 お住まいの地域の小学校区名を記入してください。

() 小学校区
→小学校区がわからない場合は、町名を記入してください。()

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

封筒のあて名のお子さんからみられた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、() 内に数字を入れてください。

平成・西暦 () 年 () 月 生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(令和5年4月1日現在の年齢)を記入してください。

() 人 末子の年齢 () 歳

問4-1 多胎(双子や三つ子)のお子さんはいらっしゃいますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

問5 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。

また、近所に祖父母が住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

※選択肢は封筒のあて名のお子さんから見られた関係です。

1 父と母と一緒に住んでいる	2 父と一緒に住んでいる(父子家庭)
3 母と一緒に住んでいる(母子家庭)	4 祖父と一緒に住んでいる
5 祖母と一緒に住んでいる	6 祖父が近所に住んでいる
7 祖母が近所に住んでいる	8 その他 ()

問6 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主にしている方はどなたですか。(○は1つ)

※選択肢は封筒のあて名のお子さんから見られた関係です。

1 父母ともに	2 主に母親
3 主に父親	4 主に祖父
5 その他 ()	

問7 日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみもらえる
2 緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみもらえる
3 日常的にこどもをみてもらえる友人や知人がいる
4 緊急のときや用事があるときにこどもをみてもらえる友人や知人がいる
5 いずれもない

【母親または父親が、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に】

問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

(1) 母親

- 1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 次のページへ

【母親または父親が、仕事をお持ちでない方に】

問 12 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内に具体的な数字を入れてください。

(1) 母親

- 1 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
- 2 1年より先、一番下のこどもが、() 歳になったころに働きたい
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方

ア フルタイム
イ パート・アルバイトなど
→1週当たり() 日 1日当たり() 時間

(2) 父親

- 1 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
- 2 1年より先、一番下のこどもが、() 歳になったころに働きたい
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方

ア フルタイム
イ パート・アルバイトなど
→1週当たり() 日 1日当たり() 時間

【問 12 で「2」または「3」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方に】

問 12-1 働きたい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 働かないと、暮らしていけなくなるため
- 2 将来への備えのため（こどもの教育費、老後の備えなど）
- 3 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
- 4 人間関係を広げたいため
- 5 その他 ()

封筒のあて名のお子さんの学童保育の利用についてお聞きます

問 13 平日（月曜日から金曜日）に、現在、学童保育を利用されていますか。（○は1つ）

- 1 利用している ⇒ 問14へ
- 2 利用していない ⇒ 問15へ

【問 14～問 14-5は、問 13 で「1」利用している」を選ばれた方に】

問 14 現在利用している学童保育について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、何時まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

() 内に具体的な数字を入れてください。

※時間は、必ず（18：00）のように24時間制でお答えください。

(1) 現在

- 1 週当たり () 日 利用時間 (:) まで

(2) 希望

- 1 週当たり () 日 利用時間 (:) まで

問 14-1 学童保育を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 保護者が働いている
- 2 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
- 3 保護者に病気や障がいがある
- 4 保護者が学生である
- 5 その他 ()

問 14-2 土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望がありますか。（それぞれ○は1つ）

（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）

なお、利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

希望がある場合は、() 内に具体的な数字を入れてください。

※時間は、必ず（9：00～18：00）のように24時間制でお答えください。

(1) 土曜日

- 1 利用する必要はない
- 2 ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯
- 3 月に1～2回は利用したい (:) ～ (:)

(2) 日曜日・祝日

- 1 利用する必要はない
- 2 ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯
- 3 月に1～2回は利用したい (:) ～ (:)

【問14-3は、問14-2で「2」または「3」を選ばれた方に】

問14-3 利用したい理由は何か。(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 土曜日

- 1 仕事のため
- 2 平日にすまされない用事をまとめてすませるため
- 3 ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要のため
- 4 息抜きのため
- 5 その他 ()

(2) 日曜日・祝日

- 1 仕事のため
- 2 平日にすまされない用事をまとめてすませるため
- 3 ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要のため
- 4 息抜きのため
- 5 その他 ()

【問14-4 ~ 問14-5は、問13で「1」利用している】を選ばれた方に】

問14-4 現在通っている学童保育にどのようなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校の休業日の朝の利用時間を延長する
- 2 夕方の利用時間を延長する
- 3 施設や設備を改善する
- 4 指導内容を工夫する
- 5 その他 ()
- 6 特になし

問14-5 放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)
※「1」または「2」を選択した場合は、()内に具体的な数字を入れてください。

- 1 学童保育を利用したい ⇒ 小学 () 年生まで
- 2 長期休暇(夏休みなど)のみ学童保育を利用したい ⇒ 小学 () 年生まで
- 3 放課後子ども教室※を利用したい
- 4 スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
- 5 ことともに自宅の留守番をしてもらう
- 6 その他 ()

※「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを校区の実情に合わせて体験するものです。すべての小学生が利用できます。(校区により実施状況は異なります)

⇒ 7ページの問16へ

【問15・問15-1は、問13で「2」利用していない】を選ばれた方に】

問15 学童保育を利用していない理由は何ですか。

もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 ご自身や配偶者が子どもをみている
- 2 ご自身や配偶者の親、親せきが子どもをみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人が子どもをみている
- 4 父母とも働いていて利用したいが、学童保育に空きがない
- 5 父母とも働いていて利用したいが、就労時間などの条件が合わない
- 6 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
- 7 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしていて、利用する必要がある
- 8 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思う
- 9 その他 ()

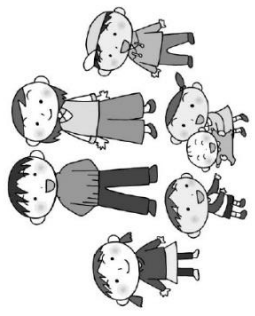
問15-1 封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、学童保育を利用したいとお考えですか。(それぞれ○は1つ)

なお、利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

希望がある場合は、()内に具体的な数字を入れてください。

※時間は、必ず(18:00)のように24時間制でお答えください。

1	利用したい
1	週当たり () 日 / 1日当たり () 時間 (:) まで
土曜日の利用希望	
1	ある → 1日当たり () 時間 (:) まで
2	ない
日曜日・祝日の利用希望	
1	ある → 1日当たり () 時間 (:) まで
2	ない
2	今後もしない



お子さんが病気になることと、封筒のあて名のお子さんが病気になることとは別です。

問16 封筒のあて名のお子さんが病気になることと、封筒のあて名のお子さんが病気になることとは別です。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気になることがあれば、小学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

1 あった ⇒ 問16-1ハ 2 なかった ⇒ 問17ハ

【問16で「1」を選ばれた方に】

問16-1 この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気になることと、封筒のあて名のお子さんが病気になることとは別です。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気になることがあれば、小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。(あてはまるものすべてに○)
※それぞれの日数について()内に具体的な数字を入れてください。
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

対処方法	日数 (年間)
1 父親が仕事を休んだ	() 日
2 母親が仕事を休んだ	() 日
3 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日
4 働いていない父親が母親が子どもをみた	() 日
5 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を 利用した	() 日
6 家事育児代行サービスを利用した	() 日
7 ファミリー・サポート・センター※を利用した	() 日
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
9 その他 ()	() 日

※「ファミリー・サポート・センター」…センターに登録している近所の人をみてくれるサービス

【問16-1で「1」または「2」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方に】

問16-2 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われまし
たか。利用実態にかかわらず、希望がある場合は「1」を選択ください。(○は1つ)
また、希望がある方は()内に具体的な数字を入れてください。
なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、
利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要
です。

1 できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった ⇒ 年 () 日
2 利用したいと思わなかった

すべての方にお聞きします。

問17 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、封筒のあて名のお子
さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)
(子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。)
また、1年間のおおよその利用日数について()内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数 (年間)
1 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日
2 ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
3 トワイライトステイを利用した(仕事などの理由により、児童養護施設など で夜間に子どもを一時的に預かるもの)	() 日
4 家事育児代行サービスを利用した	() 日
5 その他 ()	() 日
6 預けるようなことはなかった	-

問18 封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)
の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必
要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)
短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する
事業)の利用希望と、それぞれ必要な泊数をご記入ください。
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法	泊数 (年間)
1 冠婚葬祭の際に利用したい	() 泊
2 保護者や家族の育児疲れ・不安の際に利用したい	() 泊
3 保護者や家族の病気の際に利用したい	() 泊
4 その他 ()	() 泊
5 利用する必要はない	-



仕事と子育ての両立についてお聞きします

問19 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日及び休日の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。

		子どもと過ごす時間について (○は1つ)			
		1日あたりの 子どもと一緒に 過ごす時間	十分だ と思う	まああ 十分だと 思う	あまり 十分だと 思わない
母親	平日 () 時間	1	2	3	4
	休日 () 時間	1	2	3	4
父親	平日 () 時間	1	2	3	4
	休日 () 時間	1	2	3	4

問20 1日当たり家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

(1) 母親

1週あたり () 時間

(2) 父親

1週あたり () 時間

問21 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 残業や出張が入ること
- 2 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
- 3 配偶者の協力が得られないこと
- 4 ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
- 5 職場に子育てを支援する制度がないこと (こどもの看護休暇、短時間勤務など)
- 6 職場の理解や協力が得られないこと
- 7 こどものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならぬこと
- 8 子どもを預かってくれる学童保育などがみつからないこと
- 9 子どもと接する時間が少ないこと
- 10 その他 ()

市役所などへの要望についてお聞きします

問22 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのようなサービスを充実してほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもたちが集まり遊べる公園などの屋外の施設の整備
- 2 子どもたちが集まり遊べる児童館※などの屋内施設の整備
- 3 こどもの教育や子育てに関する相談体制の充実
- 4 子育ての講座など学べる機会の充実
- 5 小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制整備
- 6 こどもの安全を確保する方策
- 7 児童手当の拡充、扶養控除の維持など子育て世帯への経済的援助の拡充
- 8 その他 ()
- 9 特になし

※「児童館」…児童の遊びの指導をする指導員がいて、遊びを通して心身ともに健やかな成長を助ける施設です。
なお、茨木市には現在設置されていません。

問23 それぞれの満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけ、さらにその番号を選択した理由をご記入ください。

	満足度 (○は1つ)				左記の満足度を選んだ理由
	低い			高い	
教育相談や家庭教育支援の充実	1	2	3	4	
放課後におけるこどもの居場所の確保・充実	1	2	3	4	
「生きる力」を育む教育の推進、こどもの健全育成	1	2	3	4	
障害・虐待など、さまざまな課題を抱えるこども・家庭への支援	1	2	3	4	
教育・保育や医療への経済的な助成	1	2	3	4	

封筒のあて名のお子さんの生活習慣についてお聞きします

問24 お子さんの生活習慣について、教えてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。(○は1つ)

1 毎日食べる	2 食べる日のほうが多い
3 食べない日のほうが多い	4 ほとんど食べない

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。(○は1つ)

1 する	2 しない
------	-------

(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。
(○は1つ)

1 30分以内	2 1時間以内	3 1時間30分以内
4 2時間以内	5 2時間以上	

(4) お子さんに自分専用のスマートフォンを持たせていますか。(○は1つ)
持たせている場合、その理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 持っている	⇒ 持たせている理由					
	1 連絡を取るため	2 安全のため	3 居場所がわかるように	4 こどもの希望	5 こどもの友人が所持	6 音楽・ゲームのため
	7 便利だから	8 その他（ ）				
2 スマートフォンは持たせていない						

(5) 平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間は何時間ですか。
(○は1つ)

1 30分以内	2 1時間以内	3 1時間30分以内
4 2時間以内	5 2時間以上	

(6) 就寝時刻は何時ですか。(○は1つ)

1 20時半より前	2 20時半～21時	3 21時～21時半
4 21時半～22時	5 22時～23時	6 23時以降

封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方についてお聞きします

問25 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに教えてください。

(1) 平日の14～16時（1番多いものに○は1つだけ）

1 授業などで学校にいる	2 学童保育室で過ごす
3 放課後子ども教室に参加する	4 放課後等デイサービスを利用する
5 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	6 家事代行サービスなどを利用する
7 家や公園などで友だちと過ごす	8 図書館など公共の施設にいる
9 地域活動に参加する（こども会活動、スポーツ活動）	10 学習塾や習い事へ行く
11 家で、ひとりで過ごす	12 その他（ ）

(2) 平日の16～18時（1番多いものに○は1つだけ）

1 授業などで学校にいる	2 学童保育室で過ごす
3 放課後子ども教室に参加する	4 放課後等デイサービスを利用する
5 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	6 家事代行サービスなどを利用する
7 家や公園などで友だちと過ごす	8 図書館など公共の施設にいる
9 地域活動に参加する（こども会活動、スポーツ活動）	10 学習塾や習い事へ行く
11 家で、ひとりで過ごす	12 その他（ ）

(3) 平日の18～20時（1番多いものに○は1つだけ）

1 授業などで学校にいる	2 学童保育室で過ごす
3 放課後子ども教室に参加する	4 放課後等デイサービスを利用する
5 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	6 家事代行サービスなどを利用する
7 家や公園などで友だちと過ごす	8 図書館など公共の施設にいる
9 地域活動に参加する（こども会活動、スポーツ活動）	10 学習塾や習い事へ行く
11 家で、ひとりで過ごす	12 その他（ ）

(4) 平日の20時以降（1番多いものに○は1つだけ）

1 授業などで学校にいる	2 学童保育室で過ごす
3 放課後子ども教室に参加する	4 放課後等デイサービスを利用する
5 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	6 家事代行サービスなどを利用する
7 家や公園などで友だちと過ごす	8 図書館など公共の施設にいる
9 地域活動に参加する（こども会活動、スポーツ活動）	10 学習塾や習い事へ行く
11 家で、ひとりで過ごす	12 その他（ ）

(5) 休日（1番多いものに○は1つだけ）

1 授業などで学校にいる	2 学童保育室で過ごす
3 放課後子ども教室に参加する	4 放課後等デイサービスを利用する
5 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	6 家事代行サービスなどを利用する
7 家や公園などで友だちと過ごす	8 図書館など公共の施設にいる
9 地域活動に参加する（こども会活動、スポーツ活動）	10 学習塾や習い事へ行く
11 家で、ひとりで過ごす	12 その他（ ）

封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加についてお聞きます

問26 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、こどもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。(○は1つ)

1	体験をしやすいと思う	2	体験をしやすいとは思わない
3	どちらでもない	4	わからない

問27 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1	スポーツ活動	2	文化芸術活動
3	ボランティア活動	4	体験学習活動 (ものづくり体験など)
5	野外活動 (キャンプなど)	6	社会福祉活動 (高齢者訪問など)
7	国際交流活動 (ホームステイなど)	8	青少年団体活動 (こども会活動など)
9	環境分野での社会貢献活動 (リサイクル活動など)	10	環境教育活動 (自然観察など)
11	地域の活動 (地域のお祭りや運動会など)	12	その他 ()
13	参加したことがない ⇒ 問27-1へ		

【問27で13 参加したことがない】と回答した方に】

問27-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1	活動に関する情報がなく参加しにくい	2	知り合いなどがおらず参加しにくい
3	初めての者が参加しにくい雰囲気がある	4	参加の時間帯が合わない
5	費用がかかる	6	活動の内容に興味や関心がない
7	その他 ()		

すべての方にお聞きます。

問28 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	スポーツ活動	2	文化芸術活動
3	ボランティア活動	4	体験学習活動 (ものづくり体験など)
5	野外活動 (キャンプなど)	6	社会福祉活動 (高齢者訪問など)
7	国際交流活動 (ホームステイなど)	8	青少年団体活動 (こども会活動など)
9	環境分野での社会貢献活動 (リサイクル活動など)	10	環境教育活動 (自然観察など)
11	地域の活動 (地域のお祭りや運動会など)	12	その他 ()
13	特にない		

問29 身近な地域で、こども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいですか。(あてはまるものすべてに○)

1	こどもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所
2	こどもが放課後などに集まってこども同士で自主活動などができる場
3	こどもが土日に活動ができた日遊べたりできる場
4	こども自身が悩みを相談できる場
5	その他 ()

子育てを支援する生活環境の整備やこどもの安全の確保についてお聞きます

問30 お住まいの地域におけるこどもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

1	満足している	2	満足していない
3	どちらとも思わない	4	わからない

問31 お住まいの地域のこどもの遊び場について日ごろ感じること何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1	近くに遊び場がない
2	雨の日に遊ぶ場所がない
3	思い切り遊ぶために十分な広さがない
4	遊具などの種類が充実していない
5	不衛生である
6	いつも閑散としていて寂しい感じがする
7	遊具などの設備が古くて危険である
8	緑や水辺などこどもが自然にふれあう場が少ない
9	遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10	遊び場周辺の道路が危険である
11	遊び場に行ってもこどもと同じくらい遊び仲間がいらない
12	その他 ()
13	特に感じることはない

問32 下記の事業や取組のうち、地域において子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	放課後子ども教室事業※1	2	こども会活動
3	スポーツ少年団※2	4	その他 ()

※1「放課後子ども教室」…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを校区の実情に合わせ体験するものです。すべての小学生が利用できます。
(教室により実施状況は異なります)

※2「スポーツ少年団」…小学生を対象にスポーツを通じて青少年の健全育成を目的に活動するものです。
市内では、25団体(令和5年4月1日現在)が活動しています。

子育てに対する意識についてお聞きします

問33 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいいますか。
（○は1つ）

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

問34 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。（○は1つ）

1	楽しいと感じることが多い	⇒	問34-1へ
2	楽しいと感じることがつらいと感じることが同じくらい	⇒	問34-2へ
3	つらいと感じることが多い	⇒	問34-2へ
4	わからない		
5	その他（		）

【問34で「1」を選ばれた、子育てを楽しんでいると感じる方に】

問34-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。（○は3つまで）

1	学童保育の充実
2	子育て支援のネットワークづくり
3	地域における子どもの活動の拠点の充実（児童館など）
4	こどもの教育環境の整備
5	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8	支援を要することにも対する支援
9	親支援プログラム※の充実
10	その他（

※「親支援プログラム」…同じ子育て中のパパママが、自分たちが抱えている悩みや不安を、グループで話し合いながら解決していきます。子育てのスキルを高めるとともに、親同士のつながりを深め、サポートし合える関係をつくります。

【問34で「2」または「3」を選ばれた方に】

問34-2 あなたの子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。（○は3つまで）

1	学童保育の充実
2	子育て支援のネットワークづくり
3	地域における子どもの活動の拠点の充実（児童館など）
4	こどもの教育環境の整備
5	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8	支援を要することにも対する支援
9	親支援プログラム（上記参照）の充実
10	その他（

すべての方にお聞きします。

問35 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

（1）ことにも関すること（あてはまるものすべてに○）

1	病気や発達に関すること
2	食事や栄養に関すること
3	こどもの接し方に自信が持てないこと
4	こどもと過ごす時間が十分とれないこと
5	こどもの教育に関すること
6	こどもの友だちづきあいに関すること
7	こどもの不登校など
8	その他（
9	特にない

（2）ご自身に関すること（あてはまるものすべてに○）

1	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3	子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4	ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8	子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと
9	子育てによる心身の疲れが大きいこと
10	子育てにかかる出費がかさむこと
11	住居がせまいこと
12	その他（
13	特にない

問36 ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(○は1つ)

1 感じる ⇒ 問36-1ハ	2 感じない ⇒ 問36-2ハ
----------------	-----------------

【問36で「1 感じる」と回答した方に】

問36-1 特に誰から支えられていると感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1 近所の人	2 同じ世代の子どもを持つ保護者
3 民生委員・児童委員・主任児童委員	4 自治会などの地域団体の人
5 こども会	6 地域活動を行っているNPOなどの人
7 市役所の職員	8 その他 ()

【問36で「2 感じない」と回答した方に】

問36-2 特に誰から支えてほしいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1 近所の人	2 同じ世代の子どもを持つ保護者
3 民生委員・児童委員・主任児童委員	4 自治会などの地域団体の人
5 こども会	6 地域活動を行っているNPOなどの人
7 市役所の職員	8 その他 ()

すべての方にお聞きします。

問37 就学前から小学校入学にあたり、何か不安はありませんか。(○は1つ)

1 不安が大きかった ⇒ 問37-1・問37-2ハ
2 少し不安があった ⇒ 問37-1・問37-2ハ
3 あまり不安は感じなかった
4 全く不安は感じなかった

【問37-1・問37-2は、問37で「1」または「2」を選ばれた、不安があった方に】

問37-1 その内容はどんなものでしたか。(特に不安を感じたことに○は3つまで)

1 学校生活全般	2 学習に関すること
3 友人関係	4 放課後の過ごし方
5 こどもの安全	6 仕事と育児の両立
7 その他 ()	

問37-2 不安を感じて相談した人や場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1 幼稚園・保育所・認定こども園の先生	2 小学校
3 地域の子育て支援センター・つどいの広場	4 こども相談室
5 教育センター	6 子育ての先輩・友人
7 ご自身や配偶者の親、親せき	8 民生委員・児童委員・主任児童委員
9 その他 ()	10 どこにも相談できなかった

【お子さんが3人以上いる、もしくは多胎(双子や三つ子)のお子さんがいる方に】

問38 どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われるか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

1 塾など習い事への経済的支援
2 放課後児童クラブ利用料への支援
3 衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4 住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)
5 自然体験などの活動費(学校行事を除く)への支援
6 同じ境遇にある母親や父親との交流
7 多子・多胎育児経験者による相談支援
8 その他 ()

問38-1 2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

1 塾など習い事への経済的支援
2 放課後児童クラブ利用料への支援
3 衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4 住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)
5 自然体験などの活動費(学校行事を除く)への支援
6 同じ境遇にある母親や父親との交流
7 多子・多胎育児経験者による相談支援
8 その他 ()

すべての方にお聞きします。

問39 最後に、教育・保育環境の充実など子育て支援に関するご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
いただいた回答は英木市の子育て支援の充実に活かして参ります。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、**12月25日(月)まで**にご投函ください。

茨木市次世代育成支援に関するニーズ調査結果報告書
(就学前児童・小学生の保護者)

令和6(2024)年3月

茨木市 こども育成部 こども政策課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号

TEL : 072-620-1625

FAX : 072-622-8722

Mail : kodomoseisaku@city.ibaraki.lg.jp